



～公共施設再配置に向けて～

阿武町公共施設等

総合管理計画

阿武町 総務課

2017年3月

目 次

I. 公共施設再配置に向けて	1
1. 公共施設等総合管理計画の位置付け	1
(1) 計画策定の背景	1
(2) 計画の目的・理念	1
2. 公共施設等総合管理計画で対象とする施設	2
(1) 基準点	2
(2) 対象範囲	2
(3) 建築物等	2
(4) インフラ施設	2
3. 老朽化の考え方	3
4. 耐震診断の考え方	3
II. 町勢概要	5
1. 町の概要	5
(1) 概 況	5
2. 人口	6
(1) 総人口の推移	6
(2) 年代別人口の推移	7
(3) 人口動態（自然動態・社会動態）	8
(4) 将来人口の見込み	9
3. 財政・行政運営	10
(1) 歳入・歳出	10
(2) 普通建設事業費と町債残高状況	11
III. 公共施設の現状と分析	12
1. 建築物	12
(1) 過去の整備量(延床面積)	12
(2) 機能別延床面積	13
(3) 施設老朽化の現状	15
2. 道 路	16
2-1. 町 道	16
2-2. 農 道	17
2-3. 林 道	17
3. 橋 梁	18
4. トンネル	18
5. 公 園	19

6. 下水道関連施設	19
6-1. 下水道	20
6-2. 簡易水道	20
6-3. 農業集落排水施設	21
6-4. 漁業集落排水施設	21
7. 漁 港	22
8. 防火水槽	22
IV. 地区別の現状と分析	23
1. 奈古地区	23
(1) 人口	23
(2) 施設の状況	24
2. 福賀地区	27
(1) 人口	27
(2) 施設の状況	28
3. 宇田郷地区	31
(1) 人口	31
(2) 施設の状況	32
7. 地区全体	35
(1) 人口	35
(2) 施設の状況	35
V. 機能別の現状と分析	36
1. 町民文化系施設	36
1-1. 文化施設	36
2. 社会教育系施設	39
2-1. 公民館	39
2-2. その他の社会教育系施設	41
3. スポーツ・レクリエーション系施設	44
3-1. スポーツ施設	44
4. 産業系施設	47
4-1. 産業系施設	47
5. 学校教育系施設	50
5-1. 小学校	50
5-2. 中学校	54
5-3. その他教育施設	57
6. 子育て支援施設	60
6-1. 保育所	60
6-2. 子育て支援施設	63
7. 保健福祉施設	65

7-1. 保健福祉施設	65
8. 行政系施設	69
8-1. 庁舎等	69
8-2. 消防施設	72
8-3. その他行政系施設	75
9. 公営住宅等	78
9-1. 公営住宅等	78
10. その他	82
10-1. 車庫・倉庫等	82
10-2. その他	85
VI. 将来の施設更新投資額等の試算（財政シミュレーション）	88
1. 更新投資試算の方法	88
2. 公共建築物に係る更新投資の試算	88
3. インフラ資産に係る更新投資の試算	89
4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算	90
5. 財政シミュレーション	91
(1) 財政シミュレーションの前提条件	91
(2) 財政シミュレーションの結果	92
VII. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針	93
1. 計画期間	93
2. 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策	93
(1) 全庁的な取組体制の構築	93
(2) 情報管理及び共有方策	94
3. 現状や課題に関する基本認識	94
4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方	94
(1) 数値目標	94
(2) 各種方針	95
5. フォローアップの実施方針	96
(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定	96
(2) 計画の進行管理・見直し	96
VIII. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針	97
1. 公共建築物	97
(1) 町民文化系施設	97
(2) 社会教育系施設	97
(3) スポーツ・レクリエーション系施設	97
(4) 産業系施設	97
(5) 学校教育系施設	97
(6) 子育て支援施設	97

(7) 保健福祉施設.....	98
(8) 行政系施設	98
(9) 公営住宅等	98
(10) その他.....	98
2. インフラ施設.....	98
(1) 道路	98
(2) 橋梁	99
(3) トンネル.....	99
(4) 公園	99
(5) 簡易水道.....	99
(6) 農業集落排水施設・漁業集落排水施設.....	99
(7) 漁港	100
(8) その他.....	100
IX. まとめ（公共施設等総合管理計画の導入効果）	101
1. 計画導入効果の試算（財政シミュレーション）の前提条件.....	101
2. 計画導入効果の試算（財政シミュレーション）の結果	102
3. まとめ.....	103

公共施設等総合管理計画
(序論)

I. 公共施設再配置に向けて

1. 公共施設等総合管理計画の位置付け

(1) 計画策定の背景

阿武町は 1955 年に奈古町、福賀村、宇田郷村の 3 町村が合併し、阿武町としてスタートをきりました。時代が平成に入り、全国的に市町村合併が進む中、2004 年 3 月に本町は自立の道、単独町政を選択し、現在まで歩んできました。

一方、我が国では少子高齢化がますます進んでおり、多くの地方公共団体では年少人口・生産年齢人口の減少に伴い、財政状況の悪化が予測されています。

本町も例外ではなく 1955 年の合併以降、一貫して人口減少しており、特に高度経済成長期に大きく減少しました。2015 年度国勢調査では総人口は 3,469 人と阿武町発足時の 10,789 人から 7,320 人減少（△67.8%）しています。

これまで本町は行政サービスの実現のため、各種公共建築物、インフラの整備を行ってきました。この中には整備から既に数十年が経過し、今後は順次、更新（建替え）や大規模改修の時期を迎えることとなります。老朽化に起因する重大事故を未然に防ぎ、行政サービスの水準を維持しなくてはなりません。これらの公共施設等の全てを耐用年数到来とともに更新していくには莫大な費用を要します。

そこで今後の人口推移を鑑み、中・長期的な視野に立った総合的かつ計画的な管理や将来の人口構造に見合った公共施設等の整備・再配置を行う必要があります。

このような状況を踏まえ、国においては 2014 年 4 月に「公共施設等総合管理計画」を早急に策定するように地方公共団体に要請されました。

本計画は、上記の要請を受け、本町が将来にわたって行政サービスの水準を低下させることなく、適正かつ安全に公共施設等をマネジメント（管理・運営）していくための基本的な考え方を示すものです。

(2) 計画の目的・理念

阿武町が所有する公共施設等の将来のあり方に関する基本方針を定め、公共施設等の再編方針を含む公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行う「阿武町公共施設等総合管理計画」を策定することで、住民サービスの根幹である公共施設の安全性や機能の維持、公共施設の適正配置の実現とそれに伴う財政負担の軽減、平準化を目的とします。

2. 公共施設等総合管理計画で対象とする施設

(1) 基準点

2016年3月31日現在とします。(2015年度)

(2) 対象範囲

本計画の対象は、町役場庁舎、小・中学校、町営住宅などの「公共建築物」と、道路、橋梁、公園などの「インフラ資産」を含めた全ての公共施設とします。

(3) 建築物等

阿武町にある公共施設は、2015年度(2016年3月31日現在)時点で79施設があります。
下記の表は、79施設をそれぞれが持つ機能により分けたものです。

図表 対象施設

大分類	中分類	施設数
01 町民文化系施設	文化施設	1
02 社会教育系施設	公民館	3
	その他の社会教育施設	4
03 スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	6
04 産業系施設	産業系施設	4
05 学校教育系施設	小学校	2
	中学校	2
	その他教育施設	3
06 子育て支援施設	保育所	2
	子育て支援施設	2
07 保健・福祉施設	保健福祉施設	7
08 行政系施設	庁舎等	3
	消防施設	5
	その他行政系施設	12
09 公営住宅	公営住宅等	8
10 その他	車庫・倉庫等	11
	その他	4
合 計 施 設 数		79

(4) インフラ施設

インフラ施設としては、道路、橋梁、トンネル、公園、上下水道、農業集落排水施設、漁業漁港集落排水施設、防火水槽を対象としています。

3. 老朽化の考え方

地方公会計（固定資産台帳）に計上されている有形固定資産のうち、土地以外の償却資産（建物や工作物等）の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することにより、国税庁が定めている法定耐用年数に対して取得からどの程度経過しているかを全体として把握することができます。

老朽化比率が 100%に近いほど経年劣化が進んでいることを表しており、公共施設の更新等のタイミングが近づいていることを示しています。

本計画では、老朽化度合をわかりやすく表現するために、下の算式により導き出した比率を用いています。

$$\text{資産老朽化比率} = (\text{減価償却累計額} \div \text{取得価額}) \times 100$$

※法定耐用年数は、施設の構造や用途等の分類に応じて定められた耐用年数であるため、施設毎に異なる経年劣化の状況から導き出された実際の耐用年数（物理的耐用年数）とは異なります。

※本計画では、老朽化を一つの分析要素として取り扱うため、個々の施設毎に診断・評価が必要な物理的耐用年数を用いず、国税庁が定めている法定耐用年数を用いて導き出した老朽化比率を採用しています。また文中では60%以上を「老朽化」と位置づけています。

※台帳上の取得価額等が適用できない公共施設等については共済金額を用いる等、出来る限り、実際の老朽化状況を把握することとします。

図表 老朽化比率による施設の定義

老朽化比率	定義
80%以上	更新時期施設（更新または除却等の行動を起こす時期に入った施設）
80%未満～60%以上	更新検討施設（更新するか否かの検討時期に入った施設）
60%未満	維持管理施設

4. 耐震診断の考え方

本計画では、耐震診断の考え方について原則として 1982 年以降に建てられた建築物は新耐震基準に適合したものとして取り扱っています。

公共施設等総合管理計画
(白書編)

Ⅱ. 町勢概要

1. 町の概要

(1) 概 況

奈古地区、宇田郷地区と福賀地区の 3 地区からなる本町は、山口県の北部に位置して日本海の北長門国定公園に面し、周囲は萩市に接しています。奈古地区と宇田郷地区は日本海に面し、気温も比較的温暖ですが、福賀地区は山間に広がる盆地にあり、冬季は積雪が多い地区です。海岸部の奈古、宇田郷地区には、JR 山陰本線と一般国道 191 号が縦走し、内陸部の福賀地区は、陰陽連絡道としての一般国道 315 号が日本海側は萩市須佐地区に、瀬戸内側は周南市徳山地区に走り抜けています。本町の中心地（奈古地区）から最寄りの人口集中都市との距離は、社会的、経済的に最もつながりの強い萩市までが 15 km、県都山口市までは 60 km となっています。

2015 年国勢調査では世帯数 1,492 世帯、人口 3,469 人となっています。就業者による産業別構成は、2010 年国勢調査では第一次産業 27.6%、第二次産業 22.7%、第三次産業が 49.7%の割合です。第一次産業は減少傾向にあります。

本町の文化遺産としては、12 世紀（平安末期）のものと推定される「経塚」や、日本の伝統的な製鉄の歴史を理解する上で重要な意義を持つ「たたら製鉄遺跡」があり、更に、由緒ある神社、仏閣や伝統芸能など後世に伝えるべき重要な文化資源が数多く存在しています。

このほか、農産物としては、良質な米、なし、キウイフルーツ、すいか、ほうれんそう、はくさい、たまねぎ等が生産され、産地を形成しており魚介類も豊富に水揚げされています。

一方、未利用資源としては、奈古粘土、奈古温泉（炭酸泉）があり、今後の活用が期待されます。

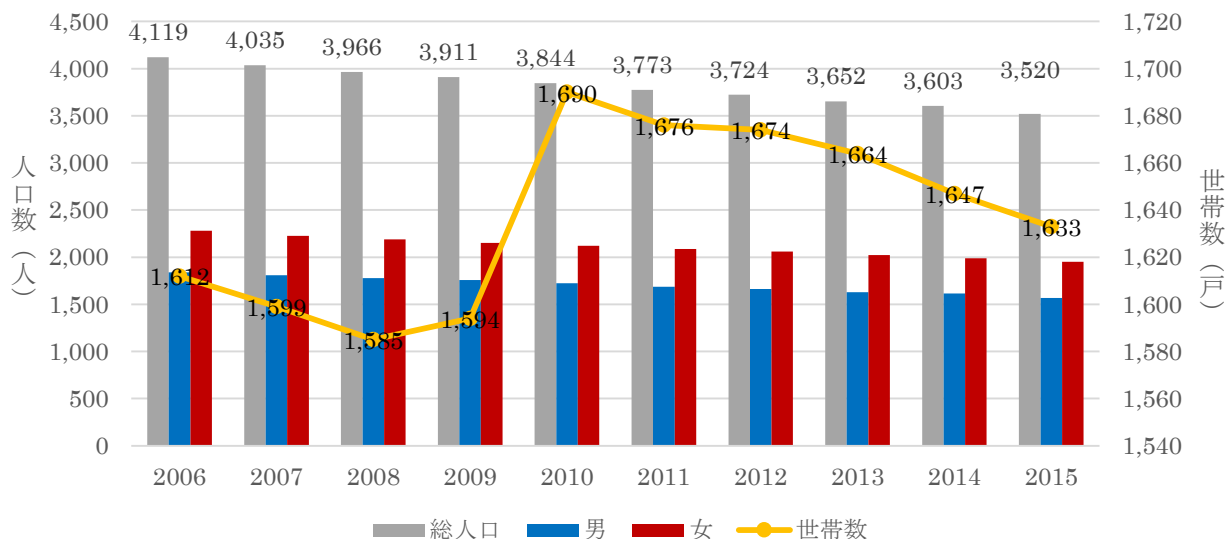
今後、この恵まれた特性・資源等を活用し、定住と交流による地域の活性化を進めながら、特色あるまちづくりを行うことが重要です。

2. 人口

(1) 総人口の推移

本町の人口は、旧奈古町・旧福賀村・旧宇田郷村が合併し、阿武町制が施行した1955年から現在に至るまで一貫して減少しています。

図表 人口・世帯の推移（単位：人・世帯）



※2010年度からは特別養護老人ホーム（50世帯）及び養護老人ホーム（50世帯）を加えたため、世帯数が大きく変動しています。

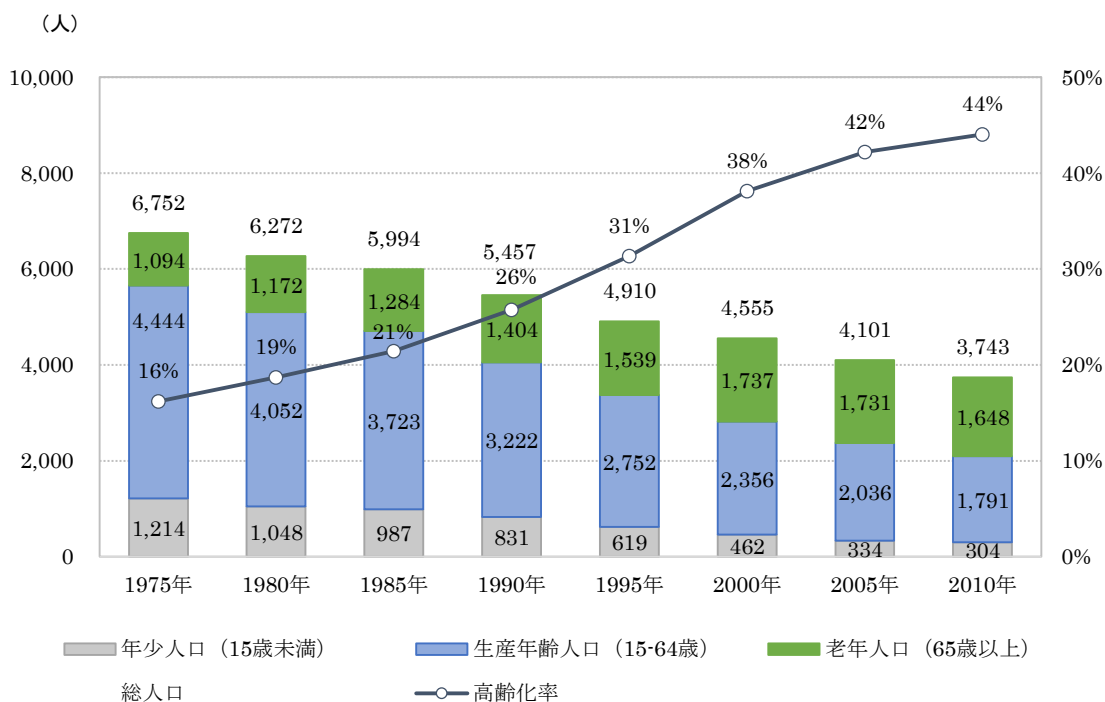
出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

(2) 年代別人口の推移

人口を0～14歳の「年少人口」、15～64歳の「生産年齢人口」、65歳以上の「老年人口」の3区分に分けた場合の人口推移を以下に示します。

生産年齢人口と年少人口は一貫して減少し続けており、高齢化が進んでいますが、1999年頃から老年人口も減少に転じ始め、3区分のすべての人口が減少していることから、今後、総人口の減少に拍車がかかることが懸念されます。

図表 年代別人口の推移 (単位: 人)

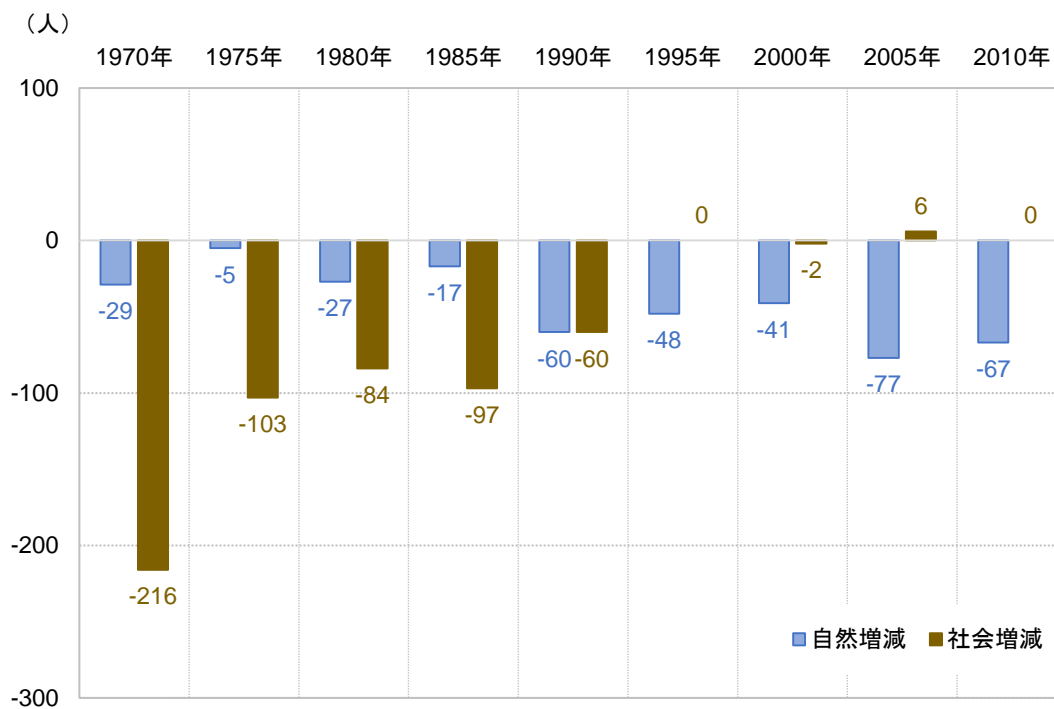


出典：総務省（国勢調査）

(3) 人口動態（自然動態・社会動態）

1990年頃までは社会減が主な人口減少の要因でしたが、その後は自然減が社会減を上回っています。2007年に開設した空き家バンク等による定住対策の効果により、転入と転出の差（社会増減）がほぼゼロで推移しています。

図表 人口動態（単位：人）



出典：山口県（人口移動統計調査）

(4) 将来人口の見込み

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2010年の総人口3,743人から、5年後の2015年には3,330人となり、30年後の2040年には1,707人と30年間で約2,036人減少(△約54.4%)する見込みです。

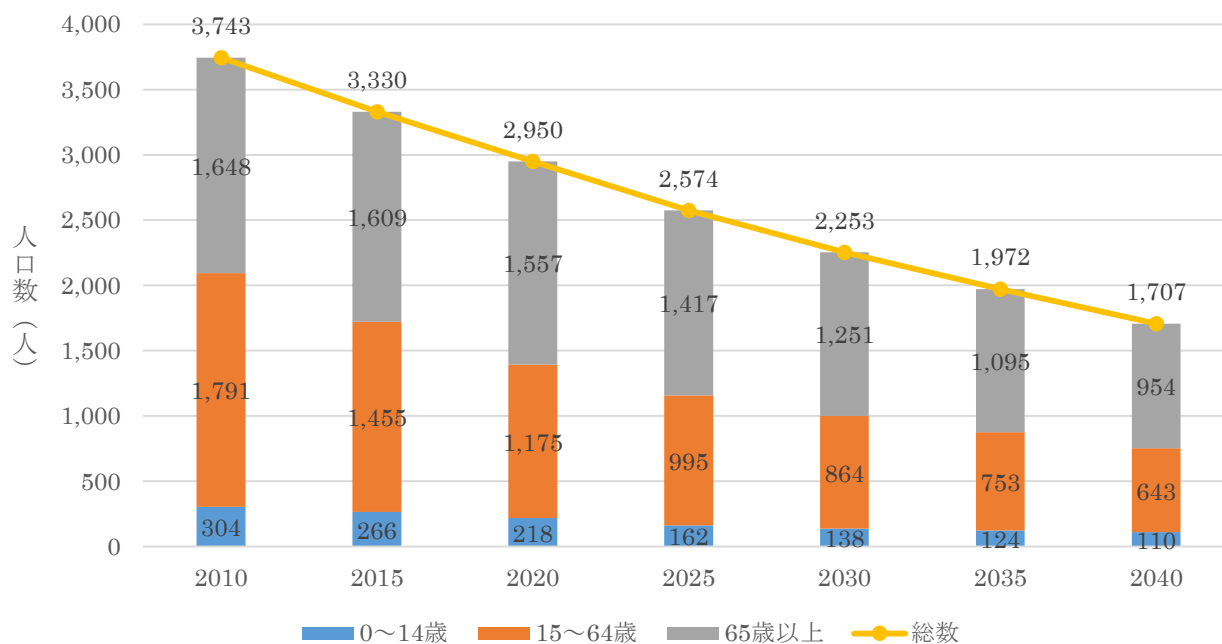
年齢別では、30年間で年少人口が約194人減少(△約63.8%)、生産年齢人口が約1,148人と大幅に減少(△約64.1%)し、老年人口も約694人減少(△約42.1%)する見込みです。

図表 将来人口の見込み (単位:人)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
0～14歳	304	266	218	162	138	124	110
15～64歳	1,791	1,455	1,175	995	864	753	643
65歳以上	1,648	1,609	1,557	1,417	1,251	1,095	954
総数	3,743	3,330	2,950	2,574	2,253	1,972	1,707

出典:「国立社会保障・人口問題研究所」掲載データ

図表 将来人口の見込み (単位:人)



出典:「国立社会保障・人口問題研究所」掲載データ

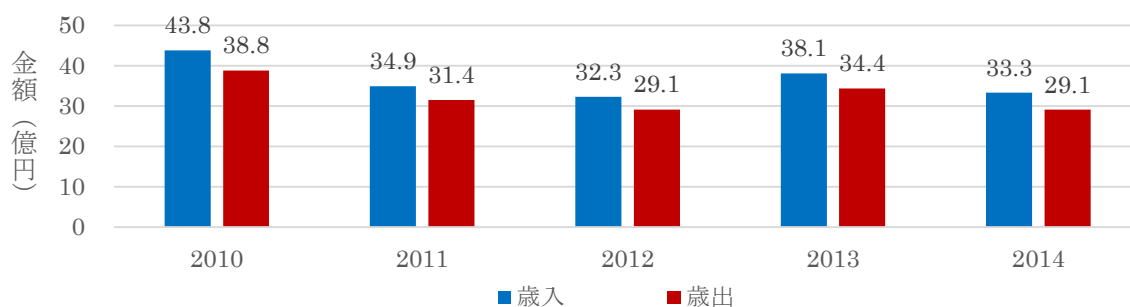
3. 財政・行政運営

(1) 歳入・歳出

2014年度の一般会計決算における歳入と歳出の状況では、歳入が33億3千万円、歳出が29億1千万円となっています。

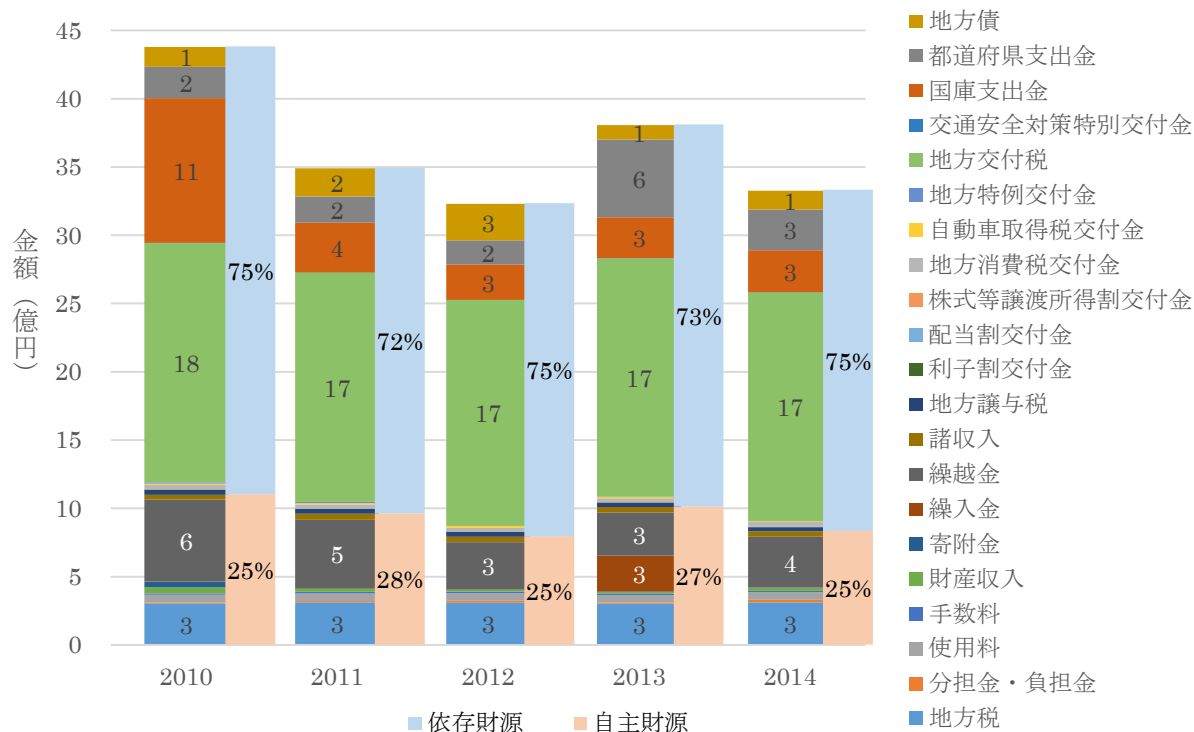
2014年度の歳入の内訳は、地方交付税が50.3%と最も多く、次に繰越金が11.1%で、歳入の約70%～75%が依存財源という構成比は過去5年間ほとんど変化がない状況です。

図表 一般会計決算状況（歳入、歳出の推移）（単位：億円）



出典：総務省「決算カード」

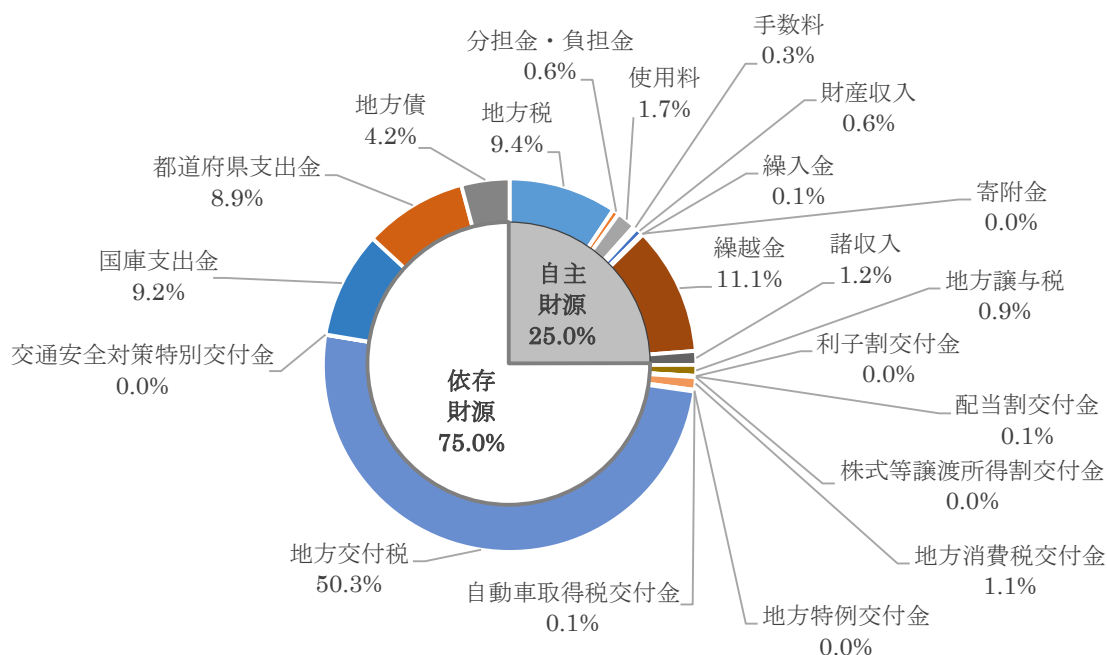
図表 一般会計歳入の内訳（単位：億円）



出典：総務省「決算カード」

II. 町勢概要

図表 歳入の内訳（自主財源と依存財源の構成比、2014年度）（単位：％）

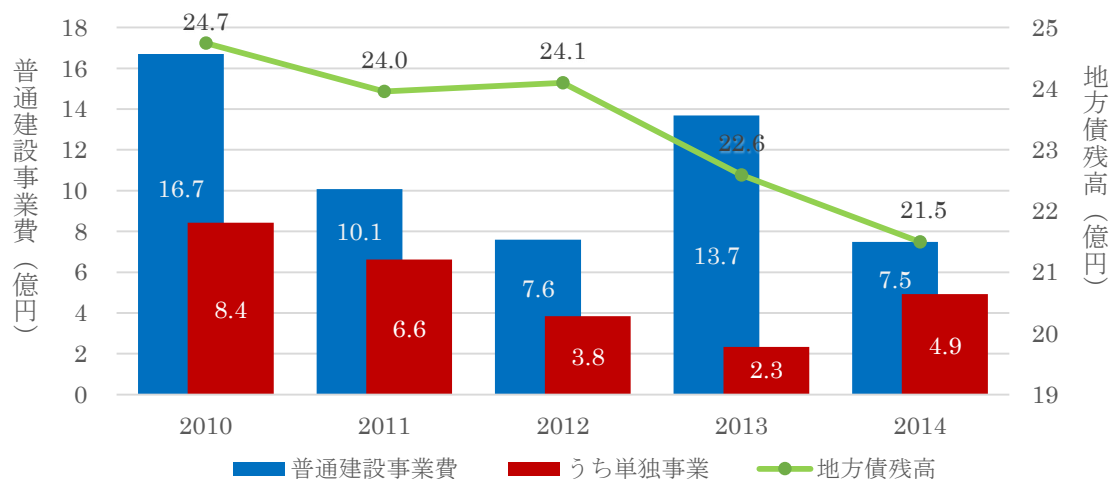


出典：総務省「決算カード」

(2) 普通建設事業費と地方債残高状況

一般会計における普通建設事業費は、2014年度で約7億5千万円となっています。

図表 普通建設事業費・地方債残高の推移（単位：百万円）



出典：総務省「決算カード」

Ⅲ. 公共施設の現状と分析

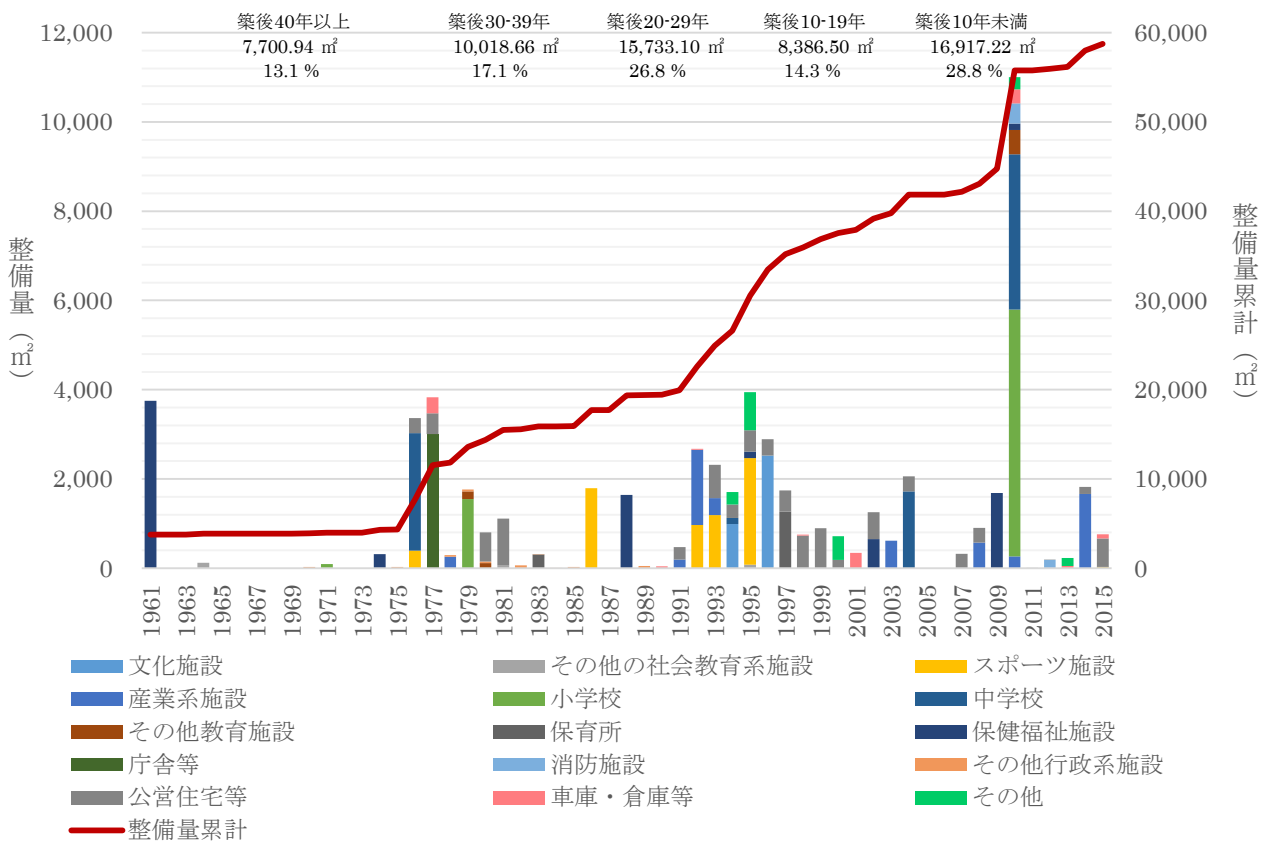
1. 建築物

(1) 過去の整備量(延床面積)

過去の整備量（延床面積）は、全体で約 5.9 万㎡です。町民 1 人あたり約 16.68 ㎡/人となっており、これは全国平均値（3.22 ㎡/人）、人口区分別平均値（10.61 ㎡/人）と比較しても高くなっています。

整備状況は図表のとおりです。全体として、築後 20 年から 29 年が 26.8%、30 年から 39 年が 17.1%、40 年以上が 13.1%と、約 57%の建物が 20 年以上経過している状況です。

図表 過去の整備量（延床面積）（単位：㎡）



※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

- ①主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」
従：公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」、その他の社会教育施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」
- ②主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」
従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」、庁舎等「阿武町役場 福賀支所」
- ③主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」
従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」と庁舎等「阿武町役場 宇田郷支所」
- ④主：スポーツ施設「阿武町体育センター」
従：子育て支援施設「阿武町こども館」
- ⑤主：保育所「みどり保育園」
従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

※「コミュニティワゴン（福賀）車庫」と「コミュニティワゴン（宇田）車庫」（車庫・倉庫等）は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」、総務課

Ⅲ. 公共施設の現状と分析

(2) 機能別延床面積

総延床面積：約 5.9 万㎡に対して、各々の機能別施設の割合は、学校教育系機能（小学校・中学校・その他教育施設）が 27.2%と一番高く、次に公営住宅等が 15.9%、スポーツ施設が 11.5%、保健福祉施設が 14.2%となっています。

図表 機能別延床面積

機能別施設		延床面積	比率
町民文化系施設	文化施設	3,516.98 ㎡	6.0 %
社会教育系施設	公民館	-	-
	その他の社会教育系施設	274.00 ㎡	0.5 %
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	6,758.06 ㎡	11.5 %
産業系施設	産業系施設	5,643.14 ㎡	9.6 %
学校教育系施設	小学校	7,175.00 ㎡	12.2 %
	中学校	7,967.00 ㎡	13.6 %
	その他教育施設	822.40 ㎡	1.4 %
子育て支援施設	保育所	1,601.53 ㎡	2.7 %
	子育て支援施設	-	-
保健・福祉施設	保健福祉施設	8,333.21 ㎡	14.2 %
行政系施設	庁舎等	3,004.54 ㎡	5.1 %
	消防施設	636.45 ㎡	1.1 %
	その他行政系施設	341.00 ㎡	0.6 %
公営住宅	公営住宅等	9,319.05 ㎡	15.9 %
その他	車庫・倉庫等	1,255.93 ㎡	2.1 %
	その他	2,108.13 ㎡	3.6 %
合 計		58,756.42 ㎡	100.0 %

※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

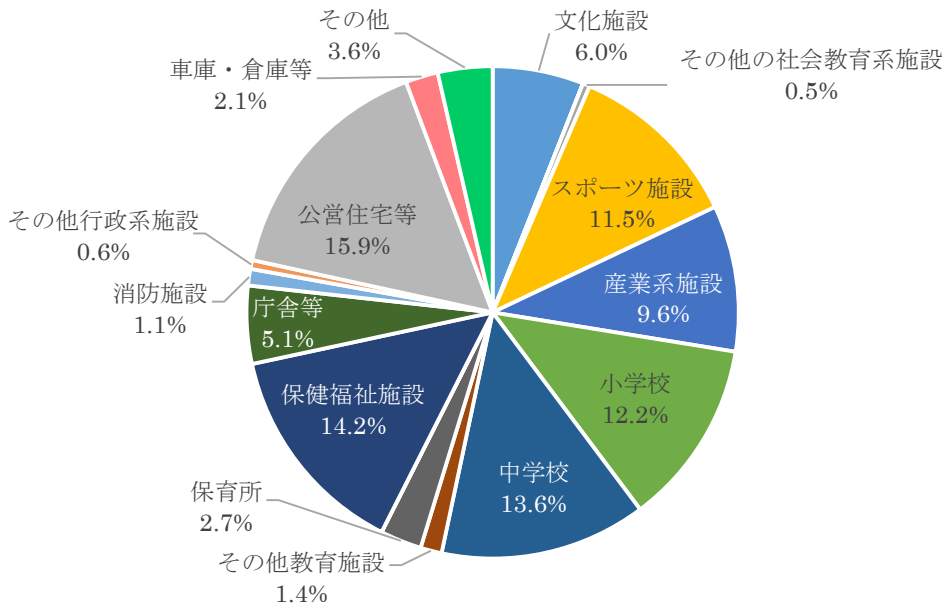
- ①主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」
従：公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」、その他の社会教育施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」
- ②主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」
従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」、庁舎等「阿武町役場 福賀支所」
- ③主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」
従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」と庁舎等「阿武町役場 宇田郷支所」
- ④主：スポーツ施設「阿武町体育センター」
従：子育て支援施設「阿武町こども館」
- ⑤主：保育所「みどり保育園」
従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

※「コミュニティワゴン（福賀）車庫」と「コミュニティワゴン（宇田）車庫」（車庫・倉庫等）は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

出典：「2015 年度固定資産台帳」

Ⅲ. 公共施設の現状と分析

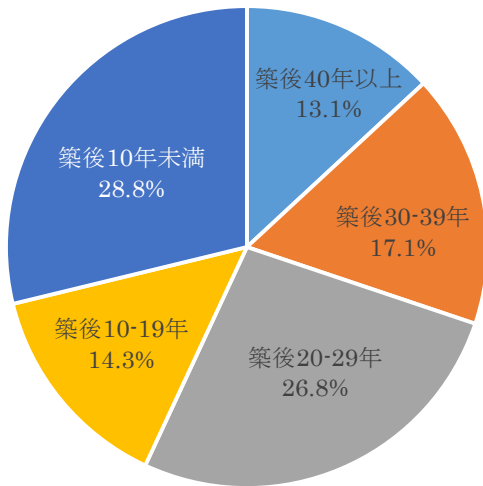
図表 機能別延床面積（単位：％）



※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」

図表 建築後年数による割合（単位：％）



過去の全体の整備量（延床面積）は、約 5.9 万㎡です。建築後年数による割合は、

- ・築後 40 年以上は、約 13.1%
- ・築後 30～39 年は、約 17.1%
- ・築後 20～29 年は、約 26.8%
- ・築後 10～19 年は、約 14.3%
- ・築後 10 年未満は、約 28.8%

となっており、築後 20 年以上の施設が約 6 割となっています。

全体の整備量（延床面積）を人口で割った一人あたりの整備量は、16.68 ㎡となっています。

出典：「2015年度固定資産台帳」、総務課

(3) 施設老朽化の現状

公共建築物の老朽化の現状は以下の図表のとおりで全体の42%が老朽化しています。

図表 施設老朽化比率

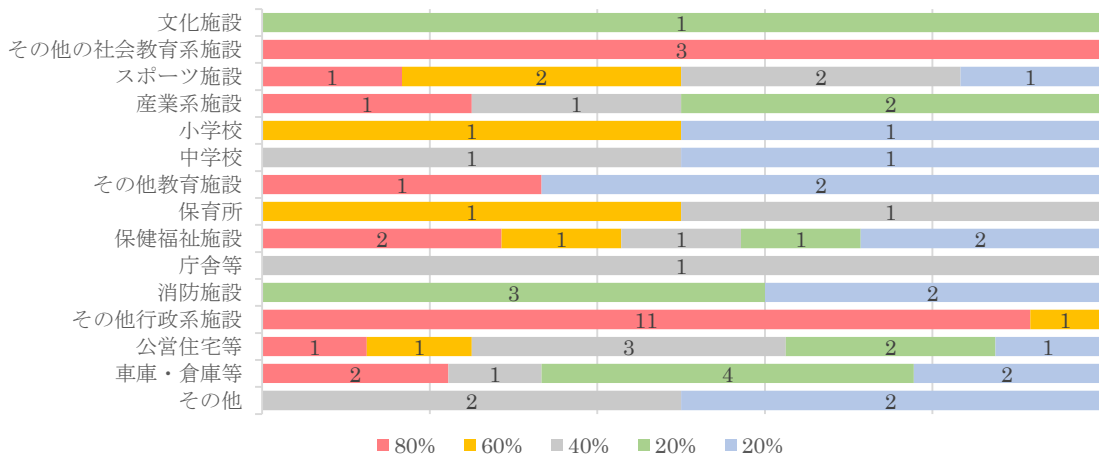
機能別施設	施設数	件数	80%以上	60%以上	40%以上	20%以上	20%未満	平均比率
文化施設	1	1				1		38.9%
公民館	3	-	-	-	-	-	-	-
その他の社会教育施設	4	3	3					91.0%
スポーツ施設	6	6	1	2	2		1	53.5%
産業系施設	4	4	1		1	2		50.2%
小学校	2	2		1			1	42.3%
中学校	2	2			1		1	27.5%
その他教育施設	3	3	1				2	36.3%
保育所	2	2		1	1			54.8%
子育て支援施設	2	-	-	-	-	-	-	-
保健福祉施設	7	7	2	1	1	1	2	52.1%
庁舎等	3	1			1			54.9%
消防施設	5	5				3	2	20.7%
その他行政系施設	12	12	11	1			2	97.5%
公営住宅等	8	8	1	1	3	2	1	46.4%
車庫・倉庫等	11	9	2		1	4	2	38.8%
その他	4	4			2		2	29.0%
比率	-	-	31.9%	10.1%	18.8%	18.8%	20.3%	
合計	79	69	22	7	13	13	14	

※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

- ①主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」
 従：公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」、その他の社会教育施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」
- ②主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」
 従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」、庁舎等「阿武町役場 福賀支所」
- ③主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」
 従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」、庁舎等「阿武町役場 宇田郷支所」
- ④主：スポーツ施設「阿武町体育センター」
 従：子育て支援施設「阿武町こども館」
- ⑤主：保育所「みどり保育園」
 従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

※「コミュニティワゴン（福賀）車庫」と「コミュニティワゴン（宇田）車庫」（車庫・倉庫等）は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

図表 施設老朽化比率



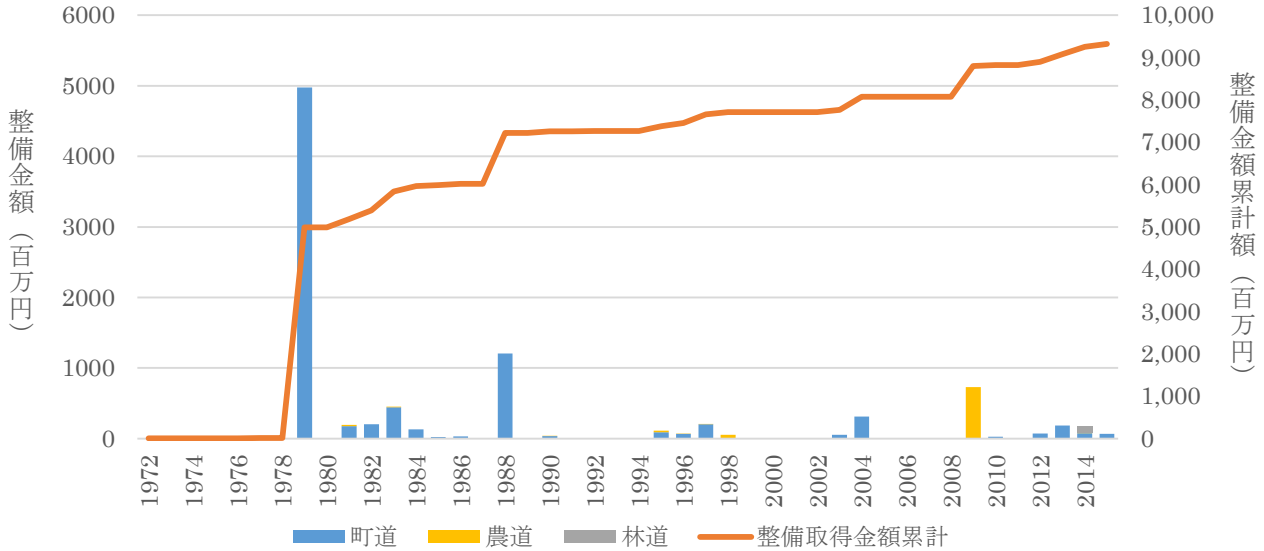
※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」、総務課

2. 道 路

道路（町道・農道・林道）の年度別整備状況は下図のようになります。

図表 道路全体の年度別整備金額（単位：百万円）



※台帳整備開始に伴う一括登録や既存道路の整理等により、整備額が突出しているところがあります。

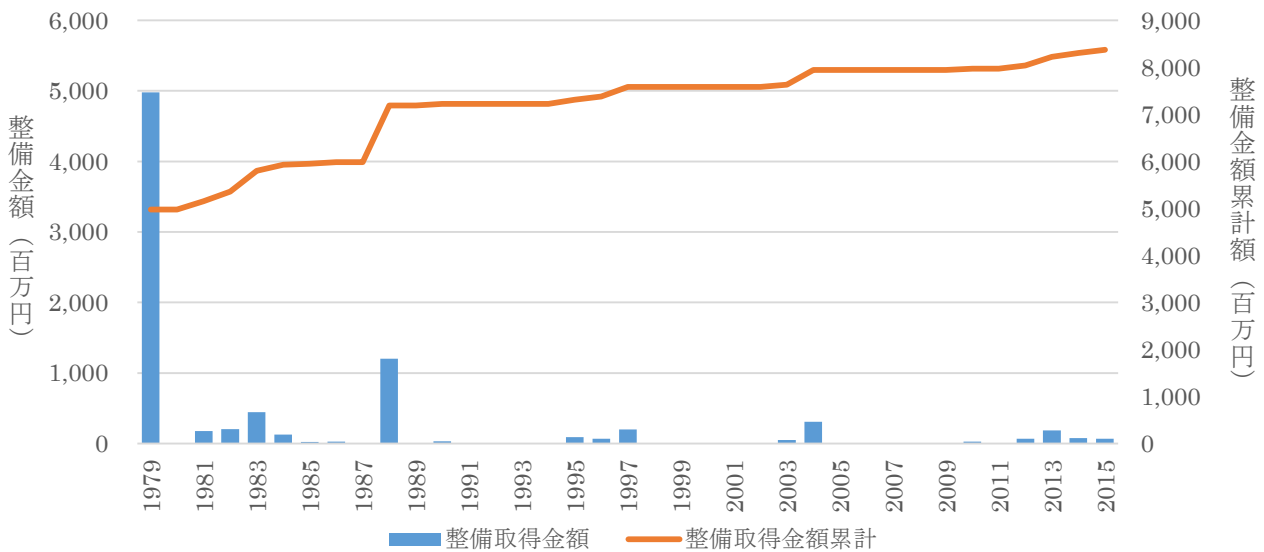
出典：「2015年度固定資産台帳」

2-1. 町 道

町道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

整備金額累計額は約 83 億 7 千万円にのびます。

図表 町道の年度別整備金額（単位：百万円）

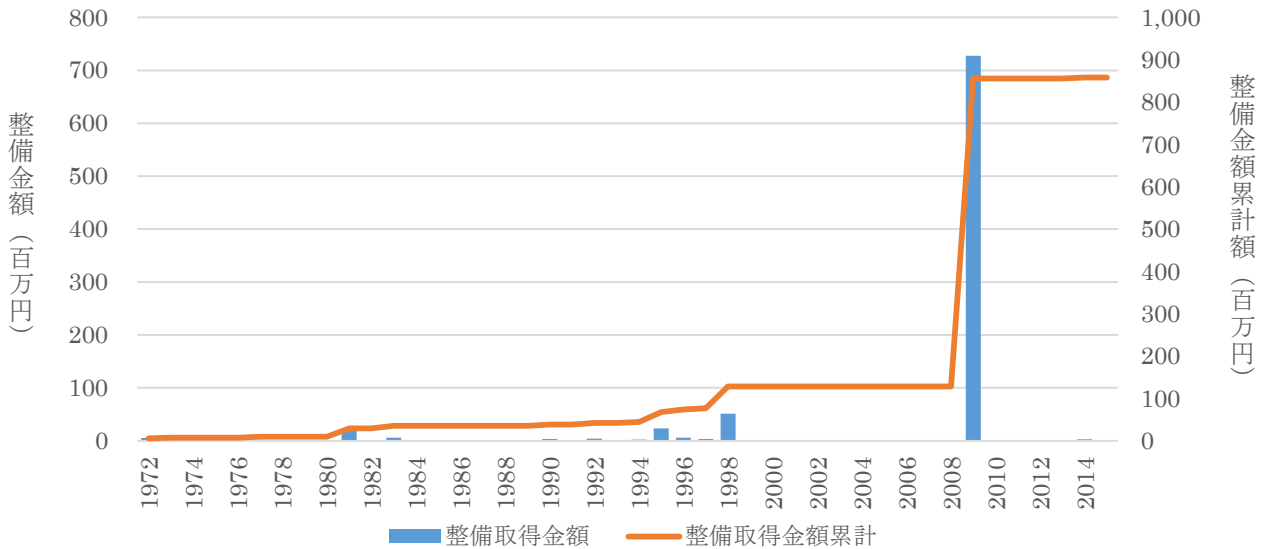


出典：「2015年度固定資産台帳」

2-2. 農 道

農道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
整備金額累計額は約 85 億 8 千万円にのびります。

図表 農道の年度別整備金額（単位：百万円）

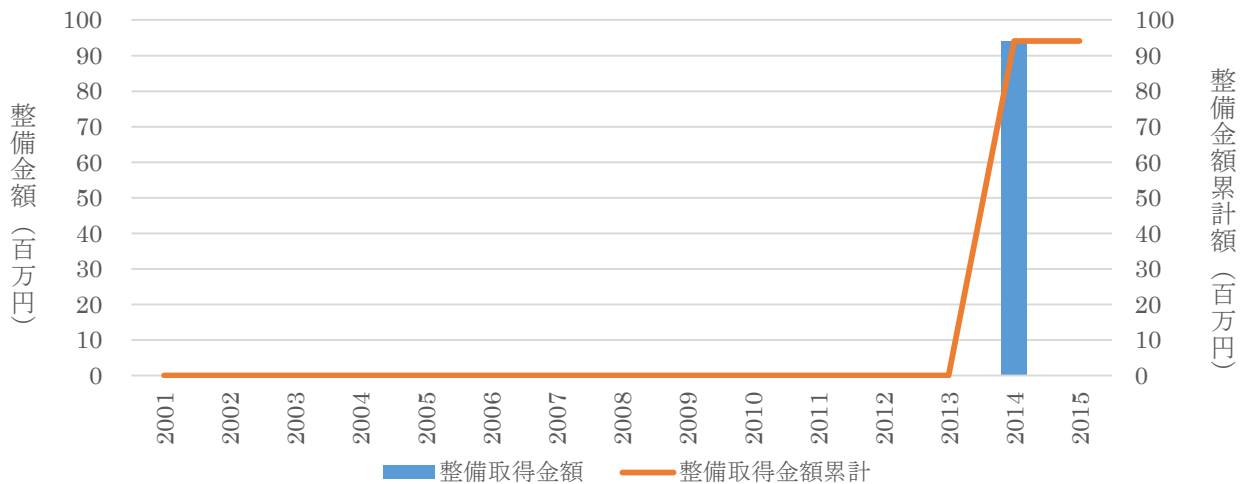


出典：「2015 年度固定資産台帳」

2-3. 林 道

林道整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
整備金額累計額は約 9 千万円にのびります。

図表 林道の年度別整備金額（単位：百万円）

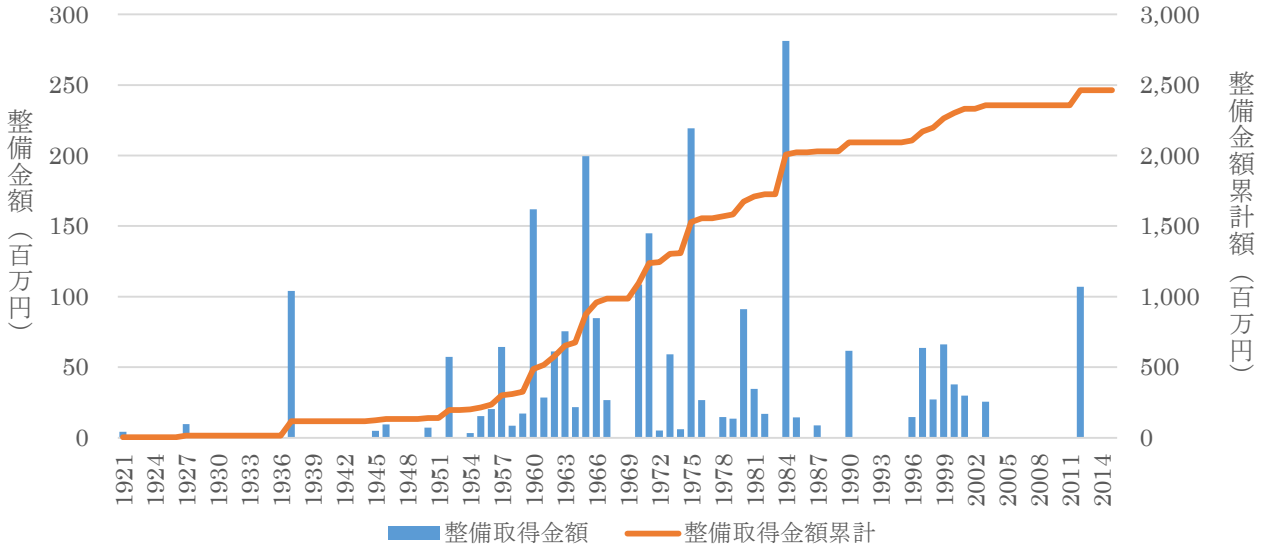


出典：「2015 年度固定資産台帳」

3. 橋 梁

橋梁整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 整備金額累計額は約 24 億 6 千万円にのびます。

図表 橋梁の年度別整備金額（単位：百万円）

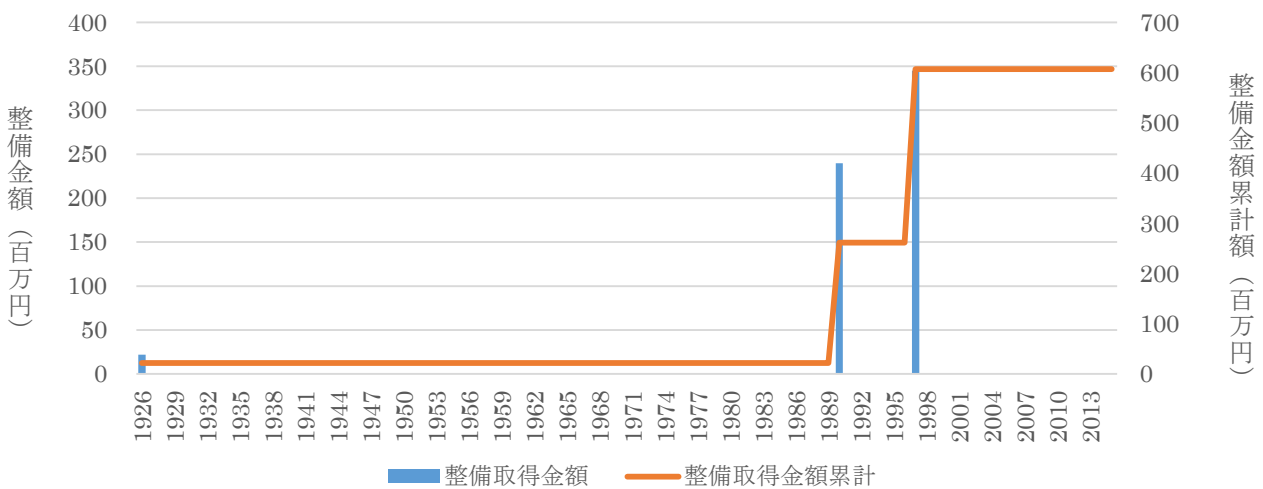


出典：「2015 年度固定資産台帳」

4. トンネル

トンネル整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 整備金額累計額は約 6 億円にのびます。

図表 トンネルの年度別整備金額（単位：百万円）



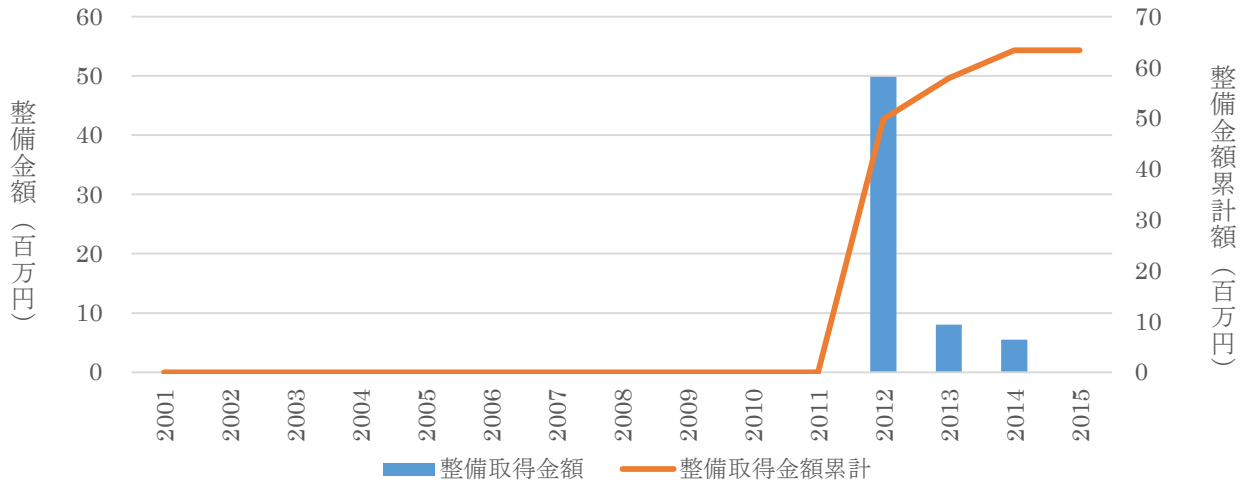
出典：「2015 年度固定資産台帳」

5. 公園

公園整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

町が所有している公園はグリーンパークあぶ 1 か所で、整備金額累計額は約 6 千万円にのびります。

図表 公園の年度別整備金額（単位：百万円）

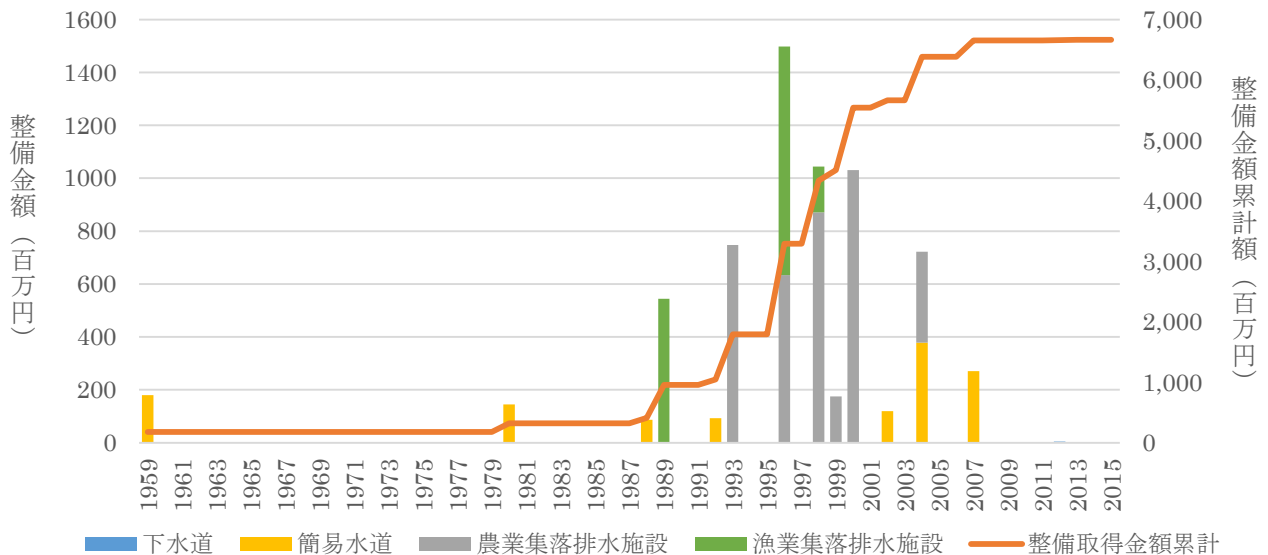


出典：「2015 年度固定資産台帳」

6. 下水道関連施設

下水道関連施設整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。

図表 下水道関連施設の年度別整備金額（単位：百万円）

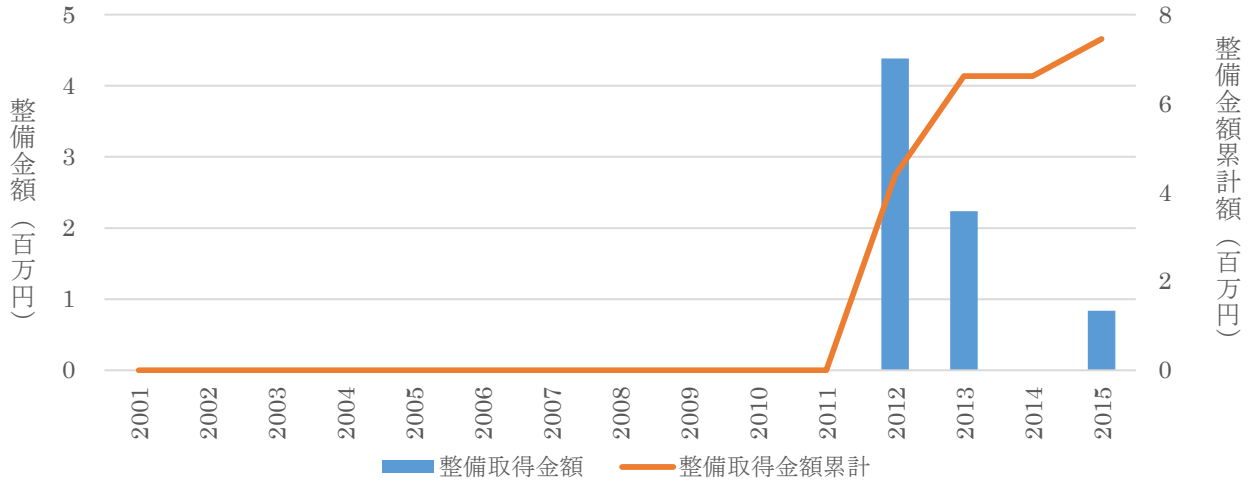


出典：「2015 年度固定資産台帳」

6-1. 下水道

下水道に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 整備金額累計額は約 7 百万円にのびります。

図表 下水道の年度別整備金額（単位：百万円）

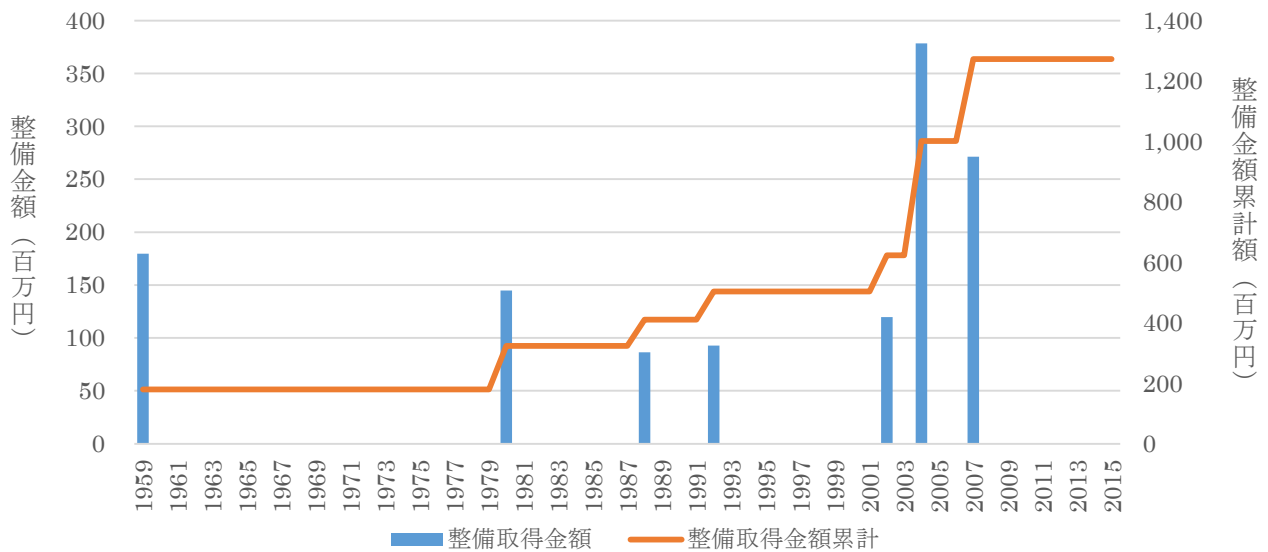


出典：「2015 年度固定資産台帳」

6-2. 簡易水道

簡易水道に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
 整備金額累計額は約 12 億 7 千万円にのびります。

図表 簡易水道の年度別整備金額（単位：百万円）

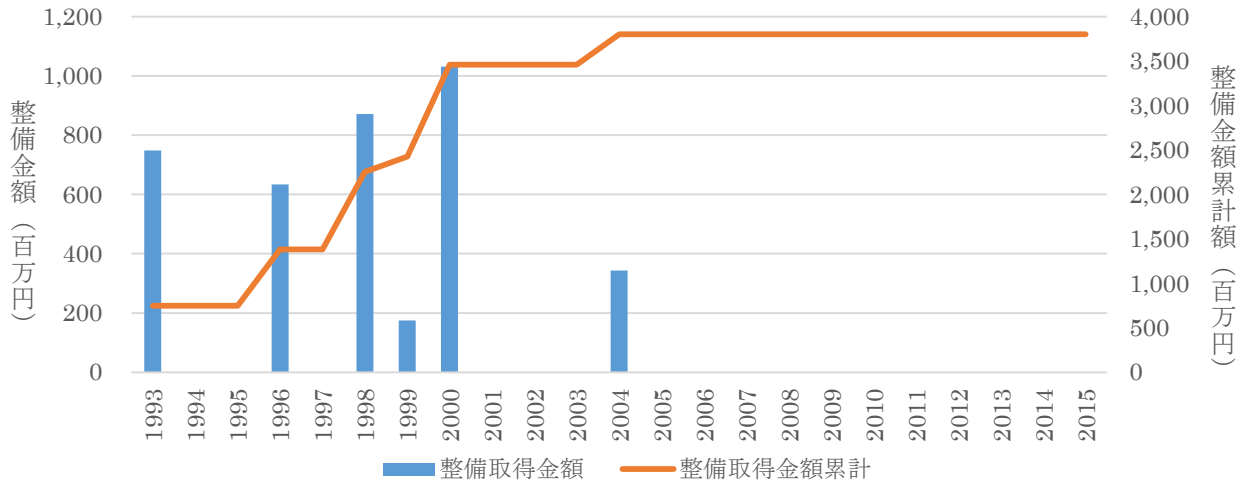


出典：「2015 年度固定資産台帳」

6-3. 農業集落排水施設

農業集落排水施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
整備金額累計額は約 38 億円にのびます。

図表 農業集落排水施設の年度別整備金額（単位：百万円）

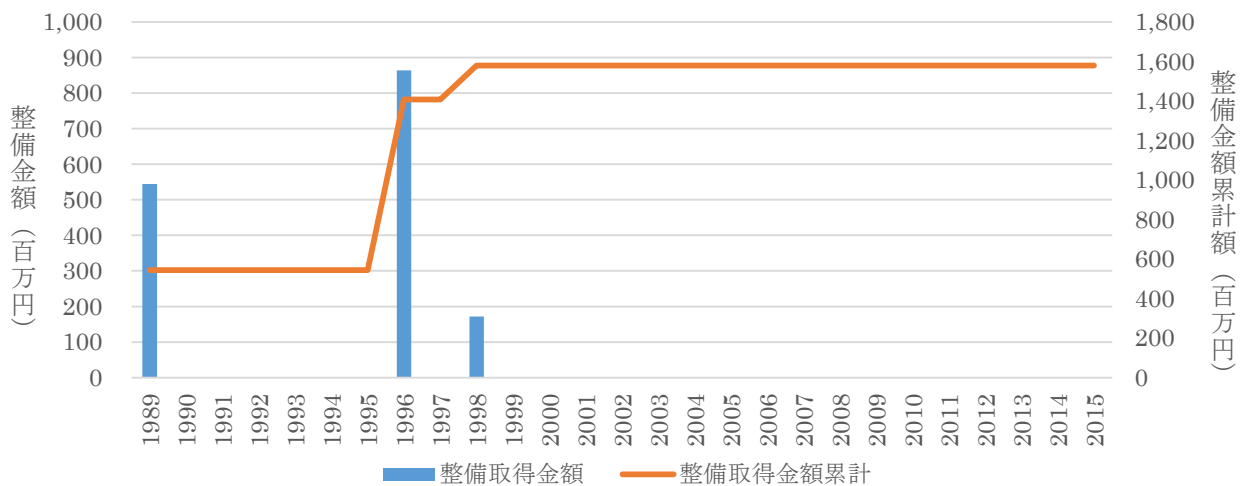


出典：「2015 年度固定資産台帳」

6-4. 漁業集落排水施設

漁業集落排水施設に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
整備金額累計額は約 15 億 8 千万円にのびます。

図表 漁業集落排水施設の年度別整備金額（単位：百万円）

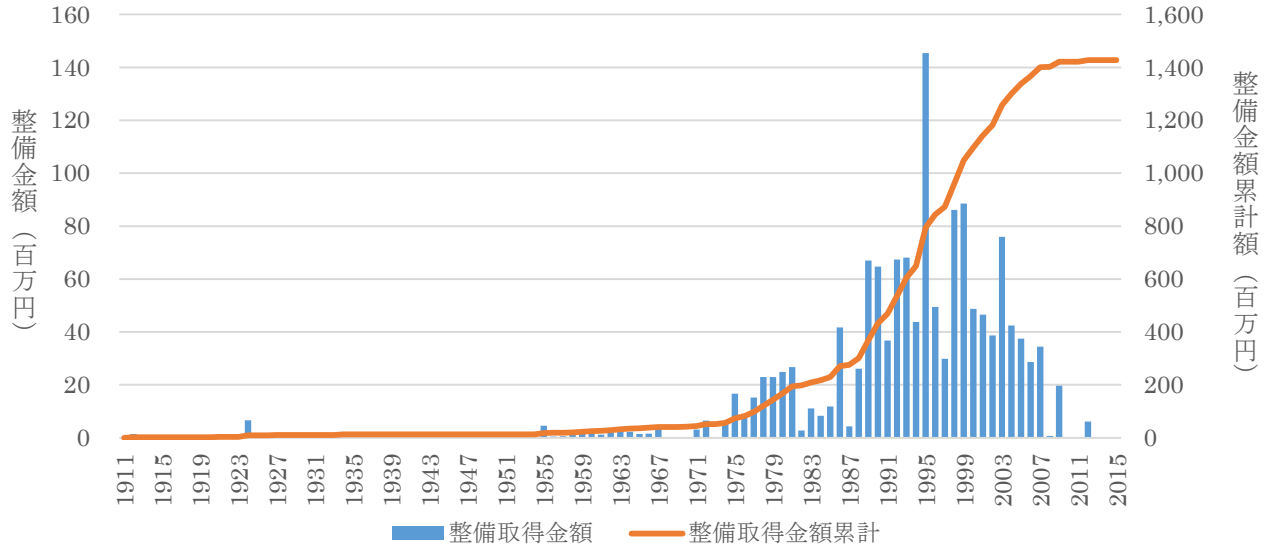


出典：「2015 年度固定資産台帳」

7. 漁 港

漁港整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
整備金額累計額は約 14 億 3 千万円にのびります。

図表 漁港の年度別整備金額（単位：百万円）

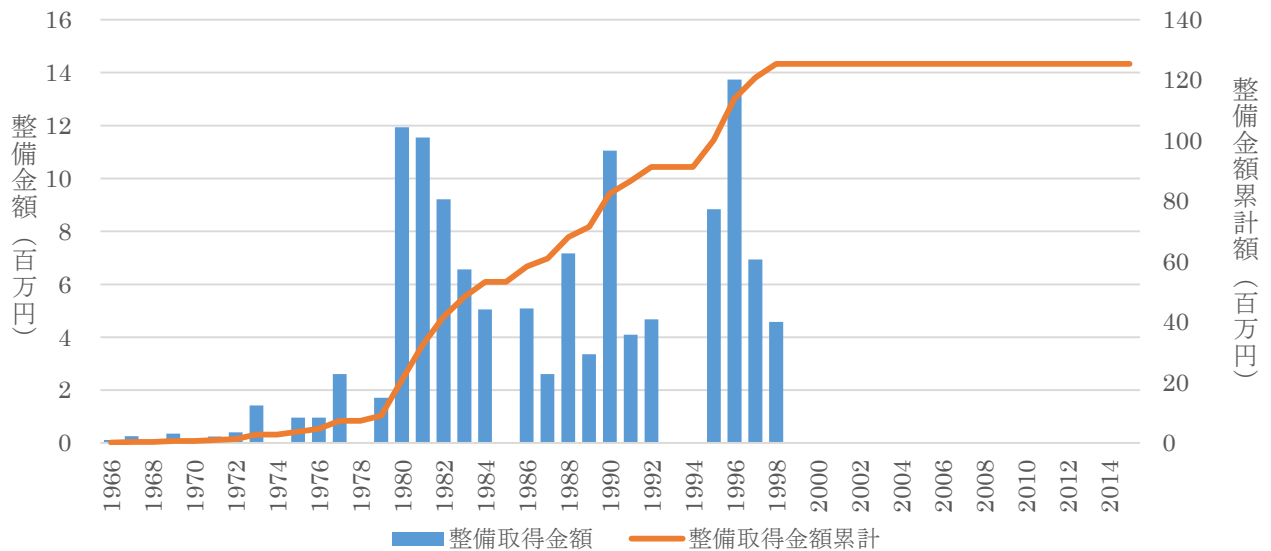


出典：「2015 年度固定資産台帳」

8. 防火水槽

防火水槽整備に関しては、過去の整備金額を整理すると下図のようになります。
整備金額累計額は約 1 億 3 千万円にのびります。

図表 防火水槽の年度別整備金額（単位：百万円）



出典：「2015 年度固定資産台帳」

IV. 地区別の現状と分析

1. 奈古地区

(1) 人口

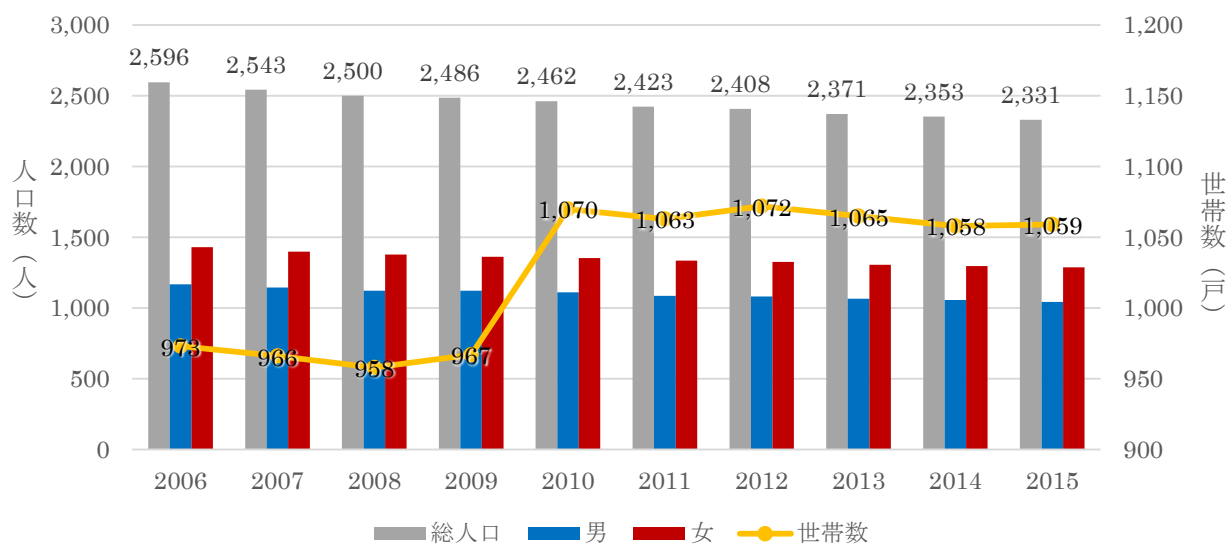
奈古地区の過去10年間の人口及び世帯数のうち、2006年度と2015年度を比較すると、人口は265人減少（△10.2%）、世帯数は86世帯増加（+8.8%）しています。

図表 過去10年間の人口の推移（単位：人）

年度	総数	男	女	世帯数
2006年度	2,596	1,167	1,429	973
2007年度	2,543	1,145	1,398	966
2008年度	2,500	1,123	1,377	958
2009年度	2,486	1,123	1,363	967
2010年度	2,462	1,110	1,352	1,070
2011年度	2,423	1,087	1,336	1,063
2012年度	2,408	1,082	1,326	1,072
2013年度	2,371	1,065	1,306	1,065
2014年度	2,353	1,057	1,296	1,058
2015年度	2,331	1,043	1,288	1,059

出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

図表 過去10年間の人口の推移（単位：人・世帯）



※2010年度からは世帯数に特別養護老人ホーム（50世帯）及び養護老人ホーム（50世帯）を加えたため、大きく変動しています。

出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

(2) 施設の状況

①公共施設の配置

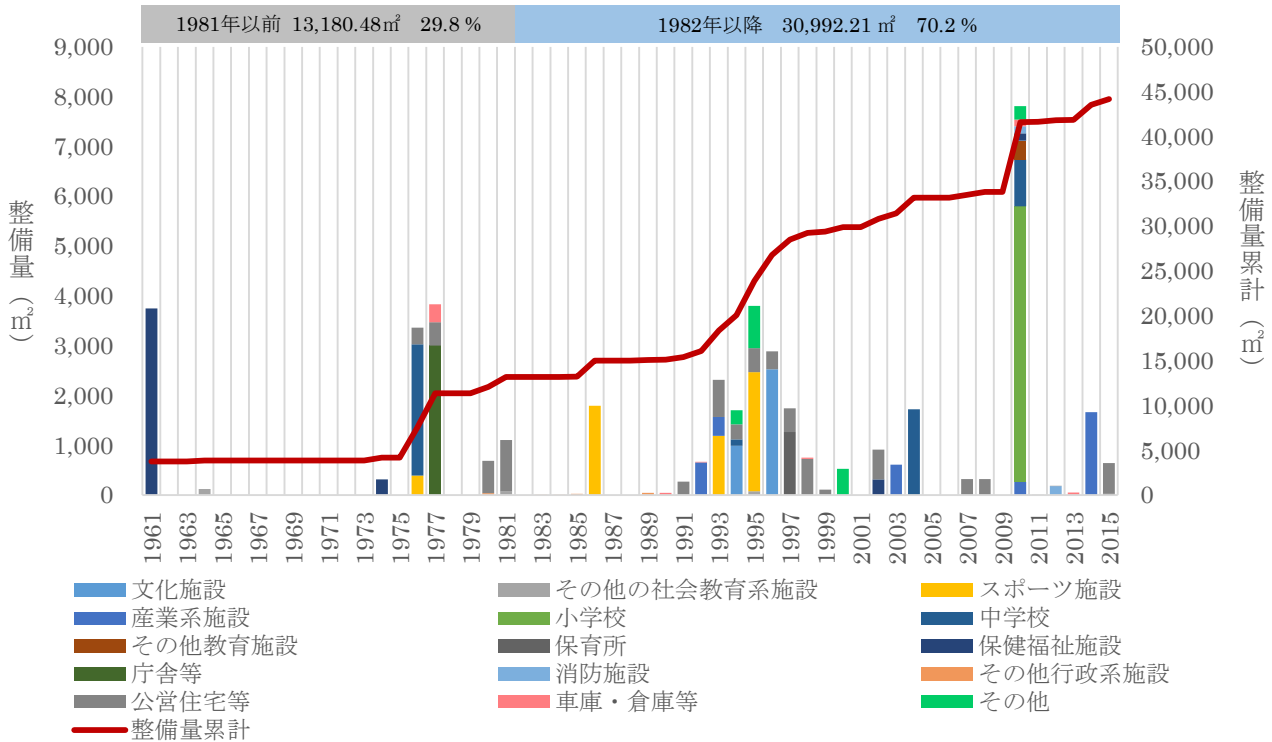
奈古地区の公共施設は図表のとおりです。

大分類	中分類	施設数	主な施設
町民文化系施設	文化施設	1	阿武町町民センター（文化ホール）
社会教育系施設	公民館	1	阿武町町民センター（中央公民館）
	その他の社会教育施設	4	片集会所 水ヶ迫集会所 美里団地集会所 阿武町町民センター（農村環境改善センター）
	スポーツ・レクリエーション系施設	4	阿武町体育センター 阿武町武道館 道の駅温水プール 阿武町町民グラウンド
産業系施設	産業系施設	1	道の駅阿武町
学校教育系施設	小学校	1	阿武小学校
	中学校	1	阿武中学校
	その他教育施設	2	阿武給食センター 奈古教員住宅
子育て支援施設	保育所	1	みどり保育園
	子育て支援施設	2	阿武町こども館 阿武町子育て支援センター
保健・福祉施設	保健福祉施設	3	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑 阿武町地域活動支援センター 母子健康センター
行政系施設	庁舎等	1	阿武町役場庁舎
	消防施設	3	奈古中央消防器庫（1分団） 奈古浦消防器庫（2分団） 木与消防器庫（3分団）
	その他行政系施設	5	浜崎水防倉庫 西水防倉庫 宇久水防倉庫 河内水防倉庫 寺東水防倉庫
公営住宅	公営住宅等	4	水ヶ迫公営住宅 美里団地 岡田橋団地 奈古一般住宅
その他	車庫・倉庫等	6	阿武町役場 車庫 阿武町バス 車庫 阿武町海岸清掃機械格納庫 コミュニティ資材倉庫 阿武中学校バス 車庫 グリーンパークあぶ便所・倉庫
	その他	3	㈱ナバル奈古工場 事務所 阿武町社会福祉協議会事務所 阿武町リサイクルセンター
合計施設数		43	—

②築年別の施設状況

公共施設の総面積は、44,172.69 m²と町全体の約75.3%を占めています。また、施設数は43施設となっています。

図表 公共施設の整備状況（単位：m²）



※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。(③施設別用途割合も同様)

- ①主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」
従：公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」、その他の社会教育施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」
- ②主：スポーツ施設「阿武町体育センター」
従：子育て支援施設「阿武町こども館」
- ③主：保育所「みどり保育園」
従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」

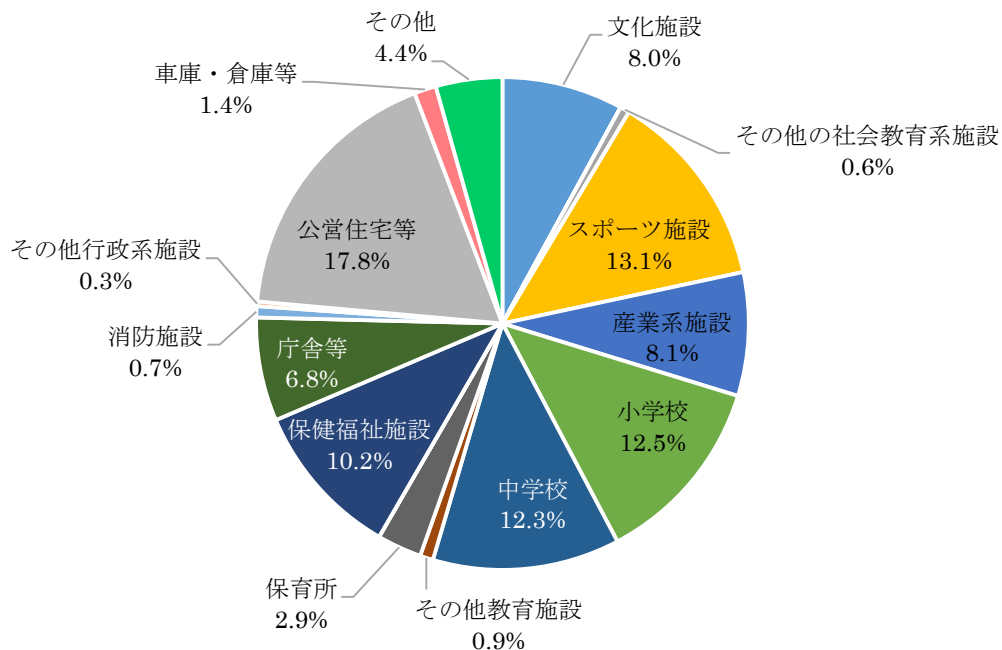
図表 分類別施設整備割合

2015年度までに建設された公共施設の総面積		44,172.69	(m ²)	項目	総面積	割合
新耐震基準前の建設年の施設 (1981年度以前の建築)	延床面積	13,180.48	(m ²)	築後40年以上	7,549.94 m ²	17.1%
	割合	29.8	(%)	築後30-39年	7,470.38 m ²	16.9%
建設から20年以上の施設 (1996年度以前の建築)	延床面積	26,771.77	(m ²)	築後20-29年	11,751.45 m ²	26.6%
	割合	60.6	(%)	築後10-19年	6,391.25 m ²	14.5%
2015年度の地域人口		2,331	(人)	築後10年未満	11,009.67 m ²	24.9%
人口1人当たりの公共施設の延床面積		18.95	(m ² /人)	合計	44,172.69 m ²	100.0%

③施設用途割合

学校教育系施設(小学校・中学校・その他教育施設)が 25.7%と最も大きく、以下、公営住宅等が 17.8%、スポーツ施設が 13.1%となっています。

図表 施設用途別割合 (単位：%)



※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」

2. 福賀地区

(1) 人口

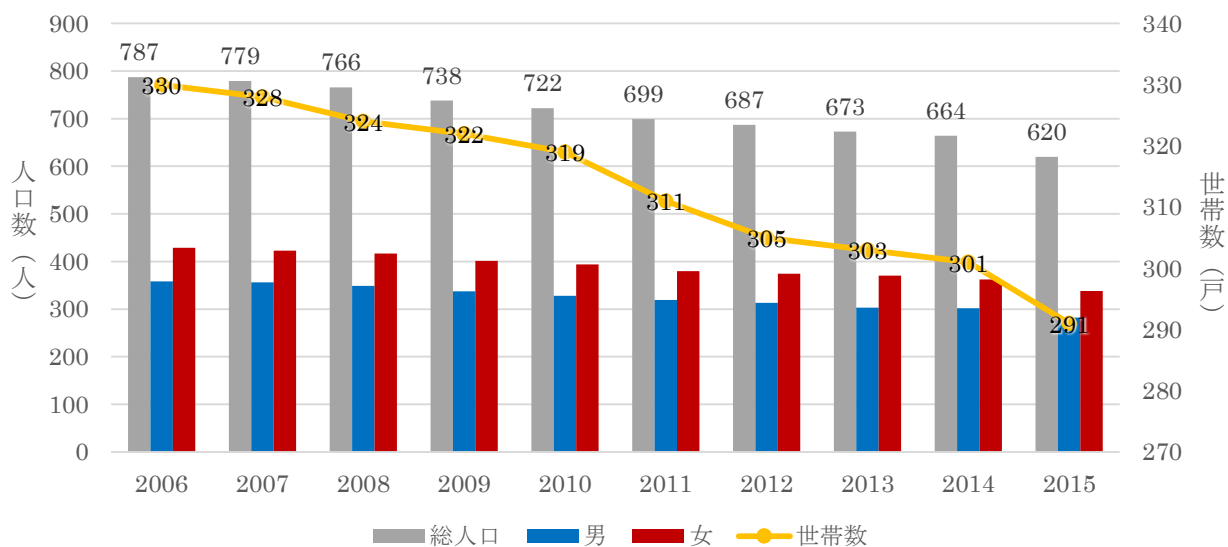
福賀地区の過去10年間の人口及び世帯数のうち、2006年度と2015年度を比較すると、人口は167人減少（△21.2%）、世帯数は39世帯減少（△11.8%）しています。

図表 過去10年間の人口の推移（単位：人）

年度	総数	男	女	世帯数
2006年度	787	358	429	330
2007年度	779	356	423	328
2008年度	766	349	417	324
2009年度	738	337	401	322
2010年度	722	328	394	319
2011年度	699	319	380	311
2012年度	687	313	374	305
2013年度	673	303	370	303
2014年度	664	302	362	301
2015年度	620	282	338	291

出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

図表 過去10年間の人口の推移（単位：人・世帯）



出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

(2) 施設の状況

①公共施設の配置

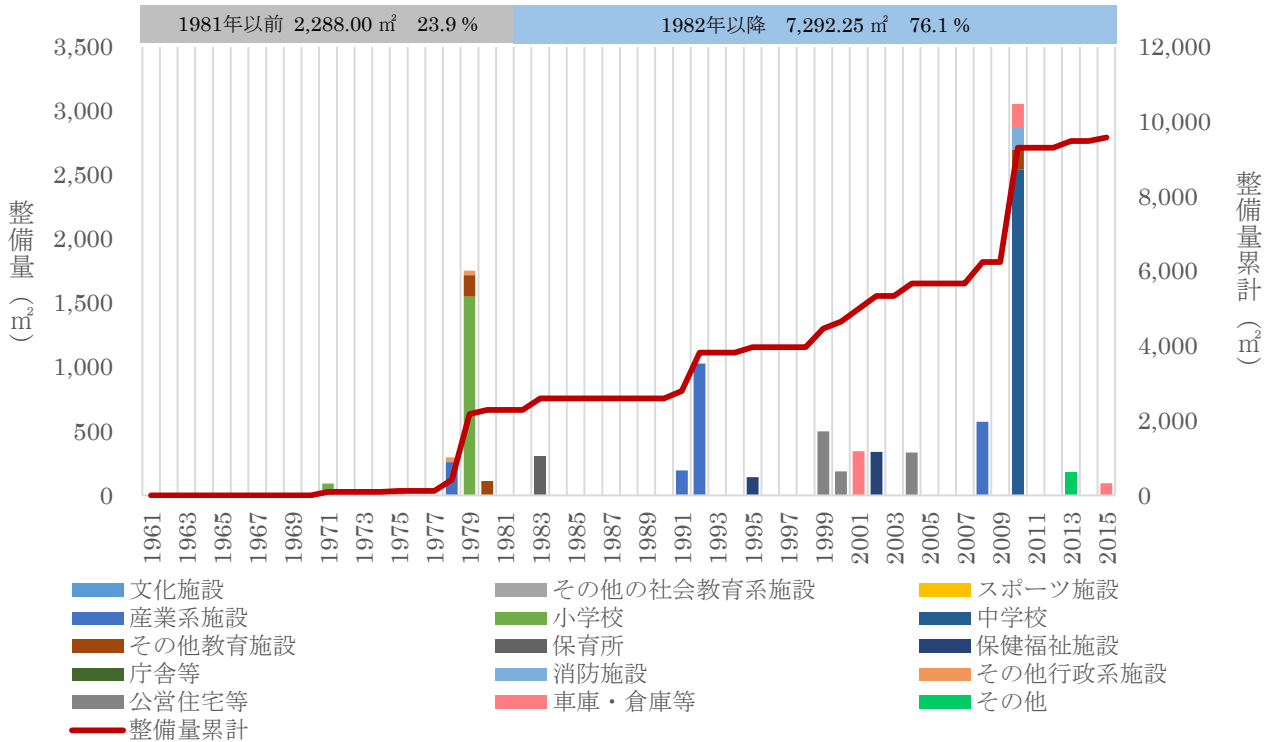
福賀地区の公共施設は図表のとおりです。

大分類	中分類	施設数	主な施設
町民文化系施設	文化施設	-	
社会教育系施設	公民館	1	阿武町のうそんセンター（福賀公民館）
	その他の社会教育施設	-	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	-	
産業系施設	産業系施設	3	阿武町堆肥センター 林業センター 阿武町のうそんセンター
学校教育系施設	小学校	1	福賀小学校
	中学校	1	福賀中学校（2016年度解体済）
	その他教育施設	1	福賀教員住宅
子育て支援施設	保育所	1	みどり保育園福賀分園
保健・福祉施設	保健福祉施設	2	福賀診療所 福賀診療所 医師住宅
行政系施設	庁舎等	1	阿武町役場 福賀支所
	消防施設	1	福賀中央消防器庫（4分団）
	その他行政系施設	3	栃原水防倉庫 上万水防倉庫 飯谷水防倉庫
公営住宅	公営住宅等	2	中村団地 福賀一般住宅
その他	車庫・倉庫等	4	阿武町除雪車 車庫 コミュニティワゴン（福賀）車庫 農機具庫 家畜保護施設
	その他	1	お試し住宅（移住体験滞在施設）
合計施設数		22	—

②築年別の施設状況

公共施設の総面積は、9,580.25 m²と町全体の約 16.3%を占めています。また、施設数は 22 施設となっています。

図表 公共施設の整備状況（単位：m²）



※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」

従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」、庁舎等「阿武町役場 福賀支所」

※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

※「コミュニティワゴン（福賀）車庫」は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

出典：「2015 年度固定資産台帳」

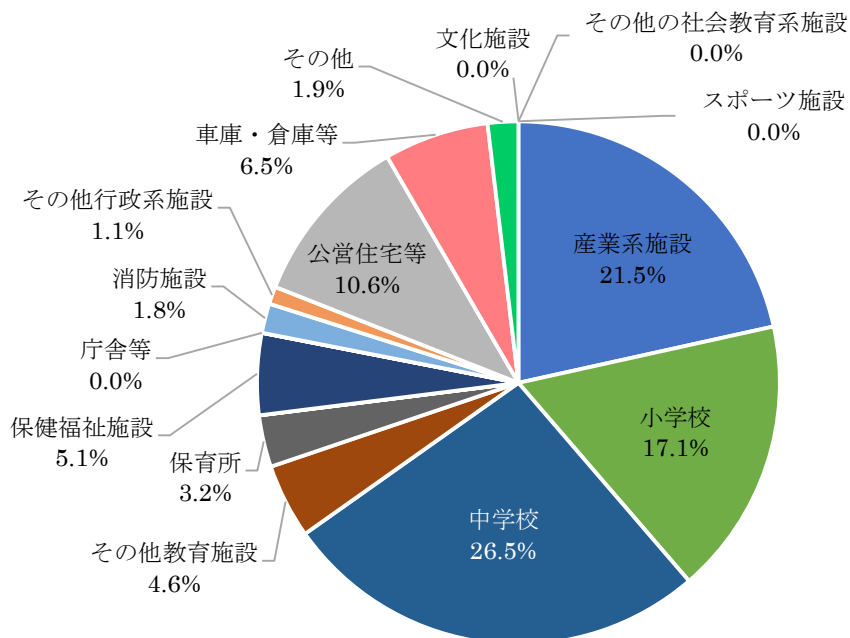
図表 分類別施設整備割合

2015 年度までに建設された公共施設の総面積		9,580.25 (m ²)	項目		総面積	割合
新耐震基準前の建設年の施設 (1981 年度以前の建築)	延床面積	2,288.00 (m ²)	築後 40 年以上	124.00 m ²	1.3 %	
	割合	23.9 (%)	築後 30-39 年	2,471.28 m ²	25.8 %	
建設から 20 年以上の施設 (1996 年度以前の建築)	延床面積	3,966.53 (m ²)	築後 20-29 年	1,371.25 m ²	14.3 %	
	割合	41.4 (%)	築後 10-19 年	1,706.25 m ²	17.8 %	
2015 年度の地域人口	620 (人)	築後 10 年未満	3,907.47 m ²	40.8 %		
人口 1 人当たりの公共施設の延床面積	15.45 (m ² /人)	合計	9,580.25 m ²	100.0 %		

③施設用途割合

学校教育施設（小学校・中学校・その他教育施設）が48.2%と最も大きく、以下、産業系施設が21.5%、公営住宅等が10.6%となっています。

図表 施設用途別割合（単位：%）



※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」

3. 宇田郷地区

(1) 人口

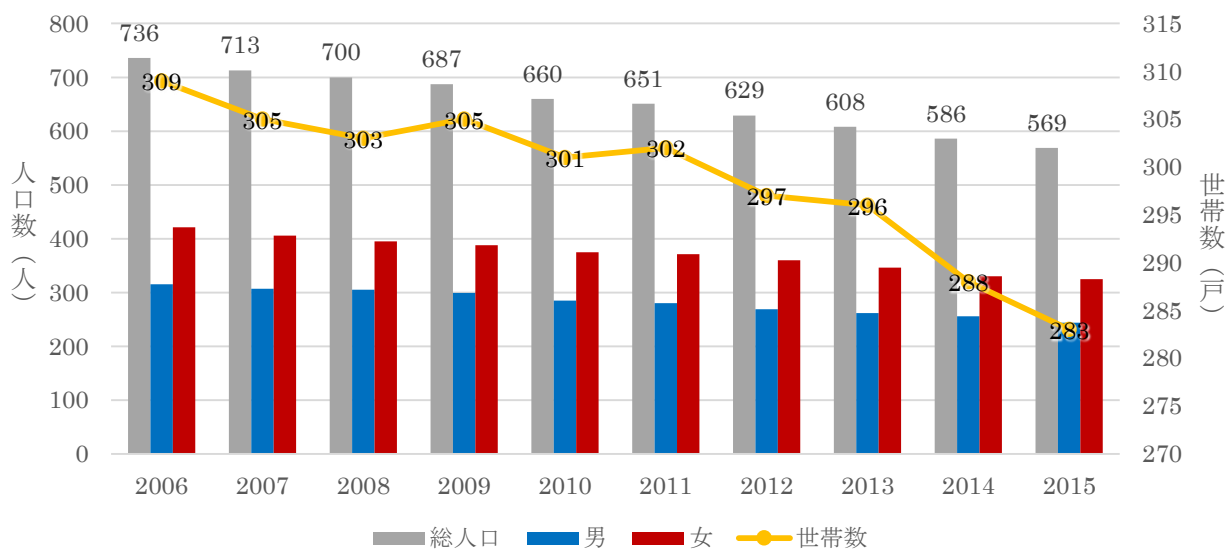
宇田郷地区の過去10年間の人口及び世帯数のうち、2006年度と2015年度を比較すると、人口は167人減少（△22.7%）、世帯数は26世帯減少（△8.4%）しています。

図表 過去10年間の人口の推移（単位：人）

年度	総数	男	女	世帯数
2006年度	736	315	421	309
2007年度	713	307	406	305
2008年度	700	305	395	303
2009年度	687	299	388	305
2010年度	660	285	375	301
2011年度	651	280	371	302
2012年度	629	269	360	297
2013年度	608	262	346	296
2014年度	586	256	330	288
2015年度	569	244	325	283

出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

図表 過去10年間の人口の推移（単位：人・世帯）



出典：「住民基本台帳人口並びに世帯数明細表」

(2) 施設の状況

①公共施設の配置

宇田郷地区の公共施設は図表のとおりです。

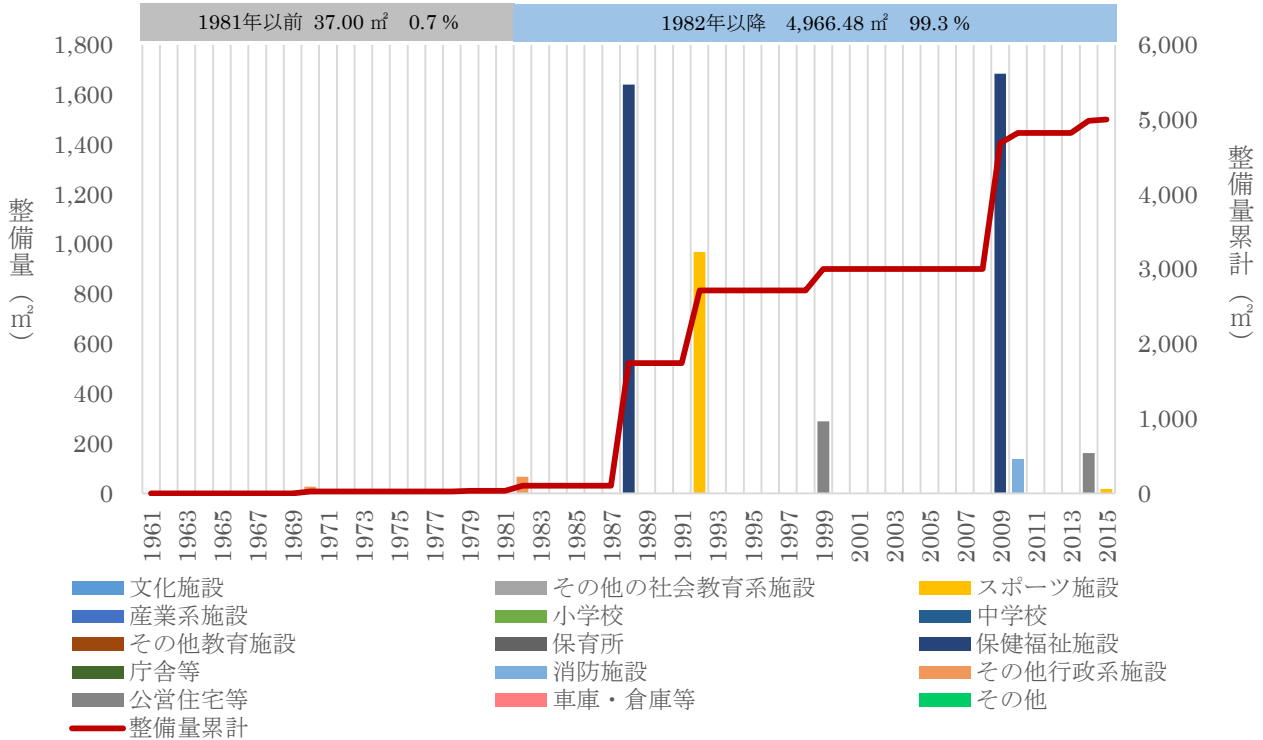
大分類	中分類	施設数	主な施設
町民文化系施設	文化施設	-	
社会教育系施設	公民館	1	阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）
	その他の社会教育施設	-	
スポーツ・レクリエーション系施設	スポーツ施設	2	宇田ふれあい体育館 宇田ふれあいグラウンド
産業系施設	産業系施設	-	
学校教育系施設	小学校	-	
	中学校	-	
	その他教育施設	-	
子育て支援施設	保育所	-	
保健・福祉施設	保健福祉施設	2	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里 阿武町ふれあいセンター
行政系施設	庁舎等	1	阿武町役場 宇田郷支所
	消防施設	1	宇田郷中央消防器庫（5分団）
	その他行政系施設	4	元浦水防倉庫 今浦水防倉庫 惣郷水防倉庫 尾無水防倉庫
公営住宅	公営住宅等	2	公営住宅（宇田中央地区） 宇田郷一般住宅
その他	車庫・倉庫等	1	コミュニティワゴン（宇田）車庫
	その他	-	
合計施設数		14	—

IV. 地区別の現状と分析

② 築年別の施設状況

公共施設の総面積は、5,003.48 m²と町全体の約 8.5%を占めています。また、施設数は 14 施設となっています。

図表 公共施設の整備状況（単位：m²）



※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」

従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」と庁舎等「阿武町役場 宇田郷支所」

※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

※「コミュニティワゴン（宇田）車庫」（車庫・倉庫等）は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

出典：「2015 年度固定資産台帳」

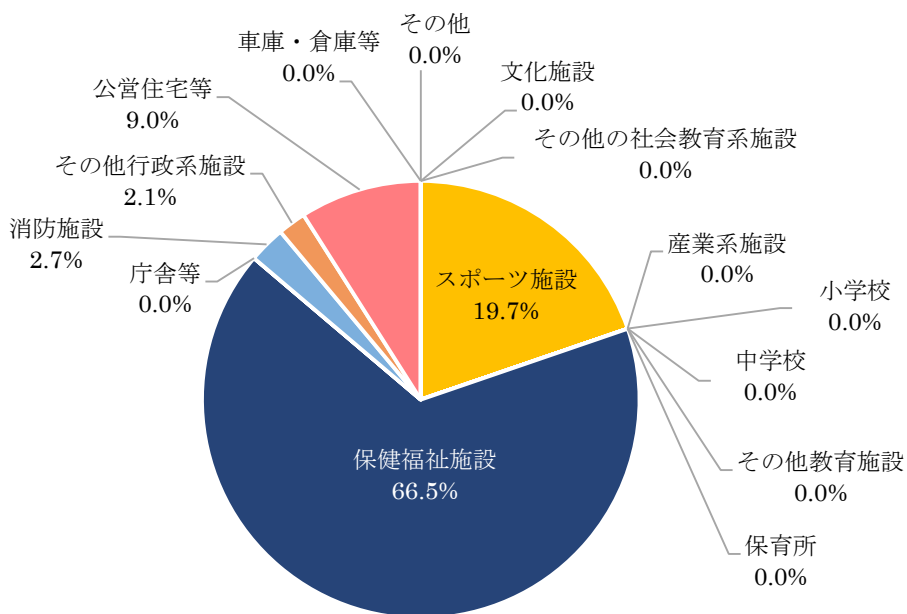
図表 分類別施設整備割合

2015 年度までに建設された公共施設の総面積			項目		
		5,003.48 (m ²)	総面積	割合	
新耐震基準前の建設年の施設 (1981 年度以前の建築)	延床面積	37.00 (m ²)	築後 40 年以上	27.00 m ²	0.5 %
	割合	0.7 (%)	築後 30-39 年	77.00 m ²	1.5 %
建設から 20 年以上の施設 (1996 年度以前の建築)	延床面積	2,714.40 (m ²)	築後 20-29 年	2,610.40 m ²	52.2 %
	割合	54.3 (%)	築後 10-19 年	289.00 m ²	5.8 %
2015 年度の地域人口		569 (人)	築後 10 年未満	2,000.08 m ²	40.0 %
人口 1 人当たりの公共施設の延床面積		8.79 (m ² /人)	合計	5,003.48 m ²	100.0 %

③施設用途割合

保健福祉施設が 66.5%と最も大きく、以下、スポーツ施設が 19.7%、公営住宅等が 9.0%となっています。

図表 施設用途別割合（単位：%）



※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

出典：「2015年度固定資産台帳」

7. 地区全体

(1) 人口

各地区において、人口及び世帯数の変化は下の図表のとおりです。

図表 地区別人口・世帯数の増減（単位：人・世帯・％）

地区	人口			世帯数		
	2015 の 総数	2004 から 2013 の増減数	増減率	2015 の 世帯数	2006 から 2015 の増減数	増減率
奈古地区	2,331 人	-265 人	-10.2 %	1,059 世帯	86 世帯	8.8 %
福賀地区	620 人	-167 人	-21.2 %	291 世帯	-39 世帯	-11.8 %
宇田郷地区	569 人	-167 人	-22.7 %	283 世帯	-26 世帯	-8.4 %
合 計	3,520 人	—	—	1,633 世帯	—	—

(2) 施設の状況

各地区において、所有する施設数や延べ床面積の割合は下の図表のとおりです。

図表 地区別公共施設の整備状況（単位：㎡・％）

地区	施設数	総延床面積	町全体に対する 総延床面積の割合	新耐震基準以前に 建設された施設の割合	築後 20 年以上 の施設の割合	地域住民一人 当たりの面積
奈古地区	43	44,172.69 ㎡	75.3 %	29.8 %	60.6 %	18.95 ㎡
福賀地区	22	9,580.25 ㎡	16.3 %	23.9 %	41.4 %	15.45 ㎡
宇田郷地区	14	5,003.48 ㎡	8.5 %	0.7 %	54.3 %	8.79 ㎡
合 計	79	58,756.42 ㎡	100.0 %	-	-	43.20 ㎡

V. 機能別の現状と分析

1. 町民文化系施設

町民文化系施設は、「1-1. 文化施設」について分析を行います。

1-1. 文化施設

(1) 施設概要

①施設一覧

文化施設は、奈古地区に1施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	奈古 3078-1	1996年度	4,926	3,517	3	複合

※複合（主）施設は、敷地面積及び延床面積は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：その他の社会教育系施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」、
公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	中央コミュニティ拠点施設、多様な交流機会の形成のため

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

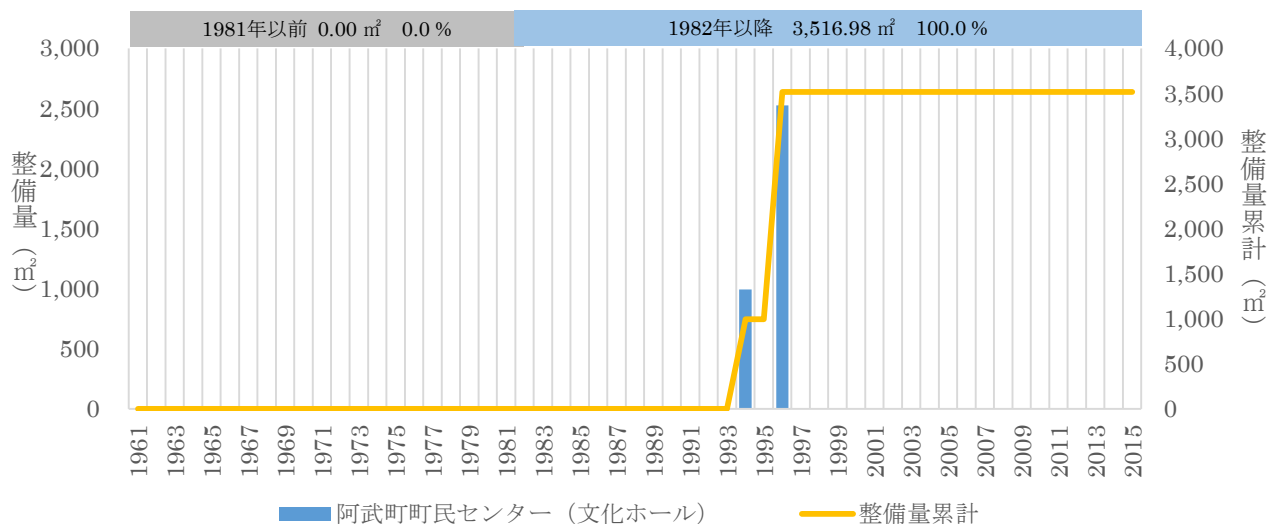
地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	8:30~22:00	土日祝、年末年始	直営	240

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：その他の社会教育系施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」、公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」

出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	6	6	-	-	-

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：その他の社会教育系施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」、公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	-	○	-	○	○	-	○	1	-

V. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物は老朽化比率 60%以下の比較的新しい施設です。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	1996 年度	1,372,516,981	534,174,002	38.9%

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：その他の社会教育系施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」、
公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」

（2）利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	27,072	23,384	24,694	27,903	25,327

※複合（主）施設は、複合（主）施設の値を含みます。

主：「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：その他の社会教育系施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」、
公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」

②稼働状況

当該機能分類における建築物の 2015 年度の諸室ごとの稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (m ²)	利用 定員	年間貸出 可能数	年間 貸出数	稼働率	年間 利用人数
奈古	阿武町町民センター（文化ホール）	文化ホール	1,568	512	359	106	0.3	5,034
		講座室	68	30	359	112	0.31	1,348
		会議室	52	20	359	52	0.14	317
		研修室	129	40	359	82	0.23	1,061
		多目的ホール	417	200	359	171	0.48	6,636
		農事研修室	99	40	359	214	0.6	5,239
		生活研修室	88	20	359	93	0.26	695
		農産加工室	71	30	359	148	0.41	1,366
小会議室	42	20	359	185	0.52	2,841		

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：その他の社会教育系施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」、
公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」

2. 社会教育系施設

社会教育系施設は、「2-1. 公民館」「2-2. その他の社会教育系施設」について分析を行います。

2-1. 公民館

(1) 施設概要

①施設一覧

公民館は、各地区に1施設ずつあり、町全体で3施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武町町民センター（中央公民館）	大字奈古 3078-1	1996年度	-	-	3	複合（従）
福賀	阿武町のうそんセンター（福賀公民館）	大字福田下 1365	1992年度	-	-	1	複合（従）
宇田郷	阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）	大字宇田 2224	1988年度	-	-	2	複合（従）

※すべての施設が複合（従）施設のため、敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・従：「阿武町町民センター（中央公民館）」

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町町民センター（中央公民館）	社会教育法第21条第1項及び地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき設置
福賀	阿武町のうそんセンター（福賀公民館）	社会教育法第21条第1項及び地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき設置
宇田郷	阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）	社会教育法第21条第1項及び地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき設置

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間 開館日数
奈古	阿武町町民センター（中央公民館）	8:30~17:15	土日祝、年末年始	直営	240
福賀	阿武町のうそんセンター（福賀公民館）	8:30~17:15	土日祝、年末年始	直営	240
宇田郷	阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）	8:30~17:15	土日祝、年末年始	直営	240

④ 築年別整備状況

すべての公民館が複合（従）施設のため、複合（主）施設に含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・従：「阿武町町民センター（中央公民館）」

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

⑤ 建物状況

すべての公民館が複合（従）施設のため、複合（主）施設に含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・従：「阿武町町民センター（中央公民館）」

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用 駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武町町民センター（中央公民館）	-	○	-	○	○	-	○	2	-
福賀	阿武町のうそんセンター（福賀公民館）	○	-	-	○	-	-	○	1	-
宇田郷	阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）	○	○	-	○	-	-	○	3	-

⑥ 老朽化状況

すべての公民館が複合（従）施設のため、複合（主）施設に含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・従：「阿武町町民センター（中央公民館）」

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

(2) 利用の実態

すべての公民館が、複合（従）施設のため、利用状況及び稼働状況は、主たる施設に含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・従：「阿武町町民センター（中央公民館）」

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

2-2. その他の社会教育系施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他の社会教育系施設は、奈古地区に4施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	片集会所	奈古 2262-3	1964 年度	125	2	単独
	水ヶ迫集会所	奈古 1836	1981 年度	70	1	単独
	美里団地集会所	奈古 2000	1995 年度	79	1	単独
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）	奈古 3082	1994 年度	-	3	複合（従）

※複合（従）施設の敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含まれます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	片集会所	地域住民の交流を図り、地域振興に寄与するため
	水ヶ迫集会所	地域住民の交流を図り、地域振興に寄与するため
	美里団地集会所	地域住民の交流を図り、地域振興に寄与するため
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）	農林業従事者の自主性・共同性を活かした快適で活力あるむらづくり及び人づくり、農業の振興及び地域住民のコミュニティづくりのため

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

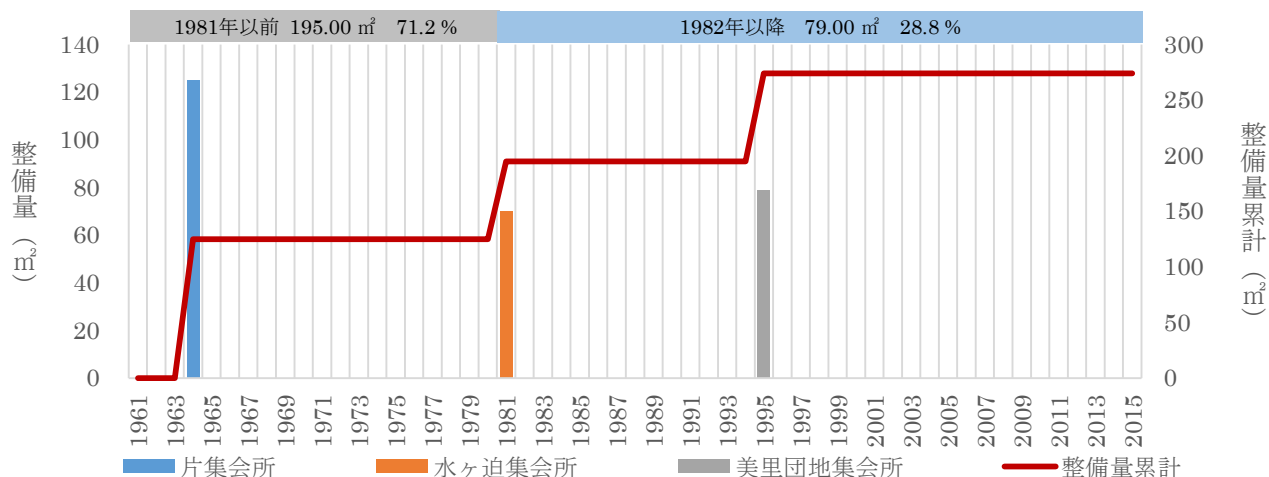
地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	片集会所	8:30~22:00	土日祝、年末年始	直営	240
	水ヶ迫集会所				
	美里団地集会所				
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）				

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



※「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」は、主たる施設である「阿武町町民センター（文化ホール）」に含みます。
出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	片集会所	1	-	-	1	-
	水ヶ迫集会所	1	-	-	1	-
	美里団地集会所	1	1	-	-	-
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）	-	-	-	-	-

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	片集会所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	水ヶ迫集会所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	美里団地集会所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）	-	○	-	○	○	-	○	1	-

V. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

集会所の老朽化比率は、1施設が100%、2施設が80%以上となっており、早急な検討が必要です。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	片集会所	1964年度	20,000,000	19,999,999	100.0%
	水ヶ迫集会所	1981年度	9,940,000	8,626,926	86.8%
	美里団地集会所	1995年度	14,734,000	12,709,546	86.3%
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）	1994年度	-	-	-

※複合（従）施設は、複合（主）施設に含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」

（2）利用の実態

①利用状況

集会所の管理・活用はそれぞれの地域にて行なっています。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	片集会所	70	70	70	70	70
	水ヶ迫集会所	160	160	160	160	160
	美里団地集会所	500	500	500	500	500
	阿武町町民センター（農村環境改善センター）	-	-	-	-	-

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」・・・ 従：「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」

※利用人数については各地区の自治会人数を基に概数にて表示しています。

3. スポーツ・レクリエーション系施設

スポーツ・レクリエーション系施設は、「3-1. スポーツ施設」について分析を行います。

3-1. スポーツ施設

(1) 施設概要

①施設一覧

スポーツ施設は、奈古地区に4施設、宇田郷地区に2施設あり、町全体で6施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武町体育センター	奈古 3193-1	1986 年度	2,038	1,796	2	複合
	阿武町武道館	奈古 3050-6	1976 年度	793	394	1	単独
	道の駅温水プール	奈古 2249 他	1993 年度	22,055	1,130	1	単独
	阿武町町民グラウンド	奈古 731	1995 年度	14,517	89	1	単独
宇田郷	宇田ふれあい体育館	宇田 2229-1	1992 年度	1,774	969	2	単独
	宇田ふれあいグラウンド	宇田 2251	2015 年度	6,800	19	1	単独

※「阿武町体育センター」は複合（主）施設のため、敷地面積及び延床面積は、複合（従）施設を含みます。

主：「阿武町体育センター」・・・ 従：子育て支援施設「阿武町こども館」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町体育センター	阿武町体育センター等の設置及び管理に関する条例、住民の体位向上及び健康増進を図るため
	阿武町武道館	阿武町立柔剣道場の設置及び管理に関する条例、阿武町立小中学校の施設の開放に関する規則
	道の駅温水プール	交流、健康増進の場の提供
	阿武町町民グラウンド	阿武町町民グラウンド等の設置及び管理に関する条例、住民の体位の向上及び健康増進を図るため
宇田郷	宇田ふれあい体育館	住民の体位向上及び健康増進を図るとともに、定住の促進及びコミュニティづくり推進のため
	宇田ふれあいグラウンド	住民の体位向上及び健康増進を図るとともに、定住の促進及びコミュニティづくり推進のため

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

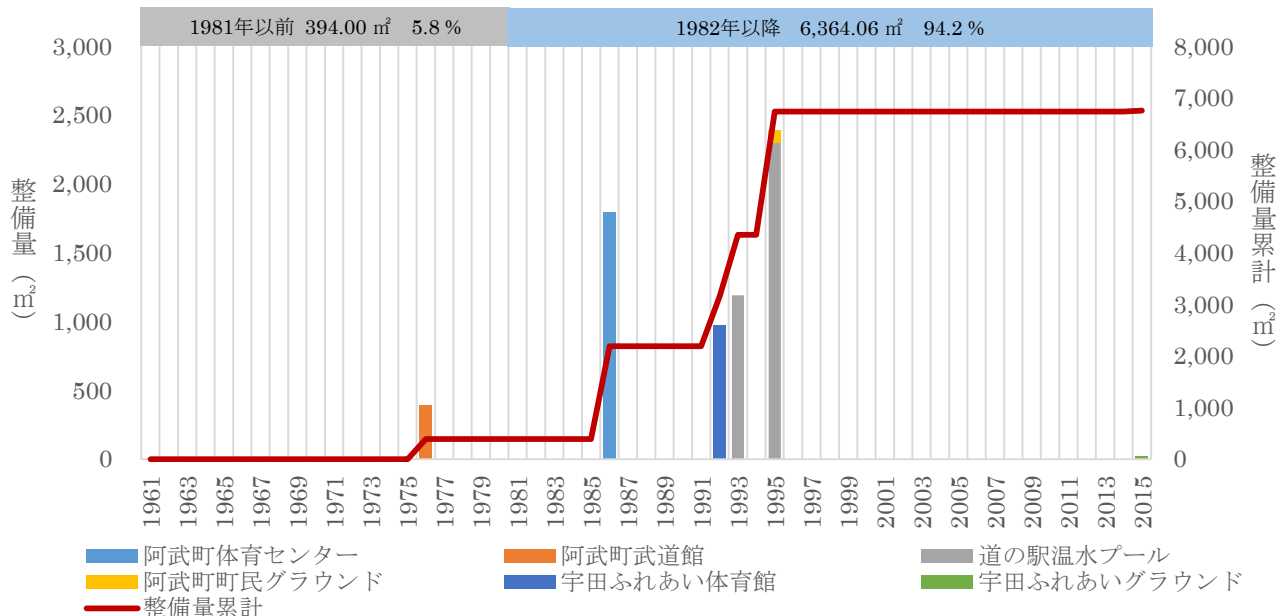
地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武町体育センター	8:30 ~ 22:00	年末年始	直営	359
	阿武町武道館	8:30 ~ 22:00	年末年始	直営	359
	道の駅温水プール	夏季 10:00~19:00、 秋冬（平日） 13:00~20:00 （土日祝） 11:00~19:00	第1、第3水曜	(株)あぶクリエイション	335
	阿武町町民グラウンド	8:30 ~ 23:00	年末年始	直営	359
宇田郷	宇田ふれあい体育館	8:30 ~ 22:00	12/29~1/3	直営	359
	宇田ふれあいグラウンド	8:30 ~ 22:00	12/29~1/3	直営	359

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



※「阿武町体育センター」は複合（主）施設のため、複合（従）施設を含みます。

主：「阿武町体育センター」・・・従：子育て支援施設「阿武町こども館」

出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武町体育センター	4	4	-	-	-
	阿武町武道館	2	1	-	1	-
	道の駅温水プール	5	5	-	-	-
	阿武町町民グラウンド	1	1	-	-	-
宇田郷	宇田ふれあい体育館	1	1	-	-	-
	宇田ふれあいグラウンド	2	2	-	-	-

※「阿武町体育センター」は複合（主）施設のため、複合（従）施設を含みます。

主：「阿武町体育センター」・・・従：子育て支援施設「阿武町こども館」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武町体育センター	○	-	-	○	-	-	○	1	-
	阿武町武道館	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	道の駅温水プール	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	阿武町町民グラウンド	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇田郷	宇田ふれあい体育館	○	○	-	-	-	-	○	2	-
	宇田ふれあいグラウンド	-	-	-	-	-	-	-	-	-

V. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。道の駅温水プールは基準日時点では既に法定耐用年数を経過していますが、2016年度に大規模改修を行なっています。

図表 老朽化状況（単位：年・円・％）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武町体育センター	1986年度	227,758,000	140,531,532	61.7%
	阿武町武道館	1976年度	88,187,011	55,546,120	63.0%
	道の駅温水プール	1993年度	357,803,510	357,773,495	100.0%
	阿武町町民グラウンド	1995年度	11,905,407	5,949,131	50.0%
宇田郷	宇田ふれあい体育館	1992年度	196,894,088	91,831,399	46.6%
	宇田ふれあいグラウンド	2015年度	1,828,440	0	0.0%

※「阿武町体育センター」は複合（主）施設のため、複合（従）施設を含みます。

主：「阿武町体育センター」・・・従：子育て支援施設「阿武町こども館」

（２）利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	阿武町体育センター	9,983	9,968	10,134	11,190	9,555
	阿武町武道館	-	-	1,031	1,641	2,646
	道の駅温水プール	7,572	7,849	7,495	11,016	11,758
	阿武町町民グラウンド	1,168	951	1,545	1,226	742
宇田郷	宇田ふれあい体育館	1,311	938	958	1,090	1,193
	宇田ふれあいグラウンド	595	946	1,362	1,221	837

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間 貸出可能数	年間 貸出数	稼働率	年間 利用人数
奈古	阿武町体育センター	主競技場	1,008	1,000	359	300	0.84	9,555
		事務室	37	10	-	-	-	-
		観覧席	121	192	359	5	0.01	50
	阿武町武道館	武道場	135	40	240	120	0.50	2,646
		倉庫	135	-	-	-	-	-
	道の駅温水プール	プール	1,130	-	-	-	-	-
阿武町町民グラウンド	グラウンド	14,517	-	359	19	0.05	742	
宇田郷	宇田ふれあい体育館	競技場	675	-	359	111	0.31	1,193
	宇田ふれあいグラウンド	宇田ふれあいグラウンド	6,800	-	359	23	0.03	837

4. 産業系施設

産業系施設は、「4-1. 産業系施設」について分析を行います。

4-1. 産業系施設

(1) 施設概要

①施設一覧

産業系施設は、奈古地区に1施設、福賀地区に3施設あり、町全体で4施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	道の駅阿武町	奈古 2253-1	1992年度	22,055	1,664	1	単独
福賀	阿武町堆肥センター	福田下 21	2008年度	-	575	1	単独
	林業センター	福田下 11029	1978年度	10,169	261	1	単独
	阿武町のうそんセンター	福田下 1365	1991年度	3,527	1,227	1	複合

※道の駅阿武町は(株)あぶクリエーションにより運営されています。

※複合（主）施設は、敷地面積及び延床面積は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町のうそんセンター」・・・従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	道の駅阿武町	農林水産物の販売、観光情報提供、食事・トイレ提供、交流健康増進提供のため。
福賀	阿武町堆肥センター	循環型農業推進のため（堆肥による土づくり事業）
	林業センター	農林業従事者の福祉増進並びに林業技術及び知識向上を図り、林家所得の増大を図るため
	阿武町のうそんセンター	農林業従事者の自主性・共同性を活かした快適で活力あるむらづくり及び人づくり、農業の振興及び地域住民のコミュニティづくりのため

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

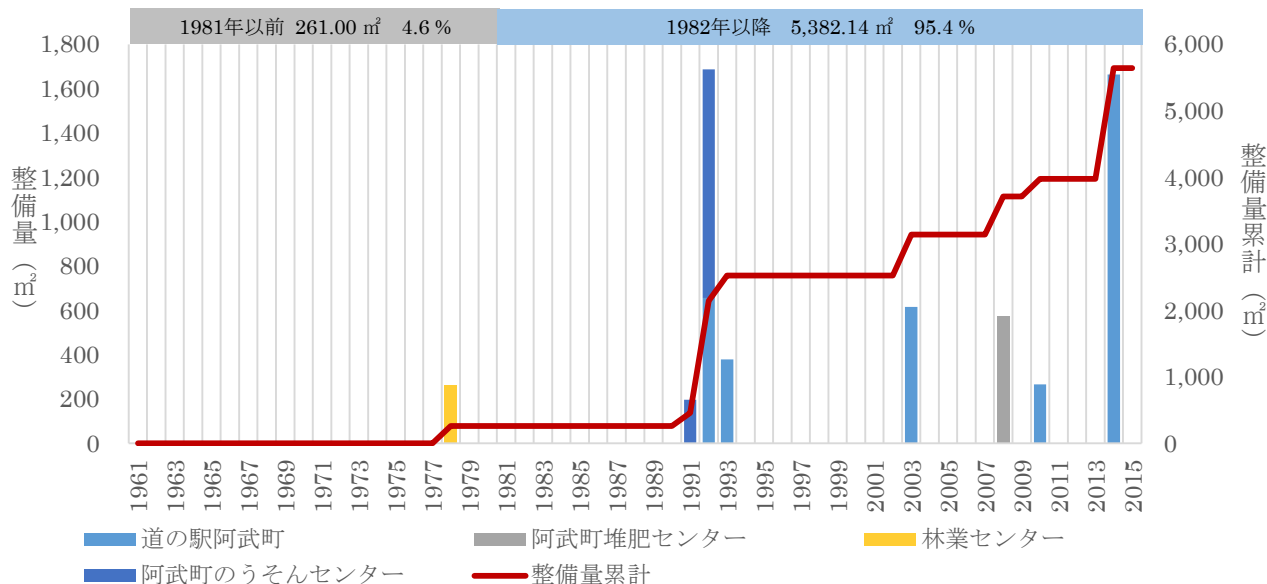
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	道の駅阿武町	各店舗等による	各店舗等による	(株)あぶクリエーション	各店舗等による
福賀	阿武町堆肥センター	1日8時間稼働	なし	直営	300
	林業センター	使用時に開館	-	直営	45
	阿武町のうそんセンター	8:30~17:15	土日祝、年末年始	直営	240

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町のうそんセンター」・・・従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	道の駅阿武町	28	28	-	-	-
福賀	阿武町堆肥センター	3	3	-	-	-
	林業センター	1	0	-	1	-
	阿武町のうそんセンター	4	4	-	-	-

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町のうそんセンター」・・・従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	道の駅阿武町	○	○	○	○	○	○	○	7	○
福賀	阿武町堆肥センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	林業センター	○	-	-	○	-	-	-	-	-
	阿武町のうそんセンター	○	-	-	○	-	-	○	1	-

V. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。林業センターは老朽化が進んでおり、早急な検討が必要です。

図表 老朽化状況（単位：年・円・％）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	道の駅阿武町	1992年度	707,871,169	219,056,691	30.9%
福賀	阿武町堆肥センター	2008年度	44,920,423	13,891,601	30.9%
	林業センター	1978年度	16,666,667	15,779,998	94.7%
	阿武町のうそんセンター	1991年度	298,123,245	132,111,617	44.3%

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町のうそんセンター」・・・従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

（２）利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	道の駅阿武町	216,924	214,188	202,873	318,159	353,711
福賀	阿武町堆肥センター	5	5	5	5	5
	林業センター	260	260	260	260	260
	阿武町のうそんセンター	6,740	6,964	5,657	6,709	5,934

※道の駅阿武町は物販棟の利用者数を記載しています。

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町のうそんセンター」・・・従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間 利用人数
奈古	道の駅阿武町	トイレ	98	-	(推計) 600,000
		物販	678	-	353,711
		レストラン・温泉	888	-	(推計) 63,000
福賀	阿武町堆肥センター	-	-	-	-
		研修室	60	-	-
	林業センター	実技訓練室	36	-	-
		小会議室	32	-	-
		調理場	16	-	-
		管理室	12	-	-
		多目的ホール	294	200	240
	阿武町のうそんセンター	営農研修室	76	36	240
		集会室	47	24	240
		点検室	53	24	240
		開発室	95	24	240

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町のうそんセンター」・・・従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」

5. 学校教育系施設

学校教育系施設は、「5-1. 小学校」「5-2. 中学校」「5-3. その他教育施設」について分析を行います。

5-1. 小学校

(1) 施設概要

①施設一覧

小学校は、奈古地区と福賀地区に各1校あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武小学校	奈古 2967-1	2010 年度	13,497	5,532	2	単独
福賀	福賀小学校	福田下 1544	1971 年度	12,244	1,643	2	単独

※現存する最も古い建物の取得年度を、築年度としています。(プールや倉庫など付属する棟を含む。)

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武小学校	阿武町公立学校の設置及び管理等に関する条例に基づく義務教育小学校の設置
福賀	福賀小学校	

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

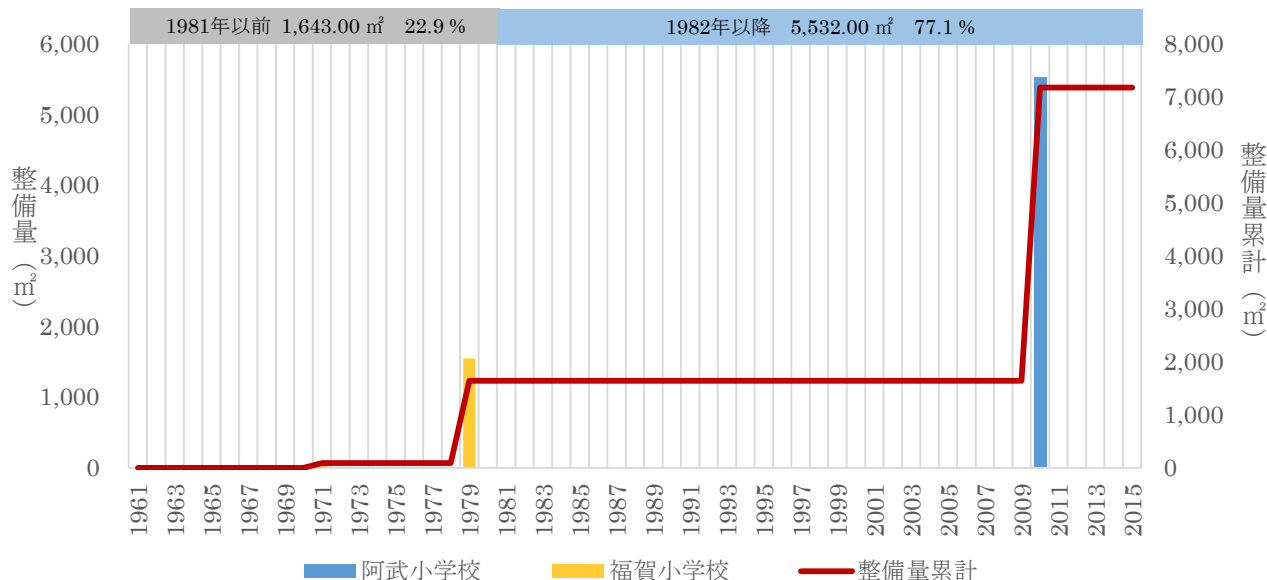
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武小学校	7:30~18:30	土日祝、長期休業	直営	200
福賀	福賀小学校	7:30~18:30	土日祝、長期休業	直営	200

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武小学校	7	7	-	-	-
福賀	福賀小学校	3	-	-	3	-

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ 車いす用	トイレ		障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター		オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武小学校	○	○	○	○	-	○	1	-	
福賀	福賀小学校	-	-	-	○	-	-	-	-	

⑥ 老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は、下の図表のとおりです。福賀小学校は更新検討時期に入っています。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武小学校	2010年度	1,246,706,000	110,821,484	8.9%
福賀	福賀小学校	1971年度	353,823,000	267,789,028	75.7%

※現存する最も古い建物の築年度を取得年度としています。（プールや倉庫など付属する棟を含む。）

(2) 利用の実態

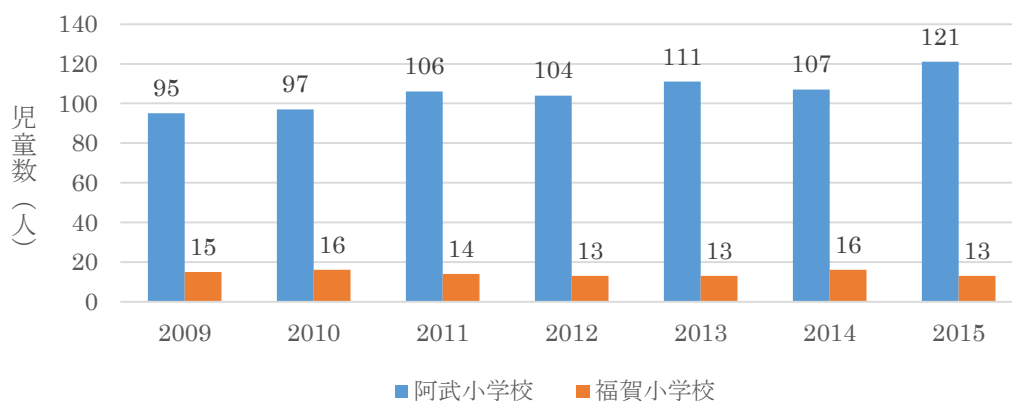
①利用状況

小学校の児童数推移は下の図表のとおりです。

図表 児童数推移 (単位：人)

地区	施設名称	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	阿武小学校	95	97	106	104	111	107	121
福賀	福賀小学校	15	16	14	13	13	16	13

図表 小学校の児童数推移 (単位：人)



出典：児童数統計データ

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出可能数	年間貸出数	稼働率	年間利用人数
奈古	阿武小学校	多目的ホール	220	200	200	200	1.0	24,000
		ランチルーム	200	150	200	100	0.5	5,000
		メディアセンター	98	40	200	200	1.0	10,000
		会議室	34	20	200	100	0.5	1,000
		クラスルーム 1	56	25	200	200	1.0	5,800
		クラスルーム 2	56	25	200	200	1.0	3,200
		クラスルーム 3	56	25	200	200	1.0	4,400
		クラスルーム 4	56	25	200	200	1.0	3,600
		クラスルーム 5	56	25	200	200	1.0	3,400
		クラスルーム 6	56	25	200	200	1.0	3,800
		特別支援室	41	10	200	200	1.0	0
		校長室	33	3	200	200	1.0	200
		職員室	85	20	200	200	1.0	3,000
		児童相談室	22	20	200	200	1.0	1,000
		図工教室	101	25	200	200	1.0	4,000
		音楽教室	101	25	200	200	1.0	4,000
		理科教室	101	25	200	200	1.0	4,000
		放送室	24	10	200	200	1.0	300
福賀	福賀小学校	家庭科教室	90	45	200	100	0.5	1,000

V. 機能別の現状と分析

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間 貸出可能数	年間 貸出数	稼働率	年間 利用人数
		クラスルーム 1	52	30	200	200	1.0	1,000
		クラスルーム 2	52	30	200	200	1.0	1,000
		クラスルーム 3	52	30	200	200	1.0	600
		クラスルーム 4	52	30	200	200	1.0	0
		クラスルーム 5	52	30	200	200	1.0	0
		クラスルーム 6	52	30	200	200	1.0	0
		保健室	29	5	200	200	1.0	600
		職員室	84	15	200	200	1.0	1,200
		校長室・応接室	30	6	200	200	1.0	400
		理科教室	90	45	200	100	0.5	600
		音楽教室	65	45	200	100	0.5	600
		放送室	22	5	200	200	1.0	300
		視聴覚室	184	100	200	150	0.75	2,400

5-2. 中学校

(1) 施設概要

①施設一覧

中学校は、基準日現在、奈古地区と福賀地区に1校ずつあります。

※福賀中学校については2015年度末に閉校し、2016年度に解体済みのため、整備累計額等には計上しますが、詳細は省略します。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武中学校	奈古 3050-3	1976年度	10,534	5,427	3	単独

※現存する最も古い建物の取得年度を、築年度としています。(プールや倉庫など付属する棟を含む。)

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武中学校	阿武町公立学校の設置及び管理等に関する条例に基づく義務教育中学校の設置

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武中学校	7:30~18:30	土日祝、長期休業	直営	200

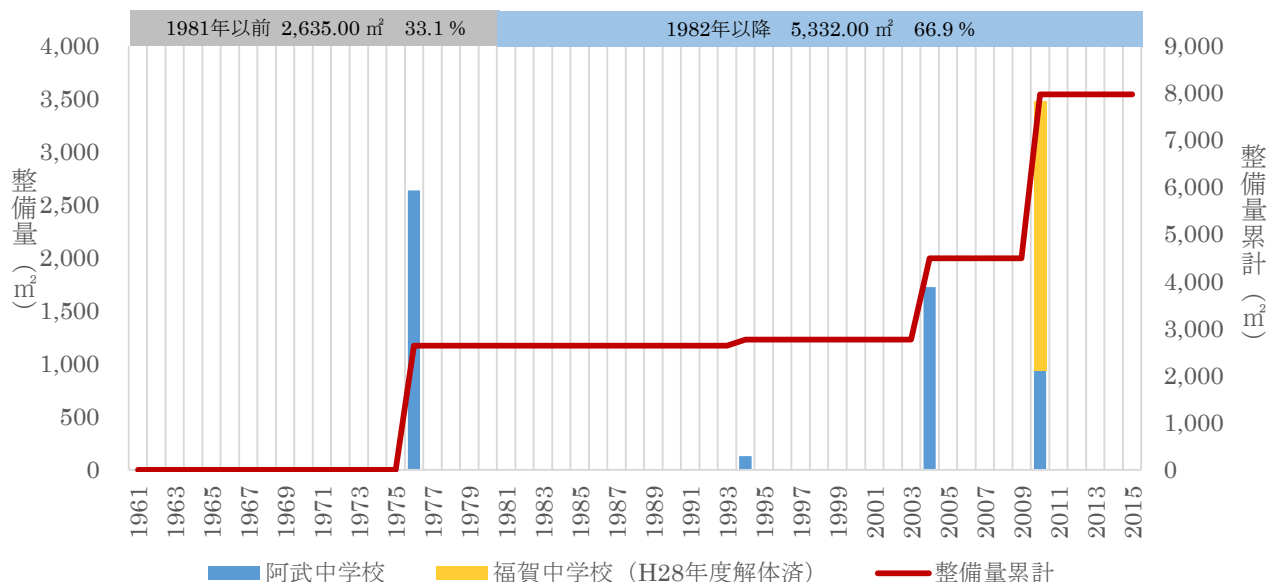
V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

福賀中学校は2015年度末に閉校となり、2016年度に解体済みですが、本計画基準日が2016年3月31日のため、計上しています。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武中学校	6	6	-	-	-

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武中学校	-	-	-	○	-	-	-	-	-

⑥ 老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は、下の図表のとおりです。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武中学校	1976年度	1,301,201,533	606,576,443	46.6%

※現存する最も古い建物の取得年度を、築年度としています。（プールや倉庫など付属する棟を含む。）

(2) 利用の実態

①利用状況

中学校の生徒数推移は、下の図表のとおりです。

図表 生徒数推移（単位：人）

地区	施設名称	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	阿武中学校	55	48	41	47	43	51	52

図表 中学校の生徒数推移（単位：人）



出典：生徒数統計データ

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出可能数	年間貸出数	稼働率	年間利用人数
奈古	阿武中学校	職員室	95	20	240	240	1.0	3,600
		校長室	32	10	240	240	1.0	720
		相談室	16	10	200	100	0.5	300
		保健室	59	10	200	200	1.0	800
		生徒会室	31	10	200	100	0.5	600
		理科教室	95	45	200	200	1.0	5,000
		職員更衣室	63	20	200	200	1.0	3,000
		技術教室	93	45	200	100	0.5	2,500
		図書室	95	45	200	200	1.0	4,000
		特別支援室	63	20	200	200	1.0	1,000
		会議室	64	45	200	100	0.5	1,000
		コンピュータ教室	95	45	200	100	0.5	2,500
		美術・家庭科教室	95	45	200	100	0.5	2,500
		礼法室	32	45	200	50	0.25	1,250
		スタジオ放送室	32	20	200	200	1.0	600
		音楽教室	117	45	200	100	0.5	2,500
		多目的ルーム	115	100	200	200	1.0	12,000
		調理実習コーナー	80	45	200	100	0.5	2,500
クラスルーム1	64	45	200	200	1.0	3,600		
クラスルーム2	64	45	200	200	1.0	3,600		
クラスルーム3	64	45	200	200	1.0	3,000		
ワークスペース	147	140	200	200	1.0	10,200		

5-3. その他教育施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他教育施設は、奈古地区に2施設、福賀地区に1施設あり、町全体で3施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武給食センター	奈古 2967-1	2010年度	-	269	1	単独
	奈古教員住宅	奈古 2048-1	2010年度	5,893	112	1	単独
福賀	福賀教員住宅	福田下 1405-2	1979年度	1,870	441	1	単独

※阿武給食センターの敷地面積は阿武小学校の敷地面積に含みます。

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武給食センター	阿武町給食センター設置条例により学校給食法に基づく給食等の提供のため設置
	奈古教員住宅	阿武町使用料条例、町立学校の教職員の地元居住のため設置
福賀	福賀教員住宅	阿武町使用料条例、町立学校の教職員の地元居住のため設置

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

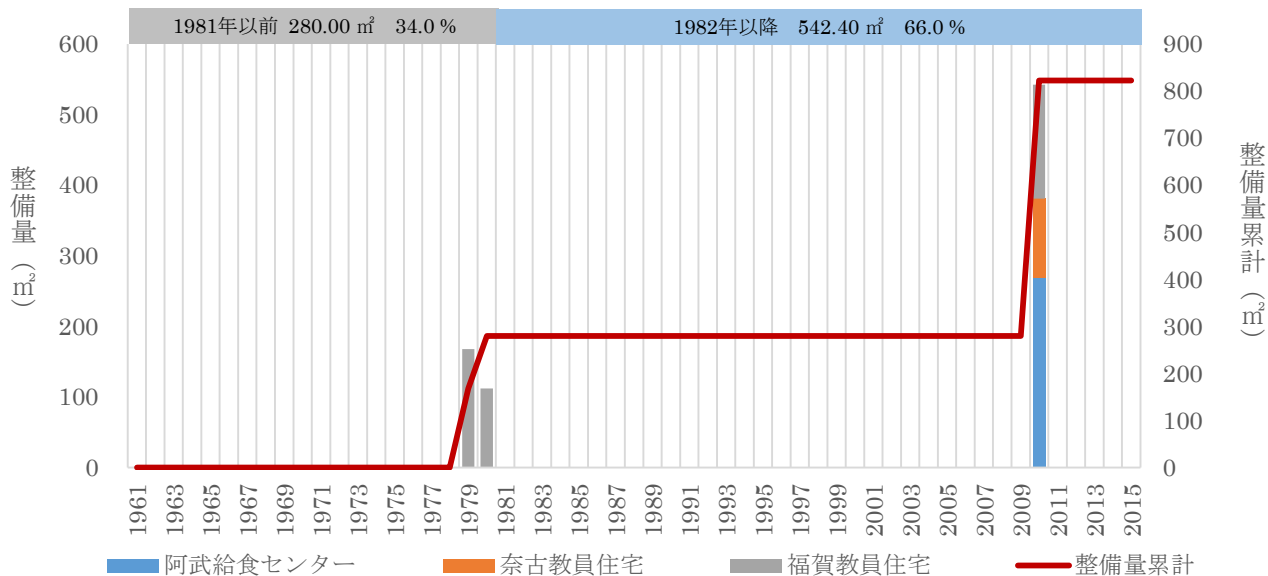
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武給食センター	8:00~17:00	土日祝、長期休業	直営	200
	奈古教員住宅	0:00~24:00	-	直営	365
福賀	福賀教員住宅	0:00~24:00	-	直営	365

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：m²）



出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武給食センター	1	1	-	-	-
	奈古教員住宅	2	2	-	-	-
福賀	福賀教員住宅	5	1	-	4	-

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	奈古教員住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福賀	福賀教員住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-

V. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。福賀教員住宅の老朽化が進んでいますので検討が必要です。

図表 老朽化状況（単位：年・円・％）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武給食センター	2010年度	131,250,000	12,757,500	9.7%
	奈古教員住宅	2010年度	19,212,000	2,021,096	10.5%
福賀	福賀教員住宅	1979年度	40,800,986	36,114,098	88.5%

(2) 利用の実態

①利用状況

2011年から2015年の過去5年間の学校給食実施児童・生徒数の推移及び教員住宅の利用状況（居住者数）は以下のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	阿武給食センター	小学校（児童）	118	116	120	122	133
		中学校（生徒）	55	56	54	59	59
		合計	173	172	174	181	192
	奈古教員住宅		2	2	2	2	2
福賀	福賀教員住宅		2	2	2	2	2

※「阿武給食センター」は毎年5月1日現在の集計

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (m ²)	利用定員	年間 貸出可能数	年間貸出数	稼働率	年間 利用人数
奈古	阿武給食センター	調理室	127	4	200	200	1.00	800
	奈古教員住宅	-	-	-	-	-	-	-
福賀	福賀教員住宅	-	-	-	-	-	-	-

6. 子育て支援施設

子育て支援施設は、「6-1. 保育所」「6-2. 子育て支援施設」について分析を行います。

6-1. 保育所

(1) 施設概要

①施設一覧

保育所は、奈古地区、福賀地区に1施設ずつあります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	みどり保育園	奈古 3066-2	1997 年度	6,967	1,294	1	複合
福賀	みどり保育園福賀分園	福田下 1405-2	1983 年度	3,083	307	1	単独

※「みどり保育園」は複合（主）施設のため、敷地面積及び延床面積は、複合（従）施設を含みます。

主：「みどり保育園」・・・ 従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	みどり保育園	阿武町保育所条例により設置。
福賀	みどり保育園福賀分園	阿武町保育所条例により設置。

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

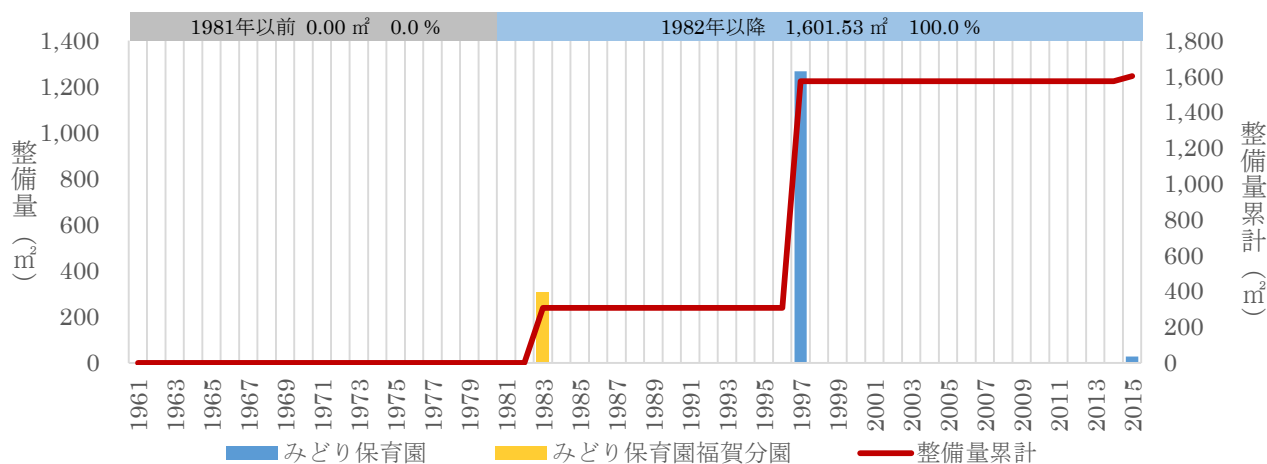
地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	みどり保育園	7:30 ~ 18:00	日祝、年末年始	直営	294
福賀	みどり保育園福賀分園	7:30 ~ 17:15	日祝、年末年始	直営	294

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



※「みどり保育園」は複合（主）施設のため、複合（従）施設を含みます。

主：「みどり保育園」・・・従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	みどり保育園	7	7	-	-	-
福賀	みどり保育園福賀分園	3	3	-	-	-

※「みどり保育園」は複合（主）施設のため、複合（従）施設を含みます。

主：「みどり保育園」・・・従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ		障害者用駐車場		授乳室	
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無		台数
奈古	みどり保育園	○	○	-	-	-	○	-	-	○
福賀	みどり保育園福賀分園	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑥ 老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は、下の図表のとおりです。福賀分園は更新検討時期に入っています。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	みどり保育園	1997年度	400,245,555	189,918,540	47.5%
福賀	みどり保育園福賀分園	1983年度	38,937,352	24,163,966	62.1%

※「みどり保育園」は複合（主）施設のため、複合（従）施設を含みます。

主：「みどり保育園」・・・従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

V. 機能別の現状と分析

(2) 利用の実態

①利用状況

2011年度から2015年度の過去5年間の園児数推移は下の図表のとおりです。

図表 実人数（園児数）推移（単位：人）

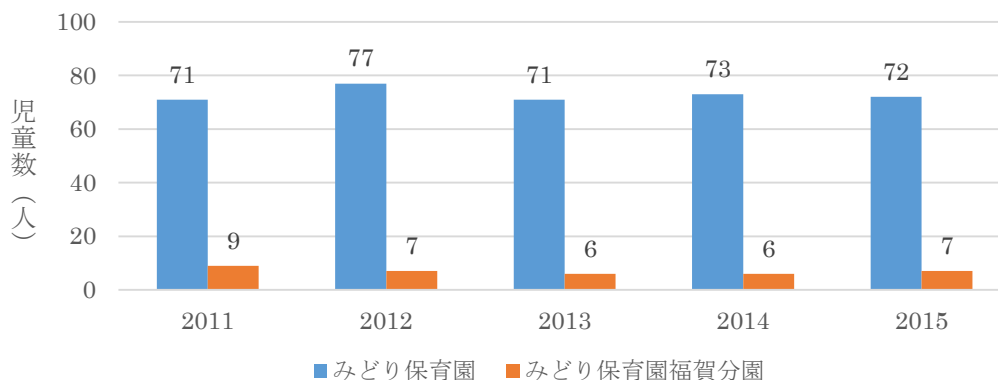
地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	みどり保育園	71	77	71	73	72
福賀	みどり保育園福賀分園	9	7	6	6	7

※入所定員は本園、分園合わせて90人です。

図表 のべ人数（園児数）推移（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	みどり保育園	17,138	19,770	15,587	17,802	15,743
福賀	みどり保育園福賀分園	2,339	1,847	1,415	1,444	1,329

図表 保育所の園児数推移（単位：人）



出典：児童数統計データ

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間貸出可能数	年間貸出数	稼働率	年間利用人数
奈古	みどり保育園	つぼみ・もも	46	-	-	-	-	-
		ちゅうりっぷ	57	-	-	-	-	-
		ひまわり	65	-	-	-	-	-
		すみれ	65	-	-	-	-	-
		プレイルーム	183	-	-	-	-	-
		職員室	36	-	-	-	-	-
		厨房	38	-	-	-	-	-
		食品庫	5	-	-	-	-	-
福賀	みどり保育園福賀分園	保育室	40	-	-	-	-	-
		ゆうぎ室	89	-	-	-	-	-
		事務室	20	-	-	-	-	-
		乳児室	20	-	-	-	-	-

※地域や保護者への貸し出しは行っていません。

6-2. 子育て支援施設

(1) 施設概要

①施設一覧

子育て支援施設は、奈古地区に2施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武町こども館	奈古 3193-1	1986年度	-	-	2	複合(従)
	阿武町子育て支援センター	奈古 3066-2	1997年度	-	-	1	複合(従)

※すべての施設が複合(従)施設のため、敷地面積及び延床面積は、複合(主)施設に含みます。

主：スポーツ施設「阿武町体育センター」・・・従：「阿武町こども館」

主：保育所「みどり保育園」・・・従：「阿武町子育て支援センター」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町こども館	児童福祉法(2010年法律第164号)の本旨にのっとり、児童が心身共に健やかに育成する場を提供して、その健康を増進するとともに情操を豊かにするため
	阿武町子育て支援センター	子育てに関する相談や育児サークルを支援する地域の児童環境づくりにおける子育て支援の中核的な施設として設置。

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武町こども館	下校～18:00	日祝、お盆、年末年始	直営	242
	阿武町子育て支援センター	週3日以上	-	直営	-

※こども館については土曜日及び長期休暇中の運営時間は8:00～18:00、

子育て支援センターについては1日の運営時間が3時間以上となっています。

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

すべての施設が複合（従）施設のため、敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含みます。

主：スポーツ施設「阿武町体育センター」・・・従：「阿武町こども館」

主：保育所「みどり保育園」・・・従：「阿武町子育て支援センター」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物のバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武町こども館	○	○	-	○	-	-	○	1	-
	阿武町子育て支援センター	-	○	-	-	-	-	-	-	○

⑥ 老朽化状況

すべての施設が複合（従）施設のため、敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含みます。

主：スポーツ施設「阿武町体育センター」・・・従：「阿武町こども館」

主：保育所「みどり保育園」・・・従：「阿武町子育て支援センター」

（２）利用の実態

① 利用状況

2011年度から2015年度の過去5年間の利用者数推移は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	阿武町こども館	7,320	7,712	6,050	9,120	6,292
	阿武町子育て支援センター	-	-	-	-	1,061

※子育て支援センターは2015年度より供用開始しています。

7. 保健福祉施設

保健福祉施設は、「7-1. 保健福祉施設」について分析を行います。

7-1. 保健福祉施設

(1) 施設概要

①施設一覧

保健福祉施設は、奈古地区に3施設、福賀地区に2施設、宇田郷地区に2施設あり、町全体で7施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	木与 37-3	1961年度	50,566	3,748	1	単独
	阿武町地域活動支援センター	奈古 3081-3	2010年度	334	145	1	単独
	母子健康センター	奈古 2945-1	1974年度	979	631	1	単独
福賀	福賀診療所	福田下 1407-3	2002年度	1,037	330	1	単独
	福賀診療所 医師住宅	福田下 1407-3	1995年度	917	144	1	単独
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	宇田 2251	2009年度	1,795	1,684	2	単独
	阿武町ふれあいセンター	宇田 2224	1987年度	4,939	1,641	2	複合

※複合(主)施設は、敷地面積及び延床面積は、複合(従)施設の値を含みます。

主:「阿武町ふれあいセンター」・・・従:公民館「阿武町ふれあいセンター(宇田郷公民館)」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	高齢者福祉施設清ヶ浜清光苑の設置
	阿武町地域活動支援センター	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第21項
	母子健康センター	母子衛生の向上を図り、もって一般住民の保健福祉を増進するため
福賀	福賀診療所	国民健康保険被保険者及びその他の健康保険被保険者の診療のため
	福賀診療所 医師住宅	福賀診療所に従事する医師の地元居住のため
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	地域交流・高齢者福祉複合施設ひだまりの里の設置
	阿武町ふれあいセンター	健康及び福祉振興の拠点施設として、明るい健康づくりを積極的に推進するため

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

図表 運営状況

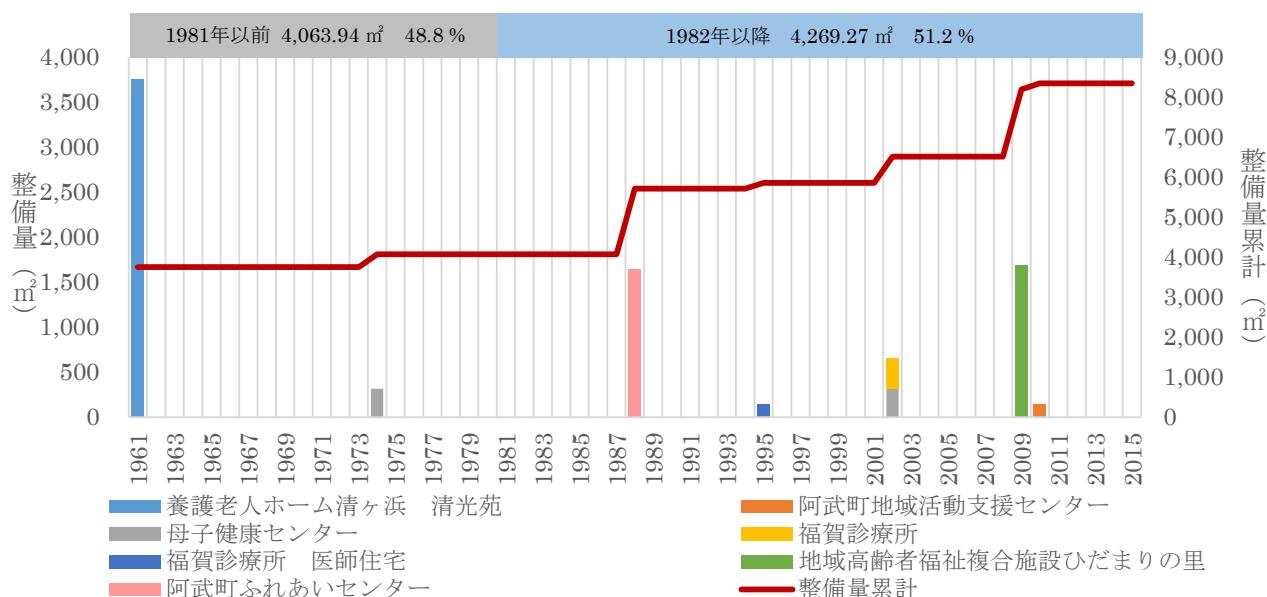
地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	0:00~24:00	-	指定管理	365
	阿武町地域活動支援センター	9:00~16:00	土日祝	指定管理	240
	母子健康センター	8:00~17:00	土日祝	直営	240
福賀	福賀診療所	8:30~17:15	土日祝	直営	238
	福賀診療所 医師住宅	0:00~24:00	-	直営	365
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	0:00~24:00	-	指定管理	365
	阿武町ふれあいセンター	8:30~22:00	土日祝、年末年始	直営	246

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町ふれあいセンター」・・・従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	5	1	-	4	-
	阿武町地域活動支援センター	1	1	-	-	-
	母子健康センター	4	3	-	1	-
福賀	福賀診療所	2	2	-	-	-
	福賀診療所 医師住宅	1	-	-	1	-
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	2	2	-	-	-
	阿武町ふれあいセンター	2	2	-	-	-

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町ふれあいセンター」・・・従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	○	○	-	○	-	-	○	2	-
	阿武町地域活動支援センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	母子健康センター	○	-	-	-	-	-	-	-	-
福賀	福賀診療所	○	○	-	○	-	-	○	2	-
	福賀診療所 医師住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	○	○	○	○	○	-	○	1	-
	阿武町ふれあいセンター	○	○	-	○	-	-	○	3	-

V. 機能別の現状と分析

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。

図表 老朽化状況（単位：年・円・％）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	1961年度	585,466,710	581,997,899	99.4%
	阿武町地域活動支援センター	2010年度	36,523,200	6,077,460	16.6%
	母子健康センター	1974年度	20,016,311	12,981,034	64.9%
福賀	福賀診療所	2002年度	98,912,194	31,656,761	32.0%
	福賀診療所 医師住宅	1995年度	29,195,638	25,184,153	86.3%
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	2009年度	279,963,357	29,636,725	10.6%
	阿武町ふれあいセンター	1988年度	494,710,101	272,684,207	55.1%

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町ふれあいセンター」・・・従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

（２）利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	50	50	50	50	50
	阿武町地域活動支援センター	1,014	1,020	1,035	1,092	1,086
	母子健康センター	807	676	523	600	1,160
福賀	福賀診療所	3,006	2,855	2,733	2,616	2,514
	福賀診療所 医師住宅	-	-	-	-	-
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	8,395	8,395	8,395	8,395	8,395
	阿武町ふれあいセンター	6,749	6,706	6,757	6,667	6,478

※「福賀診療所」はレセプトの件数（実人数）を記載しています。

※複合（主）施設は、複合（主）施設の値を含みます。

主：「阿武町ふれあいセンター」・・・従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

②稼働状況

当該機能分類における建築物の2015年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用 定員	年間 貸出可能数	年間 貸出数	稼働率	年間 利用人数
奈古	養護老人ホーム清ヶ浜清光苑	居室	13	50	50	50	1.00	50
		阿武町地域活動支援センター	-	-	-	-	-	-
	母子健康センター	講習室	58	40	-	-	-	-
		乳児指導室	20	15	-	-	-	-
		応接コーナー	10	5	-	-	-	-
		事務室	7	-	-	-	-	-
		訪問看護ステーション事務室	18	3	365	219	0.60	657
		面談室	7	4	-	-	-	-
		洗濯物干し室	10	3	-	-	-	-
		控え室	7	3	-	-	-	-
厨房	10	3	-	-	-	-		
福賀	福賀診療所	風除室	13	-	-	-	-	-
		待合室	22	-	-	-	-	-
		事務室	26	-	-	-	-	-
		健康相談室	10	-	-	-	-	-

V. 機能別の現状と分析

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用 定員	年間 貸出可能数	年間 貸出数	稼働率	年間 利用人数
		洗面便所	16	-	-	-	-	-
		理学療法室	32	-	-	-	-	-
		診察室	15	-	-	-	-	-
		処置室	18	-	-	-	-	-
		エコー室	11	-	-	-	-	-
		内視鏡室	11	-	-	-	-	-
		レントゲン室	30	-	-	-	-	-
		休憩室	12	-	-	-	-	-
		所長室	12	-	-	-	-	-
		通路	19	-	-	-	-	-
		ホール・廊下他	59	-	-	-	-	-
	福賀診療所 医師住宅	-	-	-	-	-	-	-
宇田郷	地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里	居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
		居室	17	1	365	365	1.00	1
	デイサービス	-	10	3,530	3,530	1.00	3,530	
	生活支援ハウス	-	4	1,460	256	0.18	12	
	介護予防	-	10	480	480	1.00	480	
	阿武町ふれあいセンター	保健指導室	51	20	246	213	0.87	1,785
		栄養実習室	51	20	246	51	0.21	647
		生活相談室	69	20	246	19	0.08	194
		多目的ホール	298	160	246	143	0.58	2,813
		集団検診室	51	30	246	11	0.04	129
教養娯楽室		124	60	246	52	0.21	647	
会議室		28	10	246	5	0.02	64	
エントランスホール		160	80	246	5	0.02	199	

※複合（主）施設は、複合（従）施設の値を含みます。

主：「阿武町ふれあいセンター」・・・ 従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」

8. 行政系施設

行政系施設は、「8-1. 庁舎等」「8-2. 消防施設」「8-3. その他行政系施設」について分析を行います。

8-1. 庁舎等

(1) 施設概要

①施設一覧

庁舎等は、各地区に1施設ずつあります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武町役場庁舎	奈古 2636	1977 年度	6,115	3,005	3	単独
福賀	阿武町役場 福賀支所	福田下 1365	1992 年度	-	-	1	複合 (従)
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	宇田 2224	1988 年度	-	-	2	複合 (従)

※複合 (従) 施設の敷地面積及び延床面積は、複合 (主) 施設に含みます。

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町役場 福賀支所」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町役場 宇田郷支所」

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町役場庁舎	本町の行政全般を執行するため。
福賀	阿武町役場 福賀支所	本町の行政全般を執行するため。
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	本町の行政全般を執行するため。

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

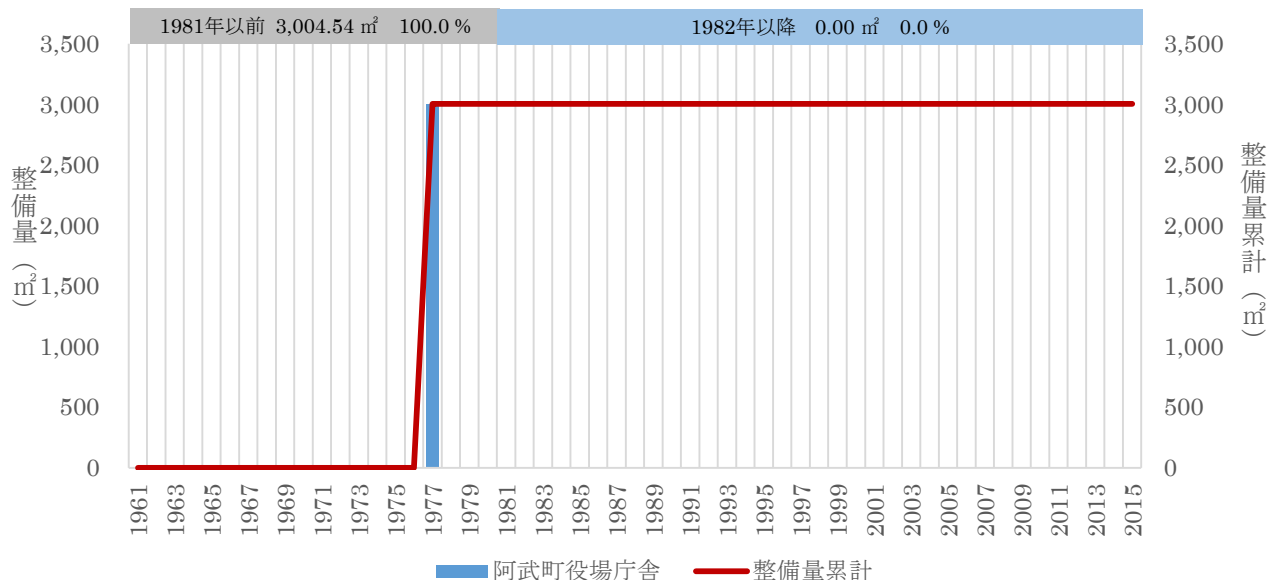
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所 (館) 日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武町役場庁舎	8:30 ~ 17:15	土日祝、年末年始	直営	240
福賀	阿武町役場 福賀支所	8:30 ~ 17:15	土日祝	直営	240
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	8:30 ~ 17:15	土日祝	直営	240

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：m²）



※複合（従）施設の敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含まれます。
 主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町役場 福賀支所」
 主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町役場 宇田郷支所」
 出典：「2015 年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

阿武町役場庁舎の耐震診断で適合は全 13 棟のうち 11 棟で、残り 2 棟が未実施です。またバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む) 2011 年度
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武町役場庁舎	13	11	-	2	
福賀	阿武町役場 福賀支所	-	-	-	-	
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	-	-	-	-	

※複合（従）施設の敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含まれます。
 主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町役場 福賀支所」
 主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町役場 宇田郷支所」

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	阿武町役場庁舎	○	○	○	○	○	○	○	1	-
福賀	阿武町役場 福賀支所	○	-	-	○	-	-	○	1	-
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	○	○	-	○	-	-	○	3	-

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。

図表 老朽化状況（単位：年・円・％）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武町役場庁舎	1977 年度	707,481,510	388,303,218	54.9%
福賀	阿武町役場 福賀支所	1992 年度	-	-	-
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	1988 年度	-	-	-

※複合（従）施設の敷地面積及び延床面積は、複合（主）施設に含みます。

主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」・・・従：「阿武町役場 福賀支所」

主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」・・・従：「阿武町役場 宇田郷支所」

(2) 利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況

地区	施設名称	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
奈古	阿武町役場庁舎	5,033	4,558	4,610	4,391	4,611
福賀	阿武町役場 福賀支所	-	-	-	-	-
宇田郷	阿武町役場 宇田郷支所	-	-	-	-	-

※本庁舎の利用状況は住民票、印鑑証明書等の発行件数とし、支所についてはのうそんセンター、ふれあいセンターの利用人数に含まれます。

8-2. 消防施設

(1) 施設概要

①施設一覧

消防施設は、奈古地区に3施設、福賀地区に1施設、宇田郷地区に1施設あり、町全体で5施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独複合
奈古	奈古中央消防器庫 (1分団)	奈古 3086-1	2012年	784	184	2	単独
	奈古浦消防器庫 (2分団)	奈古 2638-5	2010年	7,166	118	1	単独
	木与消防器庫 (3分団)	木与 654-4	1975年	288	23	1	単独
福賀	福賀中央消防器庫 (4分団)	福田下 1357-3	1991年	743	175	1	単独
宇田郷	宇田郷中央消防器庫 (5分団)	宇田 1307-24	2009年	2,373	136	1	単独

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	奈古中央消防器庫 (1分団)	地域の消防団活動の拠点とするため
	奈古浦消防器庫 (2分団)	地域の消防団活動の拠点とするため
	木与消防器庫 (3分団)	地域の消防団活動の拠点とするため
福賀	福賀中央消防器庫 (4分団)	地域の消防団活動の拠点とするため
宇田郷	宇田郷中央消防器庫 (5分団)	地域の消防団活動の拠点とするため

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

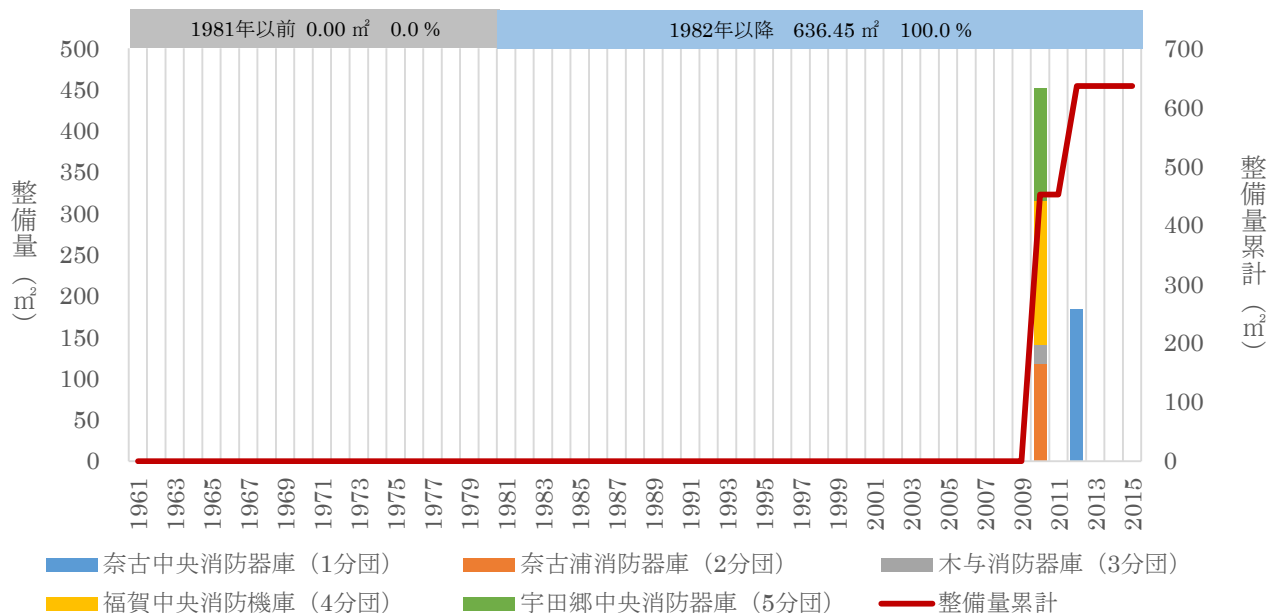
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所 (館) 日	運営形態	年間開館日数
奈古	奈古中央消防器庫 (1分団)	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	奈古浦消防器庫 (2分団)	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	木与消防器庫 (3分団)	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
福賀	福賀中央消防器庫 (4分団)	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
宇田郷	宇田郷中央消防器庫 (5分団)	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：m²）



出典：「2015年度固定資産台帳」、総務課

⑤ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断については全て適合しています。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	奈古中央消防器庫 (1分団)	1	1	-	-	-
	奈古浦消防器庫 (2分団)	1	1	-	-	-
	木与消防器庫 (3分団)	1	1	-	-	-
福賀	福賀中央消防器庫 (4分団)	1	1	-	-	-
宇田郷	宇田郷中央消防器庫 (5分団)	1	1	-	-	-

⑥ 老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	奈古中央消防器庫 (1分団)	2012年度	34,734,000	4,084,718	11.8%
	奈古浦消防器庫 (2分団)	2010年度	14,396,000	3,835,092	26.6%
	木与消防器庫 (3分団)	2010年度	2,806,000	747,516	26.6%
福賀	福賀中央消防器庫 (4分団)	2010年度	17,819,000	2,095,512	11.8%
宇田郷	宇田郷中央消防器庫 (5分団)	2010年度	16,799,000	4,475,252	26.6%

V. 機能別の現状と分析

(1) 利用の実態

①利用状況

2010年から2014年の消防団員数の推移は下の図表のとおりです。

図表 団員数推移（単位：人）

年次	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
分団数	5	5	5	5	5
定数	200	200	200	200	165
実団員数	167	154	144	138	135

※2014年10月1日から定数200人を165人に削減。

②稼働状況

当該機能分類における建築物の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間 貸出可能数	年間貸出数 (回)	稼働率	年間 利用人数
奈古	奈古中央消防器庫（1分団）	詰所	75	35	-	3	-	-
		車庫	104	35	-	-	-	-
		トイレ	5	2	-	-	-	-
	奈古浦消防器庫（2分団）	詰所	45	30	-	3	-	-
		車庫	64	30	-	-	-	-
		トイレ	6	2	-	-	-	-
福賀	福賀中央消防器庫（4分団）	詰所	48	35	-	3	-	-
		車庫	121	35	-	-	-	-
		トイレ	6	2	-	-	-	-
宇田郷	宇田郷中央消防器庫（5分団）	詰所	48	30	-	3	-	-
		車庫	88	30	-	-	-	-

8-3. その他行政系施設

(1) 施設概要

①施設一覧

その他行政系施設は、奈古地区に5施設、福賀地区に3施設、宇田郷地区に4施設あり、全体で12施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独複合
奈古	浜崎水防倉庫	奈古 2310-1	1980年	66	40	1	単独
	西水防倉庫	奈古 2757-13	1989年	222	49	1	単独
	宇久水防倉庫	奈古 3945-1	1983年	319	9	1	単独
	河内水防倉庫	奈古 312-3	1984年	50	9	1	単独
	寺東水防倉庫	奈古 3330-3	1985年	46	26	1	単独
福賀	栃原水防倉庫	福田下 10155-2	1979年	2,488	36	1	単独
	上万水防倉庫	宇生賀 902-2	1978年	132	36	1	単独
	飯谷水防倉庫	宇生賀 3412-2	1975年	189	32	1	単独
宇田郷	元浦水防倉庫	宇田 2316-2	1982年	50	25	1	単独
	今浦水防倉庫	宇田 1307-21	1970年	50	27	1	単独
	惣郷水防倉庫	惣郷 1112-8	1982年	93	42	1	単独
	尾無水防倉庫	惣郷 621-2	1979年	392	10	1	単独

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	浜崎水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	西水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	宇久水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	河内水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	寺東水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
福賀	栃原水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	上万水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	飯谷水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
宇田郷	元浦水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	今浦水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	惣郷水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用
	尾無水防倉庫	防災資材等の倉庫として使用

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

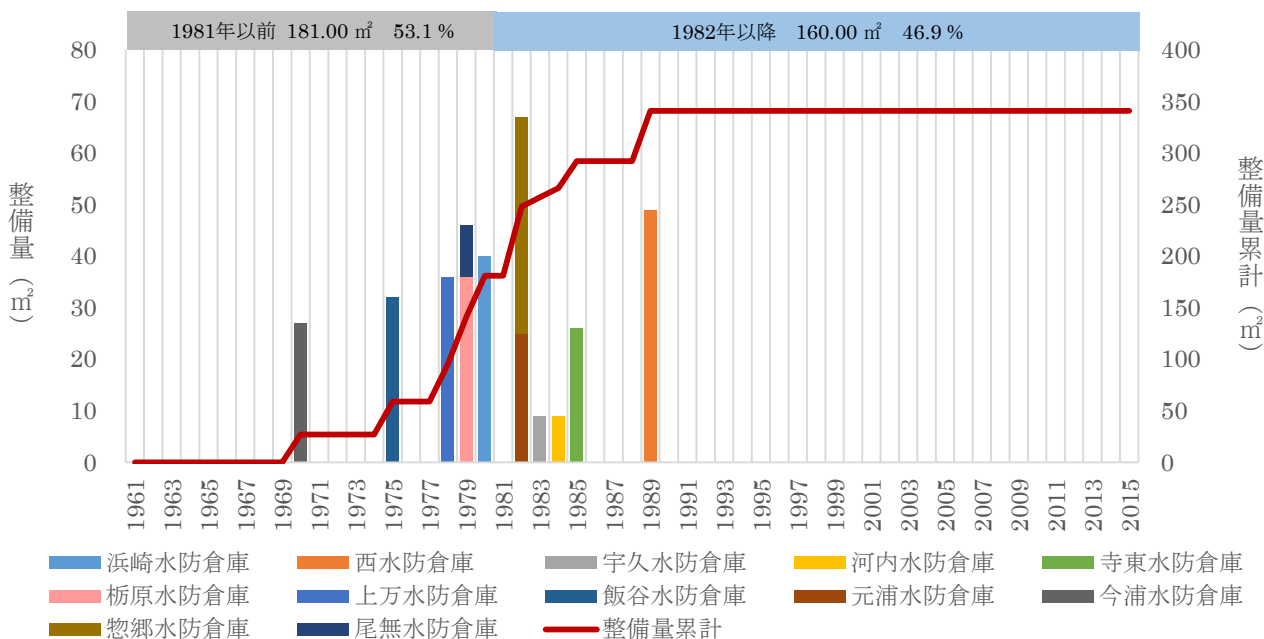
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所(館)日	運営形態	年間開館日数
奈古	浜崎水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	西水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	宇久水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	河内水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	寺東水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
福賀	栃原水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	上万水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	飯谷水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
宇田郷	元浦水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	今浦水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	惣郷水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365
	尾無水防倉庫	0:00 ~ 24:00	なし	直営	365

④築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況 (単位: m²)



出典: 「2015年度固定資産台帳」、総務課

⑤老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりです。

図表 老朽化状況

地区	施設名称	築年	法定耐用年数	稼働年数	老朽化比率
奈古	浜崎水防倉庫	1980年	34年	35年	100.0%
	西水防倉庫	1989年	34年	26年	76.5%
	宇久水防倉庫	1983年	15年	32年	100.0%
	河内水防倉庫	1984年	15年	31年	100.0%
	寺東水防倉庫	1985年	15年	30年	100.0%
福賀	栃原水防倉庫	1979年	15年	36年	100.0%
	上万水防倉庫	1978年	15年	37年	100.0%
	飯谷水防倉庫	1975年	34年	40年	100.0%
宇田郷	元浦水防倉庫	1982年	34年	33年	97.1%
	今浦水防倉庫	1970年	34年	45年	100.0%
	惣郷水防倉庫	1982年	34年	33年	97.1%
	尾無水防倉庫	1979年	34年	36年	100.0%

※水防倉庫については台帳整備の都合上、法定耐用年数に対する稼働年数（築年からの経過）から老朽化比率を算出しています。

(2) 利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	浜崎水防倉庫	30	30	30	30	30
	西水防倉庫	30	30	30	30	30
	宇久水防倉庫	10	10	10	10	10
	河内水防倉庫	10	10	10	10	10
	寺東水防倉庫	10	10	10	10	10
福賀	栃原水防倉庫	10	10	10	10	10
	上万水防倉庫	10	10	10	10	10
	飯谷水防倉庫	10	10	10	10	10
宇田郷	元浦水防倉庫	10	10	10	10	10
	今浦水防倉庫	10	10	10	10	10
	惣郷水防倉庫	10	10	10	10	10
	尾無水防倉庫	10	10	10	10	10

9. 公営住宅等

公営住宅等は、「9-1. 公営住宅等」について分析を行います。

9-1. 公営住宅等

(1) 施設概要

①施設一覧

公営住宅等は、奈古地区に4施設、福賀地区に2施設、宇田郷地区に2施設あり、町全体で8施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	水ヶ迫公営住宅	奈古 1836、1943-5	1976年度	3,360	2	単独
	美里団地	奈古 2000	1993年度	2,623	2	単独
	岡田橋団地	奈古 2877-1、2885-1、2883-1、2880-1	1997年度	1,754	2	単独
	奈古一般住宅	奈古 3203-1、2049-1、3086-1	1999年度	112	2	単独
福賀	中村団地	福田下 1326	2000年度	521	1	単独
	福賀一般住宅	福田下 1405-1	1999年度	499	1	単独
宇田郷	公営住宅(宇田中央地区)	宇田 2229-1	2014年度	161	2	単独
	宇田郷一般住宅	宇田 2275-3、2193-1	1999年度	289	1	単独

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	水ヶ迫公営住宅	町営住宅条例により設置
	美里団地	特定公共賃貸住宅管理条例により設置
	岡田橋団地	町営住宅条例により設置
	奈古一般住宅	一般住宅条例により設置
福賀	中村団地	公営住宅条例により設置
	福賀一般住宅	一般住宅条例により設置
宇田郷	公営住宅(宇田中央地区)	公営住宅条例により設置
	宇田郷一般住宅	一般住宅条例により設置

③運営状況

当該機能分類における建築物の運営状況は下の図表のとおりです。

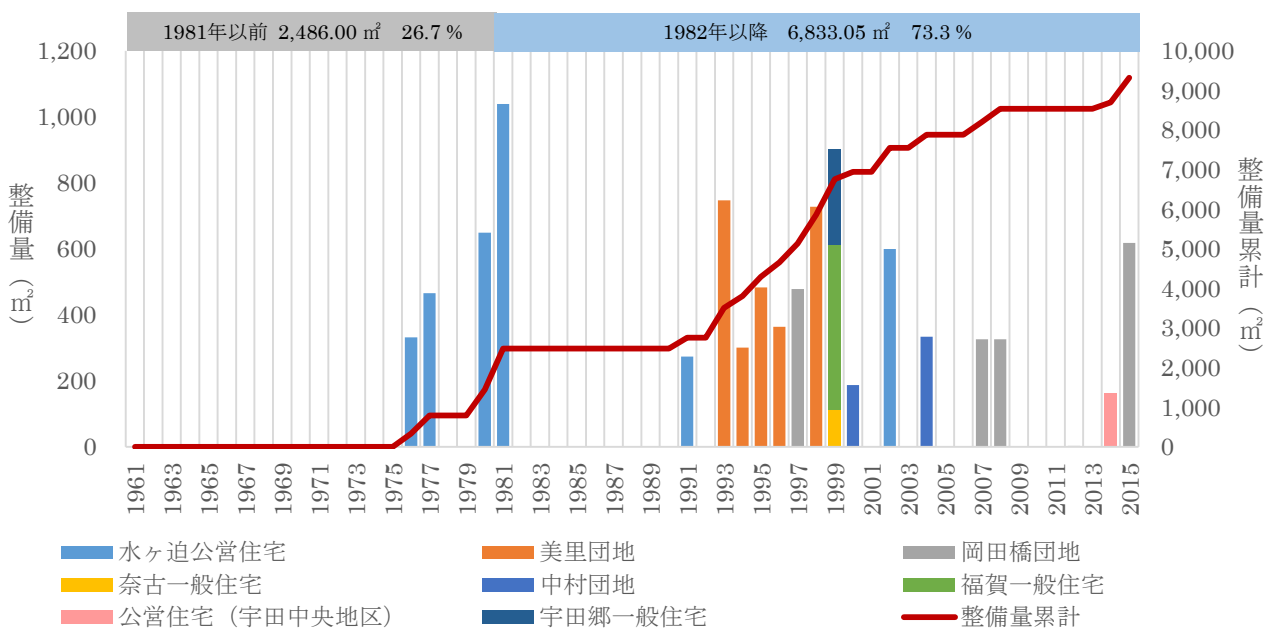
図表 運営状況

地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	水ヶ迫公営住宅	0:00～24:00	-	直営	365日
	美里団地				
	岡田橋団地				
	奈古一般住宅				
福賀	中村団地	0:00～24:00	-	直営	365日
	福賀一般住宅				
宇田郷	公営住宅（宇田中央地区）	0:00～24:00	-	直営	365日
	宇田郷一般住宅				

④築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：「2015年度固定資産台帳」

V. 機能別の現状と分析

⑤建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	水ヶ迫公営住宅	7	3	-	4	-
	美里団地	6	6	-	-	-
	岡田橋団地	17	17	-	-	-
	奈古一般住宅	2	1	-	1	-
福賀	中村団地	3	3	-	-	-
	福賀一般住宅	7	-	-	7	-
宇田郷	公営住宅(宇田中央地区)	1	1	-	-	-
	宇田郷一般住宅	5	-	-	5	-

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差 なし	案内設備・ 案内所	エレベーター	車いす用	オスト メイト	ベビー シート	有無	台数	
奈古	水ヶ迫公営住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	美里団地	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	岡田橋団地	-	-	-	-	-	-	○	2	-
	奈古一般住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福賀	中村団地	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	福賀一般住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇田郷	公営住宅(宇田中央地区)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宇田郷一般住宅	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑥老朽化状況

当該機能分類における建築物については、水ヶ迫公営住宅の3棟14戸と美里団地の一部の老朽化が著しく、早急な検討が必要です。また入居者の高齢化に伴うバリアフリー化等の対策も望まれますが、現在入居中であり、実施時期や方法についても併せて検討しなければなりません。

図表 老朽化状況(単位:年・円・%)

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	水ヶ迫公営住宅	1976年度	657,811,756	459,986,990	69.9%
	美里団地	1993年度	473,245,000	400,344,909	84.6%
	岡田橋団地	1997年度	399,469,405	111,738,024	28.0%
	奈古一般住宅	1999年度	19,212,000	7,579,126	39.4%
福賀	中村団地	2000年度	91,350,000	47,002,620	51.5%
	福賀一般住宅	1999年度	75,665,000	37,088,265	49.0%
宇田郷	公営住宅(宇田中央地区)	2014年度	34,413,328	1,166,780	3.4%
	宇田郷一般住宅	1999年度	46,743,000	21,326,599	45.6%

※取得年度は最も古い棟について記載しています。

(2) 利用の実態

①利用状況

当該機能分類における建築物の利用状況は下の図表のとおりです。

図表 利用状況（単位：人）※毎年3月時点の入居者数を記載。

地区	施設名称	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
奈古	水ヶ迫公営住宅	133	134	141	133	126
	美里団地	93	96	86	91	97
	岡田橋団地	43	59	73	68	79
	奈古一般住宅	2	2	3	4	4
福賀	中村団地	15	14	14	15	12
	福賀一般住宅	4	4	4	4	3
宇田郷	公営住宅（宇田中央地区）	7	7	7	7	7
	宇田郷一般住宅	12	9	9	10	10

V. 機能別の現状と分析

10. その他

その他は、「10-1. 車庫・倉庫等」「10-2. その他」について分析を行います。

10-1. 車庫・倉庫等

(1) 施設概要

①施設一覧

車庫・倉庫等は、奈古地区に6施設、福賀地区に4施設、宇田郷地区に1施設あり、町全体で11施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	阿武町役場 車庫	奈古 2636	1977年度	-	362	1	単独
	阿武町バス 車庫	奈古 2844-25	2001年度	673	60	1	単独
	阿武町海岸清掃機械格納庫	木与 1001-1	2010年度	42,711	40	1	単独
	コミュニティ資材倉庫	奈古 1526-1	1990年度	205	87	1	単独
	阿武中学校バス 車庫	奈古 2844-25	2010年度	-	35	1	単独
	グリーンパークあぶ便所・倉庫	奈古 2986-1	2012年度	60.38	51	1	単独
福賀	阿武町除雪車 車庫	福田下 1993-1	2001年度	120	120	1	単独
	コミュニティワゴン(福賀)車庫	福田下 1407-3	2012年度	-	-	1	単独
	農機具庫	福田下 2026-24	2001年度	-	227	1	単独
	家畜保護施設	福田下 1357-1	2015年度	1,609	95	1	単独
宇田郷	コミュニティワゴン(宇田)車庫	宇田 2224	2012年度	-	-	1	単独

※「阿武町役場 車庫」の敷地面積は「阿武町役場庁舎」に含みます。

※「コミュニティワゴン(福賀)車庫」と「コミュニティワゴン(宇田)車庫」は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

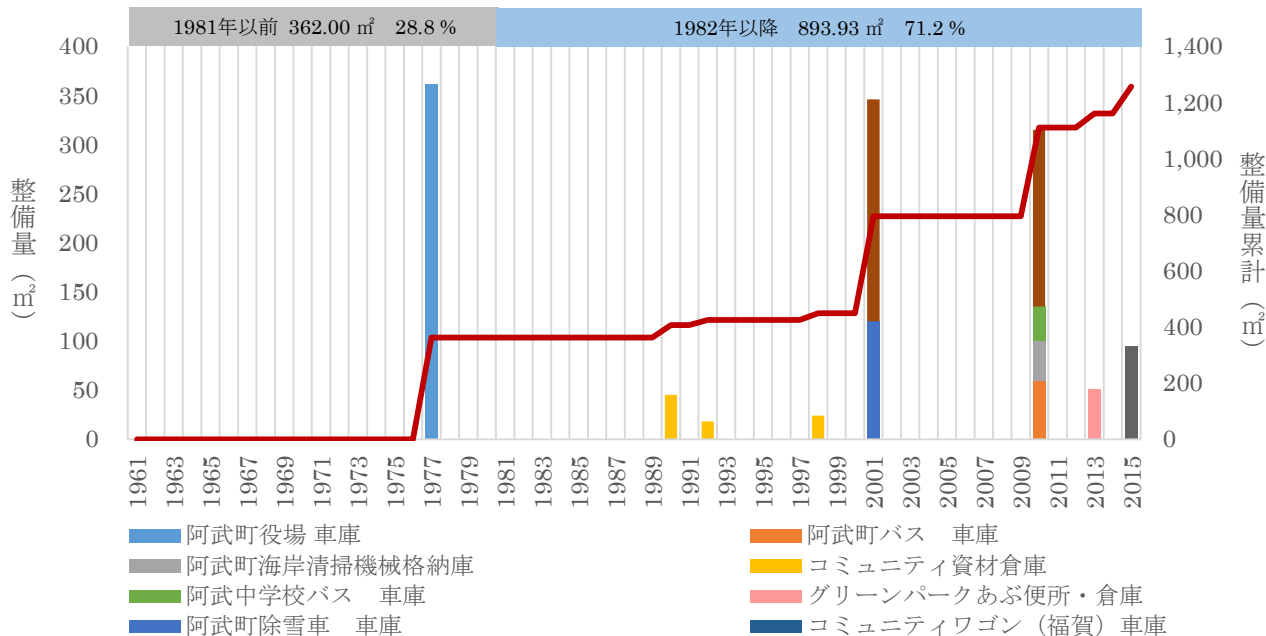
地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町役場 車庫	公用車等の車庫として設置
	阿武町バス 車庫	町営バスの車庫として設置
	阿武町海岸清掃機械格納庫	海岸清掃機械を格納するため
	コミュニティ資材倉庫	各種資材を格納するため
	阿武中学校バス 車庫	宇田郷スクールバスの保管用車庫 兼 運転手の休憩のため設置
	グリーンパークあぶ便所・倉庫	グリーンパークあぶの管理倉庫及び利用者用トイレとして設置
福賀	阿武町除雪車 車庫	除雪車の車庫として設置
	コミュニティワゴン(福賀)車庫	コミュニティワゴンの車庫として設置
	農機具庫	農機具等を格納するため
	家畜保護施設	牛舎として設置
宇田郷	コミュニティワゴン(宇田)車庫	コミュニティワゴンの車庫として設置

V. 機能別の現状と分析

③ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：「2015年度固定資産台帳」

④ 建物状況

当該機能分類における建築物の耐震診断の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	阿武町役場 車庫	1	-	-	1	-
	阿武町バス 車庫	1	1	-	-	-
	阿武町海岸清掃機械格納庫	1	1	-	-	-
	コミュニティ資材倉庫	3	3	-	-	-
	阿武中学校バス 車庫	1	1	-	-	-
	グリーンパークあぶ便所・倉庫	1	1	-	-	-
福賀	阿武町除雪車 車庫	1	1	-	-	-
	コミュニティワゴン (福賀) 車庫	-	-	-	-	-
	農機具庫	2	2	-	-	-
	家畜保護施設	1	1	-	-	-
宇田郷	コミュニティワゴン (宇田) 車庫	-	-	-	-	-

※「コミュニティワゴン (福賀) 車庫」と「コミュニティワゴン (宇田) 車庫」は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

V. 機能別の現状と分析

⑤老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は、1施設が100%、1施設が80%以上となっています。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	阿武町役場 車庫	1977年度	34,752,000	33,817,168	97.3%
	阿武町バス 車庫	2010年度	6,678,000	1,570,664	23.5%
	阿武町海岸清掃機械格納庫	2010年度	3,477,000	926,272	26.6%
	コミュニティ資材倉庫	1990年度	3,060,000	3,059,997	100.0%
	阿武中学校バス 車庫	2010年度	4,832,000	1,136,484	23.5%
	グリーンパークあぶ便所・倉庫	2012年度	10,080,000	1,344,000	13.3%
福賀	阿武町除雪車 車庫	2001年度	6,300,000	2,637,180	41.9%
	コミュニティワゴン（福賀）車庫	2012年度	-	-	-
	農機具庫	2001年度	26,989,139	6,162,139	22.8%
	家畜保護施設	2015年度	77,096,000	0	0.0%
宇田郷	コミュニティワゴン（宇田）車庫	2012年度	-	-	-

※「コミュニティワゴン（福賀）車庫」と「コミュニティワゴン（宇田）車庫」は、固定資産台帳上では工作物とされているため、計上していません。

10-2. その他

(1) 施設概要

①施設一覧

その他の公共建築物は、奈古地区に3施設、福賀地区に1施設あり、町全体で4施設あります。

図表 施設一覧

地区	施設名称	所在地	築年	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	階数	単独 複合
奈古	㈱ナベル奈古工場 事務所	奈古 3485-8	1995年度	403	847	1	単独
	阿武町社会福祉協議会事務所	奈古 3081-5	2010年度	369	270	1	複合
	阿武町リサイクルセンター	奈古 10487-272	1994年度	2,702	810	1	単独
福賀	お試し住宅（移住体験滞在施設）	福田上 1215-2	1979年度	559	181	2	単独

②設置目的等

当該機能分類における建築物の設置目的は下の図表のとおりです。

図表 設置目的等

地区	施設名称	設置目的
奈古	阿武町リサイクルセンター	農林水産業廃棄物及び一般廃棄物を衛生的かつ能率的に処理するため
福賀	お試し住宅（移住体験滞在施設）	阿武町への移住希望者のお試し住宅として設置。

※㈱ナベル奈古工場事務所及び阿武町社会福祉協議会事務所は町との賃貸契約を締結しています。

③運営状況

阿武町リサイクルセンターの運営状況は以下のとおりです。

その他の施設は、お試し住宅以外は建物のみ町の所有となっており、運営はそれぞれの事業所が行っています。

図表 運営状況

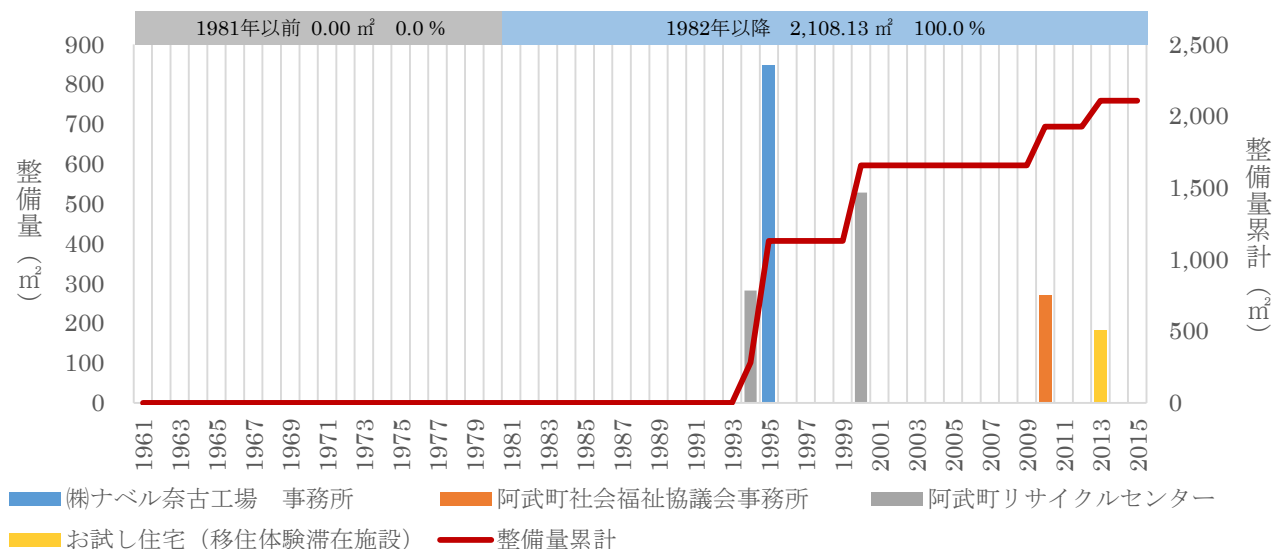
地区	施設名称	運営時間	休所（館）日	運営形態	年間開館日数
奈古	阿武町リサイクルセンター	8:30~17:15	土日	直営	264

V. 機能別の現状と分析

④ 築年別整備状況

当該機能分類における建築物の築年別整備状況は下の図表のとおりです。

図表 築年別整備状況（単位：㎡）



出典：「2015年度固定資産台帳」

⑤ 建物状況

当該建築物の耐震診断やバリアフリー等の状況は下の図表のとおりです。

図表 建物状況①

地区	施設名称	全棟数	耐震診断			耐震補強実施 (予定含む)
			適合	不適合	未実施・不明	
奈古	(株)ナベル奈古工場 事務所	2	2	-	-	-
	阿武町社会福祉協議会事務所	1	1	-	-	-
	阿武町リサイクルセンター	4	4	-	-	-
福賀	お試し住宅 (移住体験滞在施設)	6	6	-	-	-

図表 建物状況②

地区	施設名称	バリアフリー経路			トイレ			障害者用駐車場		授乳室
		段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	車いす用	オストメイト	ベビーシート	有無	台数	
奈古	(株)ナベル奈古工場 事務所	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	阿武町社会福祉協議会事務所	○	○	-	○	-	-	○	1	-
	阿武町リサイクルセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福賀	お試し住宅 (移住体験滞在施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

⑥ 老朽化状況

当該機能分類における建築物の老朽化比率は下の図表のとおりとなっています。

図表 老朽化状況（単位：年・円・%）

地区	施設名称	取得年度	取得金額	減価償却累計額	老朽化比率
奈古	(株)ナベル奈古工場 事務所	1995年度	258,383,950	116,435,363	45.1%
	阿武町社会福祉協議会事務所	2010年度	36,815,000	3,872,936	10.5%
	阿武町リサイクルセンター	1994年度	148,728,557	87,347,811	58.7%
福賀	お試し住宅 (移住体験滞在施設)	2013年度	1,641,627	24,906	1.5%

(2) 利用の実態

①利用状況

(株)ナベル奈古工場事務所、阿武町社会福祉協議会事務所は建物のみ町の所有となっており、運営はそれぞれの事業所が行っています。

お試し住宅の利用状況については 2015 年度から供用開始となっています。

「阿武町リサイクルセンター」の利用状況は以下のとおりです。

図表 利用状況 (単位：人)

地区	施設名称	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
奈古	阿武町リサイクルセンター	360	360	360	360	360

②稼働状況

阿武町リサイクルセンターにおける建築物の 2015 年度の諸室の稼働状況は下の図表のとおりです。

図表 稼働状況

地区	施設名称	諸室名称	面積 (㎡)	利用定員	年間 利用人数
奈古	阿武町リサイクルセンター	作業棟	216	20	-
		管理棟	33	10	-
		ストックヤード	198	20	-

VI. 将来の施設更新投資額等の試算（財政シミュレーション）

1. 更新投資試算の方法

各施設の更新投資額について、固定資産台帳を基に試算します。

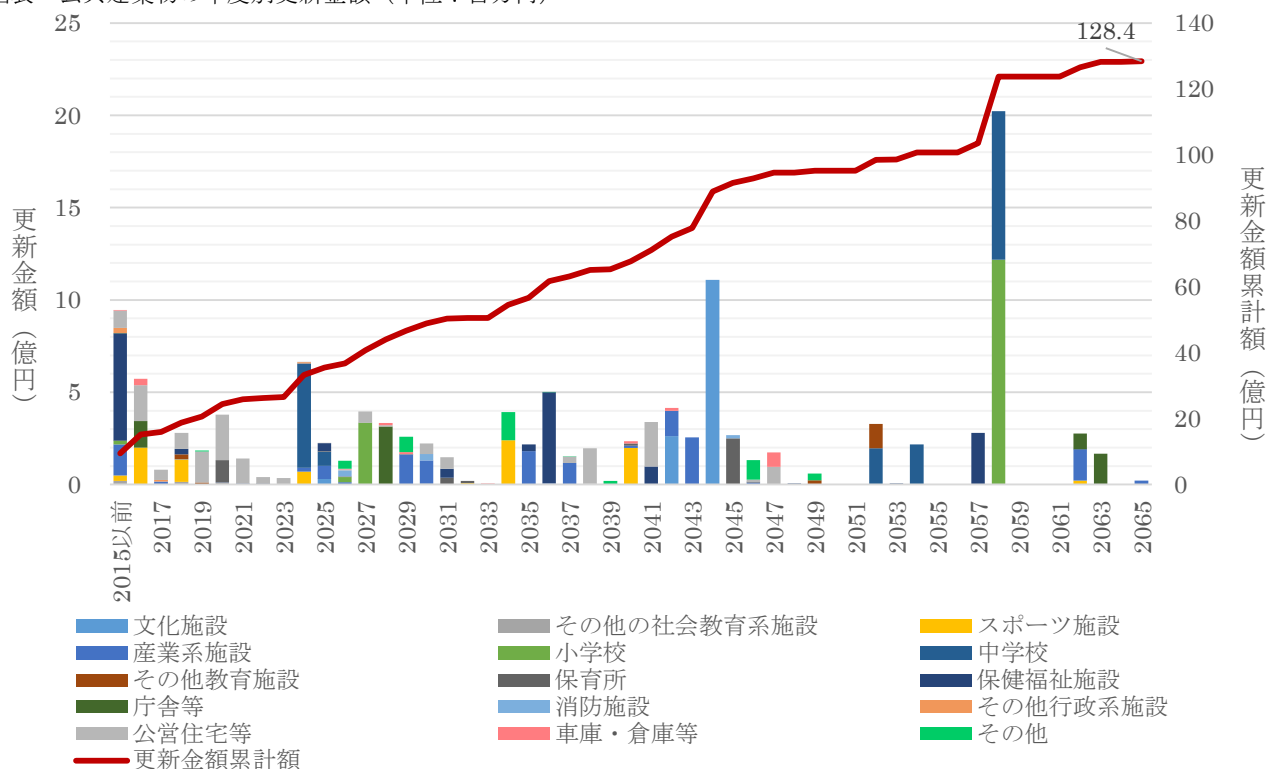
施設の更新時期は、各施設の取得年度から法定耐用年数が経過した時点とし、固定資産台帳に計上されている当初の取得価格で再整備することとします。

2. 公共建築物に係る更新投資の試算

公共建築物の今後 50 年間の更新投資額を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の建替を想定すると今後 50 年間で約 128 億 2 千万円の更新投資が必要になります。

50 年間の平均年間必要更新投資額は、年間約 2 億 6 千万円です。

図表 公共建築物の年度別更新金額（単位：百万円）



※既に耐用年数を経過している建築物の更新金額は、2016 年度に加算しています。

※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

- ①主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」
従：公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」、その他の社会教育施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」
- ②主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」
従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」、庁舎等「阿武町役場 福賀支所」
- ③主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」
従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」と庁舎等「阿武町役場 宇田郷支所」
- ④主：スポーツ施設「阿武町体育センター」
従：子育て支援施設「阿武町こども館」
- ⑤主：保育所「みどり保育園」
従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

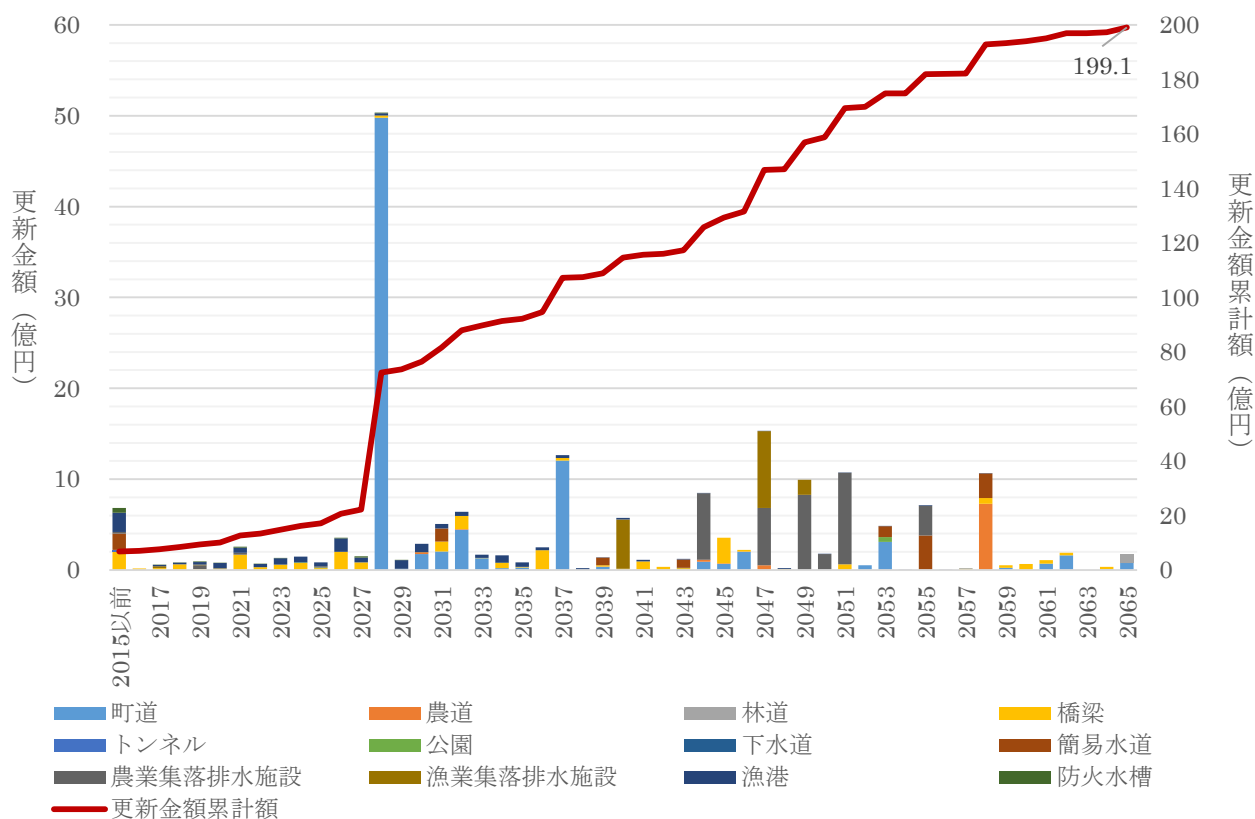
出典：「2015 年度固定資産台帳」

3. インフラ資産に係る更新投資の試算

インフラ施設の今後 50 年間の更新投資を試算すると下図のようになります。耐用年数に応じて施設の再整備を想定すると 50 年間で約 199 億 1 千万円の更新投資が必要になります。

50 年間の平均年間必要更新投資額は、年間約 4 億円です。

図表 インフラ資産の年度別更新金額（単位：百万円）



※既に耐用年数を経過している建築物の更新金額は、2016 年度に加算しています。
 ※台帳整備に伴う一括登録や既存道路の整理等により、整備額が突出しているところがあります。

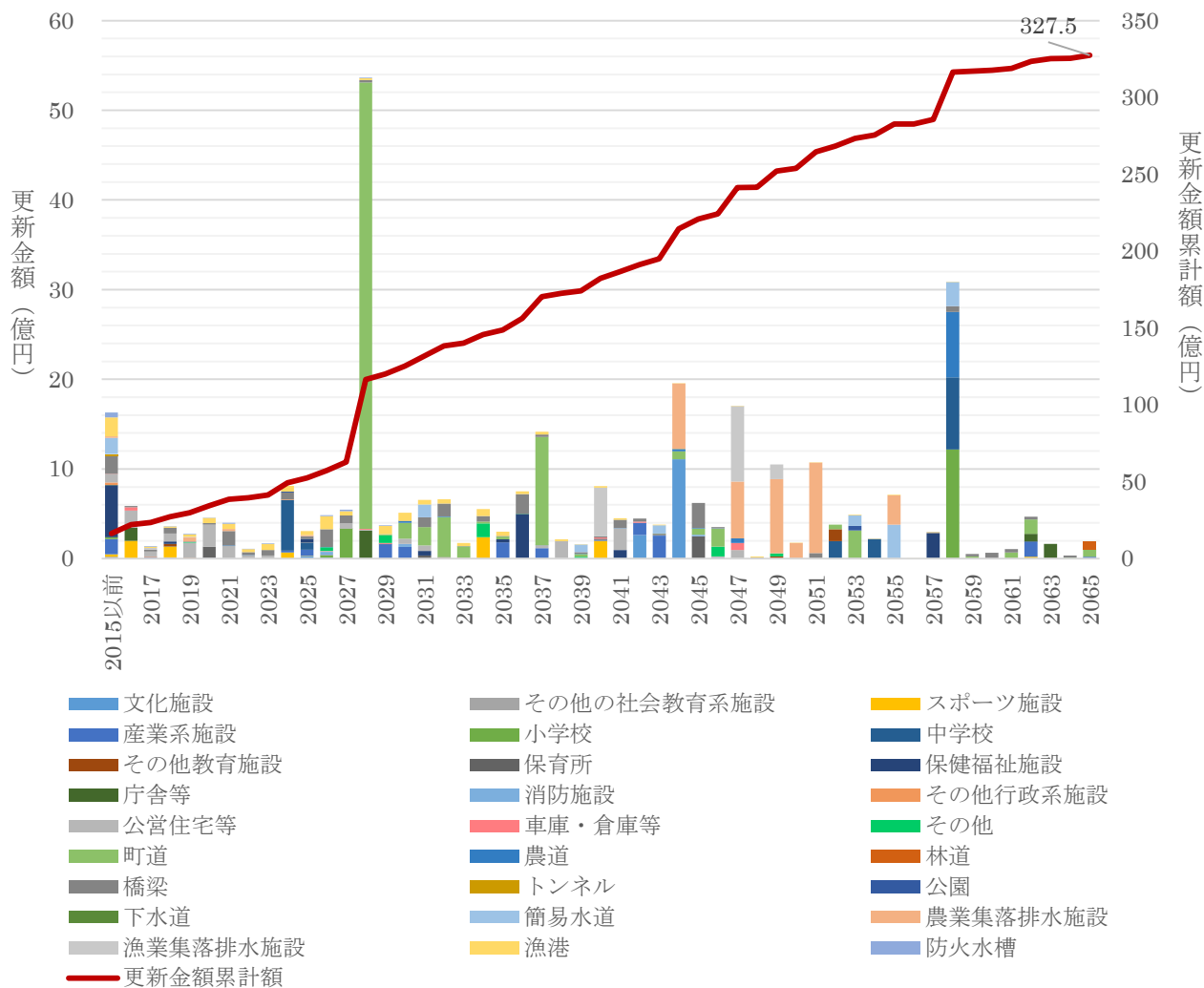
出典：「2015 年度固定資産台帳」

4. 公共施設（全体）に係る更新投資の試算

公共建築物、インフラ施設を含めた公共施設全体の今後 50 年間の更新投資を試算すると下図のようになります。50 年間で約 327 億 3 千万円の更新投資が必要になります。

50 年間の平均年間必要更新投資額は、年間約 6 億 5 千万円です。

図表 公共建築物とインフラ資産の年度別更新金額（単位：百万円）



※既に耐用年数を経過している建築物の更新金額は、2016 年度に加算しています。

※複合施設は、主たる施設に紐付けて計上しています。

- ①主：文化施設「阿武町町民センター（文化ホール）」
従：公民館「阿武町町民センター（中央公民館）」、その他の社会教育施設「阿武町町民センター（農村環境改善センター）」
- ②主：産業系施設「阿武町のうそんセンター」
従：公民館「阿武町のうそんセンター（福賀公民館）」、庁舎等「阿武町役場 福賀支所」
- ③主：保健福祉施設「阿武町ふれあいセンター」
従：公民館「阿武町ふれあいセンター（宇田郷公民館）」と庁舎等「阿武町役場 宇田郷支所」
- ④主：スポーツ施設「阿武町体育センター」
従：子育て支援施設「阿武町こども館」
- ⑤主：保育所「みどり保育園」
従：子育て支援施設「阿武町子育て支援センター」

※公民館と子育て支援施設は、すべての施設が複合（従）施設のため、表示していません。

※台帳整備に伴う一括登録や既存道路の整理等により、整備額が突出しているところがあります。

出典：「2015 年度固定資産台帳」

5. 財政シミュレーション

（1）財政シミュレーションの前提条件

財政シミュレーションでは、2015年度の決算データを使用し、以下の設定でキャッシュ・フロー（資金収支）の試算を行います。なお、試算の期間は2017年度から30年後の2046年度までとします。

キャッシュ・フロー（cash flow、現金流量）とは現金の流れを意味し、得られた収入から外部への支出を差し引いて手元に残る資金の流れのことを指します。実際には、金融資産と収入額の合計から支出額を差し引いて算出します。

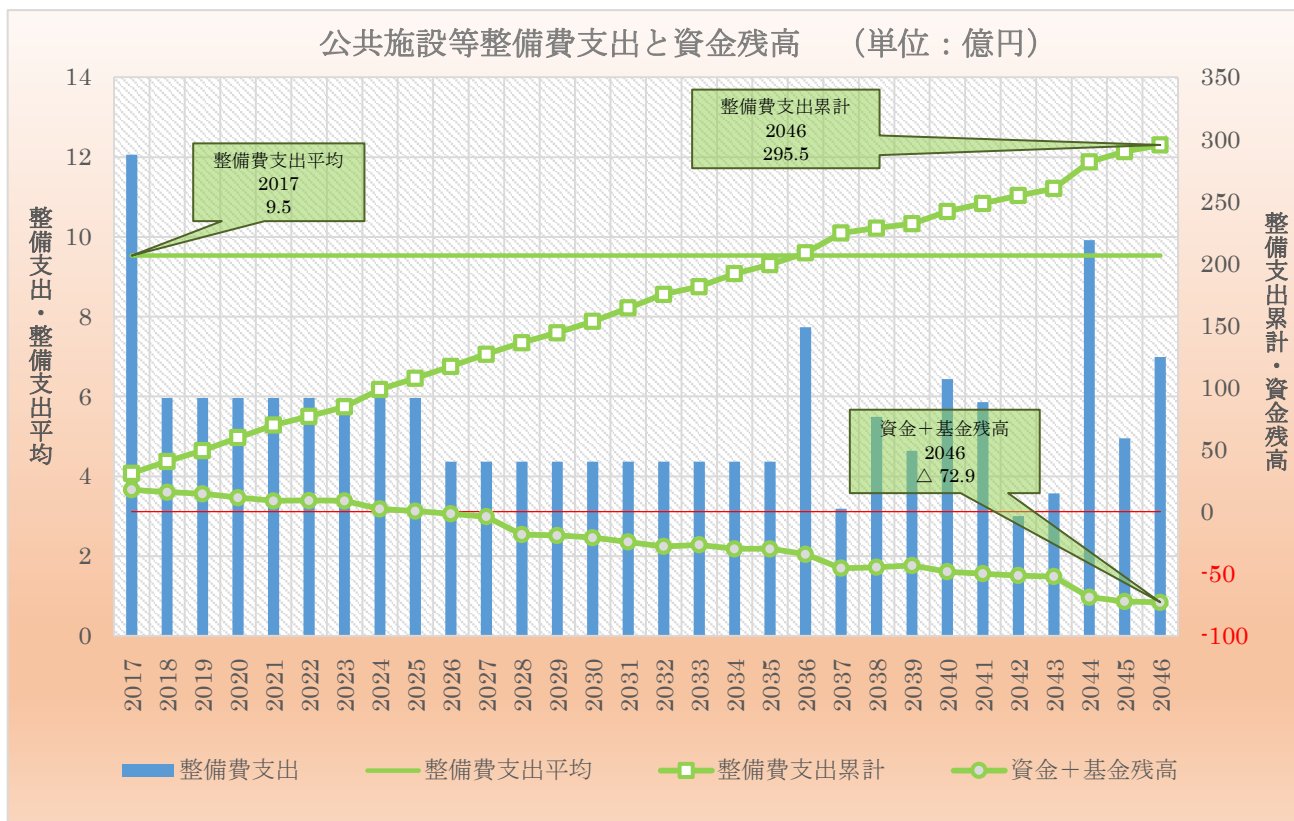
【シミュレーションの設定】

- 基本的には2015年度の実績と同額で推移するものと仮定します。
- 基金の積み立て・取崩しは生じないものと仮定します。
- 地方債の発行・償還は生じないものと仮定します。
- 貸付金等支出は生じないものと仮定します。
- 建築物及びインフラ資産は、すべて法定耐用年数到来時に更新するものと仮定します。
- 基準年度時点で耐用年数を過ぎた未更新建築物・インフラ資産については10年間で均等に更新するものと仮定します。
- 2028年度に更新を迎える道路（1979年に台帳整備により一括計上された町道）については、シミュレーション開始から2035年度において均等に更新するものと仮定します。
- シミュレーション期間中の公共施設等の維持補修費用として2015年度普通建設事業費の2分の1を毎年計上することとします。
- 既に予定されている2016年度、公営住宅整備2億円、2017年度、図書館整備1億5千万円、福賀地区高齢者福祉施設整備2億6千万円を含むものとします。
- 2018年度以降の新規整備は原則として行わないものとします。

（2）財政シミュレーションの結果

前述の設定に基づいて今後 30 年間のシミュレーションを行うと、公共施設等整備費支出は 2046 年度までの累計で約 296 億円となり、金融資産については、約 73 億円の不足が生じる見込みとなります。

図表 財政シミュレーション結果



公共施設等総合管理計画
(計画編)

Ⅶ. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

1. 計画期間

公共施設等の総合的なマネジメントを推進していくには、公共施設等の性質上、中・長期的な視点が不可欠です。国の指針においても10年以上の長期の計画とすることが求められています。また、今後の人口推計においては30年程度が望ましいとされていることから、人口と公共施設等の保有総量の関連性を考慮し、本計画期間を2017年度から2046年度の30年間とします。ただし、計画期間内であっても公共施設等の実態の定期的な把握及び不断の見直し（定期的かつ必要に応じた適宜の見直し）により、本計画の更なる充実を図っていきます。

2. 全庁的な取組体制の構築及び情報管理・共有方策

(1) 全庁的な取組体制の構築

公共施設等総合管理計画を適正・円滑に推進していくために本計画策定後、全庁横断的な連携・調整機能を発揮できる庁内推進体制を構築します。

庁内推進体制として「阿武町公共施設等マネジメント委員会」（以下「委員会」という）を設置し、公共施設等の情報を管理・集約する部署を総務課と定めて的確に運用します。また、委員会の下部組織として「阿武町公共施設等マネジメント作業部会」（以下「作業部会」という）を設置し、具体的な事案について効率的に推進していきます。

阿武町公共施設等マネジメント委員会 構成委員

委員長	総務課長			
委員	住民課長	民生課長	経済課長	施設課長
	教育委員会事務局長	福賀支所長	宇田郷支所長	出納室長
	福賀診療所事務長	みどり保育園園長		

阿武町公共施設等マネジメント作業部会 構成部会員

部会長	総務課長			
部会員	総務課 行政係	総務課 財政係	総務課 企画広報係	
	住民課 税務係	住民課 住民係	民生課 介護福祉係	
	民生課 国保係	民生課 環境保健係	経済課 農林係	
	経済課 商工水産係	施設課 施設整備係	施設課 管理係	
	教育委員会 総務係	教育委員会 学校教育係	教育委員会 社会教育係	
事務局	総務課 財政係			

(2) 情報管理及び共有方策

①公共施設等に関する情報の一元管理

計画的、効率的に公共施設等の管理を進めていくためには、情報の一元管理と共有化が不可欠です。その実現に向けて、地方公会計（固定資産台帳）と連動した公共施設等マネジメントの実現を図ります。

②議会や住民との情報共有・相互理解の醸成

本町における公共施設等の最適な配置を検討するにあたっては、まちづくりのあり方に関わるものであることから、個別施設の老朽化対策等を行う事業実施段階において議会や住民との相互理解を深め、関係する各主体との合意形成を醸成することが重要となります。

そのため、本計画に基づく本町の公共施設等の総合的な管理に対する考え方や目指す姿、施設の有効利用や効率的な管理運営に向けた取り組みの方向性などの情報を広く発信し、周知・啓発を図っていきます。

3. 現状や課題に関する基本認識

本町の人口は年々減少しており、少子高齢化が進んでいます。人口構造の変化は公共施設等に対する住民ニーズの変化につながります。公共施設等の適切な再配置や既存施設の用途・目的変更等の検討がさらに必要となります。また財政面においても、下水道をはじめ、将来のインフラ整備・更新費用等、負担が大きくなることも予測されます。今後は、中・長期的な視野に立って計画的に公共施設等のマネジメントを行うことが求められます。

4. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

地方公会計における固定資産台帳（2015年度分）を基に将来の施設整備費（更新費用等）について推計し、財政シミュレーションを行った場合、持続可能で健全な維持管理を実現するためには、今後30年間に於いて施設整備費（更新等費用等）を約119億円縮減することが必要となります。

本町では、これを実現しながら適切な公共施設サービスを提供し続けていくために、公共施設等の管理に関する基本方針を定め、それに基づく公共施設の安全性の確保や適正配置の検討による公共施設等のマネジメントを行い、施設の長寿命化並びに施設機能の統廃合や集約化、公民連携（PPP/PFIなどの民間活力の活用等）、近隣市町村との公共施設の相互利用等についても検討したうえで、住民ニーズに対応した効率的、効果的な管理の実現を目指します。

(1) 数値目標

本町には現在79施設（延床面積約5.9万㎡）の公共建築物が存在します。現在の人口構成や減少が続いている将来人口推計を鑑み、適正な公共施設サービス運営を検討します。本町の場合、保有する公共建築物について削減すべき施設はほとんどなく、また施設の複合化や統廃合についても既に一定の結果が出ているため、本計画では長寿命化による目標設定を行います。またインフラ資産については、町民生活

Ⅶ. 公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針

を支えるライフラインであり、下水道等、さらに整備を進めるべきものもあるため、整備量を削減する性質ではないと判断し、公共建築物と同様に削減目標からは除外します。新規整備を行う場合は、その必要性及び費用対効果を十分に検討したうえで実施します。

具体的には公共建築物の計画的な点検・診断・修繕等によって長寿命化を図り、法定耐用年数の到来後、更に20年延長（法定耐用年数+20年）の実現を目指します。

要素	30年間の削減（縮減）目標値	30年間の削減（縮減）目標金額
長寿命化	更新時期20年延長	119億円
30年間合計（金額）		119億円

（２）各種方針

①点検・診断等の実施方針

○公共施設（建築物）については、法定点検及び日常の点検・保守によって、経年劣化及び機能低下を防ぎ、総合的な管理運営・整備などを行います。インフラについては、個別の長寿命化計画などにより適正に点検・診断等を行います。

②維持管理・修繕・更新等の実施方針

○維持管理や修繕及び更新は、施設の重要度や劣化状況に応じて優先度をつけて計画的且つ効率的に行うことで経費を平準化し、トータルコストを縮減します。

③安全確保の実施方針

○点検・診断等により危険性が認められた箇所については応急処置を実施し、早期に修繕を行います。

また現在及び今後も一定の利用が見込めない、若しくは老朽化等により安全が確保できない公共施設等については、原則として解体・撤去を行うこととします。

④耐震化の実施方針

○現在、本町が保有する公共建築物については、今後も必要に応じて見直し・診断・改修を行い、安全を確保します。

⑤長寿命化の実施方針

○公共施設等の長寿命化の実施にあたっては、計画的な管理に基づいた予防保全によって法定耐用年数を超える施設利用を実現し、安全性・機能性を確保しつつ、LCC（ライフサイクルコスト）の縮減に努めます。

⑥統合や廃止の推進方針

○個別施設ごとの利用頻度、維持管理費の状況、老朽化の状況などの評価に加え、町内の配置状況、類似・代替施設の状況など総合的に評価し、統合や廃止の検討を行い、施設保有量の適正化を図ります。

⑦総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

○公共施設等の総合的なマネジメントを推進していくためには、公共施設等に係るコストや将来を含めた本町の財政状況、公共施設等の適正管理のあり方などを町職員が十分理解し、意識を持つ必要があります。そのため、「委員会」を中心に今後とも町職員の理解の促進、意識の醸成を図ります。

5. フォローアップの実施方針

(1) 個別施設ごとの推進計画・アクションプラン等の策定

本計画に示す公共施設の総合的な管理に対する基本的な考え方や取組みの方向性に基づき、今後は個別施設ごとに、具体的な取り組みを実践していくための長寿命化計画などの推進計画・アクションプランの策定を進めます。

(2) 計画の進行管理・見直し

本計画については、「委員会」を中心にPDCAサイクルにより総合計画や個別計画の進捗状況や達成度評価等について検討・協議し、定期的に見直しを行っていきます。

ただし、社会経済情勢やまちづくりの動向等に大きな変化が生じた場合、必要に応じて適宜見直しを行うこととします。

Ⅷ. 施設類型ごとの管理に関する基本的な方針

1. 公共建築物

(1) 町民文化系施設

町民センターには教育委員会事務局も入っており、文化施設としてだけではなく、教育行政機能や公民館機能、災害時の避難所機能等も併せ持つ複合施設であるため、定期的な点検・予防保全を行い、長寿命化を図ります。

(2) 社会教育系施設

公民館や集会所の中には老朽化が進んでいるものもみられますが、これらの施設は社会教育施設であり、地域住民の身近な施設であるため、必要な補修・改修による長寿命化を図ります。

長期にわたって地域に無償貸与されている集会所については、地元への譲渡を検討します。それに際しては地域住民の意向を十分に傾聴し、統廃合も視野に入れた検討を行います。

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

阿武町体育センター、町民グラウンドについては町民の健康増進のための拠点として長寿命化を図ります。

阿武町武道館については柔道、剣道の振興のため必要な施設として長寿命化を図ります。道の駅温水プールは2016年度に大規模改修を行っています。

(4) 産業系施設

道の駅阿武町、堆肥センターについては本町の産業を担う施設として必要な補修・改修を行い、長寿命化を図ります。

林業センターは軽微な補修で安全に使用できる間、維持します。

(5) 学校教育系施設

福賀中学校については2015年度末で閉校し、2016年度に解体済みです。他の学校施設は、必要な補修を行いながら維持しますが、今後の児童・生徒数推移によっては統合などの検討を行います。

(6) 子育て支援施設

みどり保育園（福賀分園含む）、子育て支援センター、こども館については少子化対策において重要な拠点であり、また将来の本町を担う世代の健全な育成に欠かせない施設として定期的な点検、必要に応じた補修・改修を行い、長寿命化を図ります。

(7) 保健福祉施設

養護老人ホーム清ヶ浜清光苑、福賀診療所、地域高齢者福祉複合施設ひだまりの里は、利用率も高く、高齢化に対応するため必要な施設として定期的な点検、必要に応じた補修を行い、長寿命化を図るとともに、2017年度に新たに福賀高齢者福祉複合施設を整備します。

(8) 行政系施設

阿武町役場庁舎は、本町の行政を担う要のみならず災害など非常時には対策の拠点となる施設であるため、適時耐震診断の見直しによる耐震補強を実施、その後も必要な補修・改修をして長寿命化を図ります。

消防器庫(1~5分団)は地域の防災の拠点として維持するため、不具合箇所の補修で対応しますが、利用状況に応じて一部は統合することも検討します。水防倉庫については最も古いものは1965年に建っており、今後老朽化により危険が認められた場合や著しく利用が少ないものは順次、解体・撤去を行います。

お試し住宅については町外からの移住者増加に寄与する施設として必要な補修・改修を行いながら維持します。

(9) 公営住宅等

公営住宅の中でも著しく老朽化が進んだ施設は更新(建替え)を検討します。全体的には戸数を維持し、居住の安定を必要とする人への住宅供給を確保し、定住促進を図ります。更新や改修を行う場合は高齢化に対応したバリアフリー化の検討も行います。

(10) その他

阿武町リサイクルセンターは、町民の快適な生活環境の向上と資源の有効利用を目的に建てられた施設であり、必要な補修や改修を行い、長寿命化を図ります。

阿武町バス車庫は町民の公共交通手段、また阿武中学校バス車庫は生徒の通学に必要な施設であるため、定期的に補修を行い、長寿命化を図ります。

除雪車車庫についても降雪の多い山間部の福賀地区には必要であるため、定期的に補修を行い、長寿命化を図ります。

2. インフラ施設

(1) 道路

① 町道

必要な補強・改修をして、長寿命化を図ります。緊急性を含み小規模工事は現場員配置で対応していきます。それ以外の工事については、実施計画に基づいて行います。

② 農道

順次、調査・診断を行い、長寿命化計画等を作成します。実施に際しては出来る限り、町の単独事業ではなく、補助事業等を活用していきます。また大規模補修・改修等の時期が少しでも遅くなるよう、こまめな補修を行います。

③ 林道

順次、調査・診断を行い、長寿命化計画等を作成します。実施に際しては出来る限り、町の単独事業ではなく、補助事業等を活用していきます。また大規模補修・改修等の時期が少しでも遅くなるよう、こまめな補修を行います。

(2) 橋梁

順次、調査・診断を行い、長寿命化計画等を作成しています。実施に際してはこの長寿命化計画を基に町の単独事業ではなく、補助事業等を活用していきます。また大規模補修・改修等の時期が少しでも遅くなるよう、こまめな補修を行います。

(3) トンネル

順次、調査・診断を行い、長寿命化計画等を作成します。実施に際しては出来る限り、町の単独事業ではなく、補助事業等を活用していきます。また大規模補修・改修等の時期が少しでも遅くなるよう、こまめな補修を行います。

(4) 公園

グリーンパークあぶについては町民の憩いの場として利用されているほか、町のグラウンドゴルフ大会や小学生のサッカー大会などの会場として幅広く利用されているため、今後も必要な補修を行い、長寿命化を図ります。

(5) 簡易水道

本町には奈古簡易水道、木与簡易水道、福賀簡易水道、飯谷簡易水道、宇生賀簡易水道、宇田簡易水道、惣郷簡易水道の7つの施設があります。水道施設は町民のライフラインとして重要な施設であるため、日常の点検をはじめ、耐用年数を超えた老朽管については更新の方向で検討しています。

(6) 農業集落排水施設・漁業集落排水施設

生活雑排水やし尿処理に必要な施設であるため、今後も必要な補修を行い、長寿命化を図りますが、農業集落排水施設の一部と漁業集落排水施設については老朽化が著しいため、更新の方向で検討しています。

(7) 漁港

順次、調査・診断を行い、長寿命化計画等を作成しています。実施に際してはこの長寿命化計画を基に町の単独事業ではなく、補助事業等を活用していきます。また大規模補修・改修等の時期が少しでも遅くなるよう、こまめな補修を行います。

(8) その他

防火水槽は非常時に重要な施設であるため、適切な維持管理に努めます。

法定外公共物（里道・水路）の財産管理は町で行い、維持管理は地元で行っています。その他適宜必要に応じて、町と地元による維持管理についての調整会議を行います。

IX. まとめ（公共施設等総合管理計画の導入効果）

本章では、阿武町公共施設等総合管理計画（本計画）に基づき、本町にある公共施設等の管理・運営を行った場合の財政に及ぼす効果について試算（財政シミュレーション）します。

1. 計画導入効果の試算（財政シミュレーション）の前提条件

計画導入効果の試算（財政シミュレーション）の前提条件は、基本的にVI章の「5. 財政シミュレーション」の前提条件と同様（2015年度の決算データに基づくキャッシュ・フローの試算）とし、後述の「【計画導入効果の試算の設定】」を加味した上での試算とします。

試算の対象期間は、本計画の期間である30年間（2017年度から2046年度）とします。

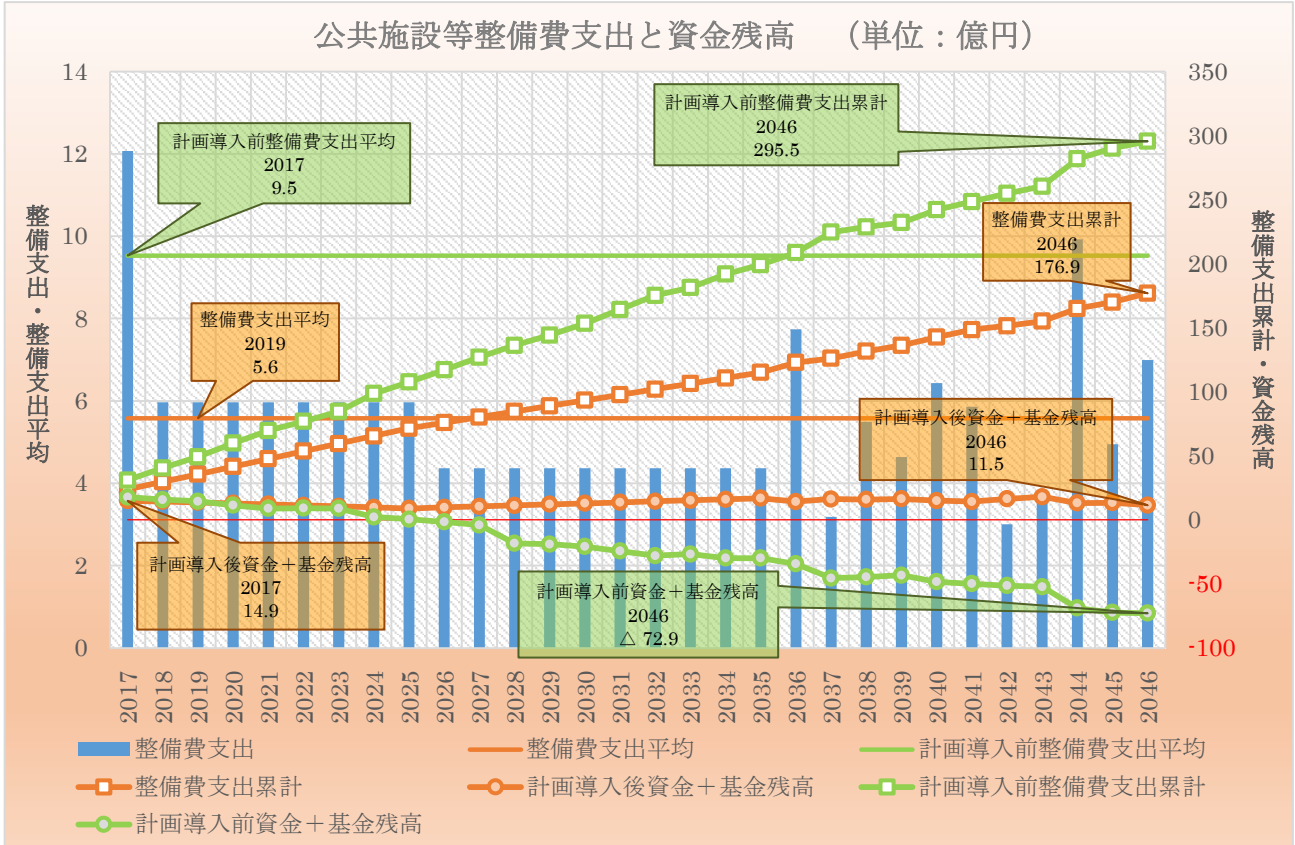
【計画導入効果の試算の基本設定】

- 基本的には2015年度の実績と同額で推移するものと仮定します。
- 基金の積み立て・取崩しは生じないものと仮定します。
- 地方債の発行・償還は生じないものと仮定します。
- 貸付金等支出は生じないものと仮定します。
- 建築物及びインフラ資産は、法定耐用年数到来時から20年後（長寿命化数値目標）に地方公会計における固定資産台帳に計上されている取得価額で再整備するものと仮定します。
- 基準年度時点で耐用年数を過ぎた未更新建築物・インフラ資産については10年間で均等に更新するものと仮定します。
- 2028年度に更新を迎える道路（1979年に台帳整備により一括計上された町道）については、シミュレーション開始から2035年度において均等に更新するものと仮定します。
- 計画期間中、公共施設等の維持補修費用として2015年度普通建設事業費の2分の1の金額を毎年計上することとします。
- 本計画策定時点で既に予定されている2016年度、公営住宅整備2億円、2017年度、図書館整備1億5千万円、福賀地区高齢者福祉施設整備2億6千万円を含むものとします。
- 2018年度以降の新規整備は原則として行わないものとします。

2. 計画導入効果の試算（財政シミュレーション）の結果

前述の設定に基づいて本計画期間30年間のシミュレーションを行うと、公共施設等整備費支出は2046年度までの累計で約177億円となり、計画導入前の試算額より約119億円の縮減効果が得られます。

図表 財政シミュレーション結果



結果として、本計画期間30年間に於いて一度も資金不足に陥ることなく、2046年度には金融資産残高約12億円（計画導入前より約85億円増加）を確保できる試算となりました。

要素	計画導入前	計画導入後	効果
公共施設等整備費支出累計	296 億円	177 億円	△119 億円



要素	計画導入前	計画導入後	効果
資金+基金残高	△73 億円	12 億円	+85 億円


3. まとめ

本計画（阿武町公共施設等総合管理計画）では、本町の人口、公共施設等並びに財政についてそれぞれの現状と課題を把握・分析した結果に基づき、行政サービスの水準の維持及び公共施設等の安全性の確保並びに健全な財政運営の実現に向けて、3つの要素（公共建築物の適正配置・公共施設等の長寿命化・行政コストの縮減）について検討し、今後の公共施設等の管理運営の方向性を明確にしました。

本計画の実現のためには、本計画で示した各種方針等に則った施設ごとの個別計画の策定及び当該個別計画に基づく公共施設等の管理運営が必須となります。

本町では、本計画及び個別計画の策定のみにとどまることなく、各計画に沿った取り組みの実践及び定期的かつ不断の評価・見直しを行い、住民ニーズを反映しながら更なる計画の充実を図っていきます。

阿武町公共施設等総合管理計画は、『第6次阿武町総合計画』を実現し、本町の目指すべき姿へ向けて今後の公共施設等のあり方を示す計画と位置づけます。



阿武町公共施設等総合管理計画

2019年3月発行

編集・発行：阿武町 総務課

〒759-3622 山口県阿武郡阿武町大字奈古 2636 番地

☎ 08388-2-3110（代表）

☎ 08388-2-2090